第３回 函館市地域福祉計画策定委員会	
H25.11.29（金）	資料 1

地域福祉に関する意識調査

結果報告書

（暫定版）

平成２５年１１月

函　館　市　保　健　福　祉　部

社会福祉法人函館市社会福祉協議会

目　次

Ⅰ　調査概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
　１　調査目的
　２　調査内容
　３　調査方法
　４　調査対象
　５　有効回答数
　６　調査実施時期

Ⅱ　個人向けアンケートの調査結果
　１　基本事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
　２　近所付き合いの状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
　３　地域での相談先　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15
　４　ボランティア活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19
　５　地域活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22
　６　地域福祉に対する考え方　・・・・・・・・・・・・・・・・　27
　７　函館市の福祉施策　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　30
　８　各設問の自由記載内容　・・・・・・・・・・・・・・・・・　37

Ⅲ　企業等向けアンケートの調査結果
　１　社会貢献活動への取組み　・・・・・・・・・・・・・・・・　75
　２　すべての企業に質問　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　81

Ⅳ　アンケート調査票
　■　個人向け　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　85
　■　企業等向け　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　97

Ⅰ　調査概要

１　調査目的

市民の地域福祉に関する意識や取組み状況を調査することにより，当市における課題や問題点を整理し，平成２５年度に策定する第３次地域福祉計画および第５期地域福祉実践計画に反映させようとするもの。

２　調査内容

日常的な近所付き合いをはじめ，地域における福祉活動等の参加状況や福祉施策に対する意識や要望について調査を行った。

３　調査方法

無記名，選択式（一部自由記述）によるアンケート用紙を地域活動団体を通じ配布，回収した。

４　調査対象

⑴ 個人：福祉活動に関わる市内の団体，社会福祉法人に所属する個人ならびに市内の高校・大学・専門学校生　１，３７２ 名

民生委員・児童委員	大妻高等学校
在宅福祉委員	北海道教育大学
函館市身体障害者福祉団体連合会	函館大学
函館市ボランティア連絡協議会	函館短期大学
函館市ＰＴＡ連合会	函館臨床福祉専門学校
函館市地域包括支援センター（６事業所）	
社会福祉法人	

⑵ 企業等：従業員数５０名以上の市内事業所を無作為抽出　１６０ 事業所

５　有効回答数

⑴ 個　人：　１，０９４名　　（回答率　７９．７％）
⑵ 企業等：　　７０事業所（回答率　４３．８％）

６　調査実施時期

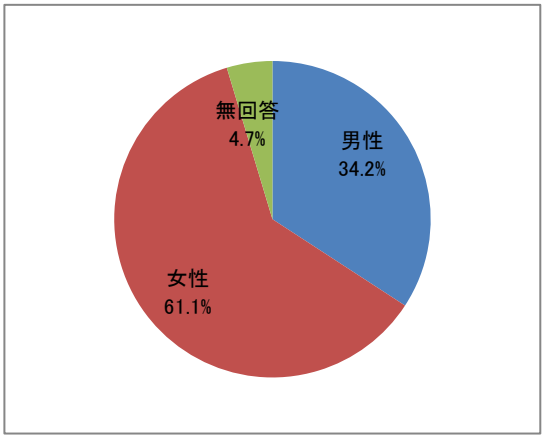
平成２５年８月～１１月

Ⅱ　個人向けアンケートの調査結果

１　基礎的事項　【回答者の属性】

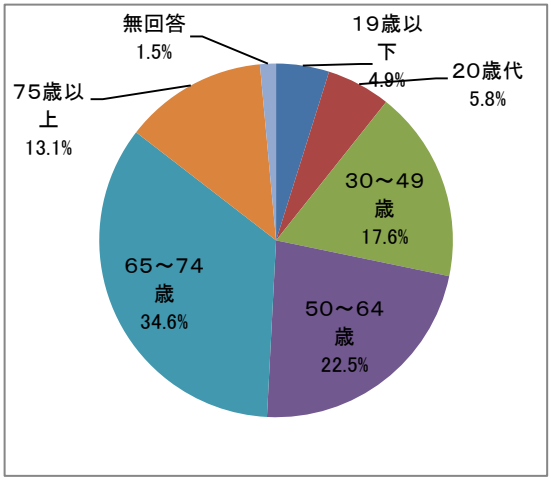
問１(1)　性別

1	男性	374	34.2 ％
2	女性	669	61.1 ％
3	無回答	51	4.7 ％



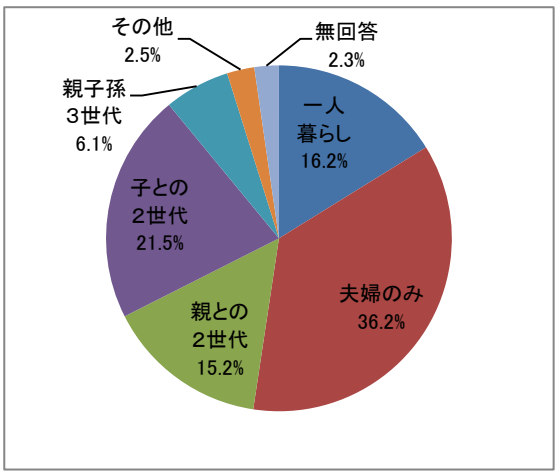
問１(2)　年齢

1	１９歳以下	53	4.9 ％
2	２０～２４歳	42	3.8 ％
3	２５～２９歳	22	2.0 ％
4	３０～３４歳	46	4.2 ％
5	３５～３９歳	51	4.7 ％
6	４０～４４歳	51	4.7 ％
7	４５～４９歳	44	4.0 ％
8	５０～５４歳	56	5.1 ％
9	５５～５９歳	56	5.1 ％
10	６０～６４歳	135	12.3 ％
11	６５～６９歳	185	16.9 ％
12	７０～７４歳	194	17.7 ％
13	７５～７９歳	93	8.5 ％
14	８０～８４歳	40	3.7 ％
15	８５歳以上	10	0.9 ％
16	無回答	16	1.5 ％



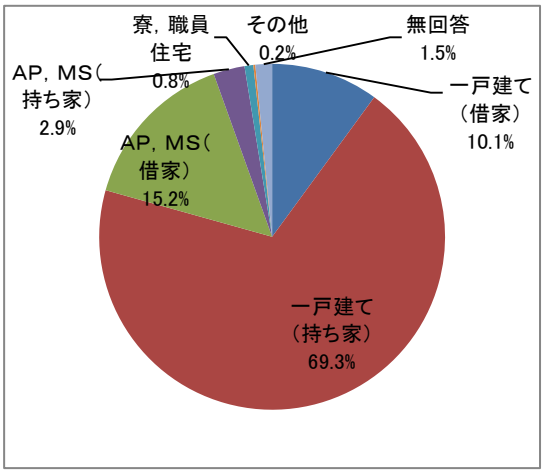
問２　家族構成

1	一人暮らし	177	16.2 ％
2	夫婦のみ	396	36.2 ％
3	親との２世代	166	15.2 ％
4	子との２世代	235	21.5 ％
5	親子孫の３世代	67	6.1 ％
6	その他	28	2.5 ％
7	無回答	25	2.3 ％



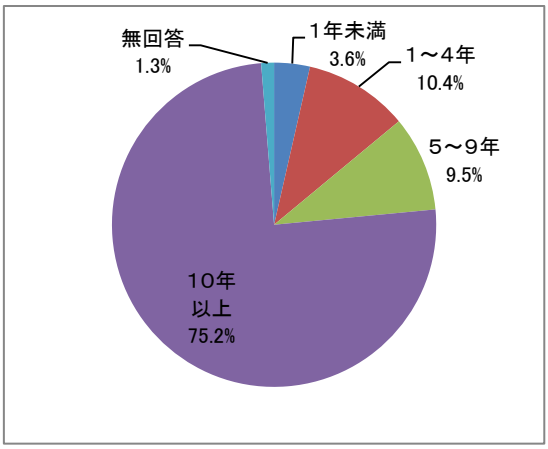
問３　現在の住まい

1	一戸建て（借家）	110	10.1 ％
2	一戸建て（持ち家）	758	69.3 ％
3	アパート，マンション（借家）	166	15.2 ％
4	アパート，マンション（持ち家）	32	2.9 ％
5	寮，職員住宅	9	0.8 ％
6	その他	2	0.2 ％
7	無回答	17	1.5 ％



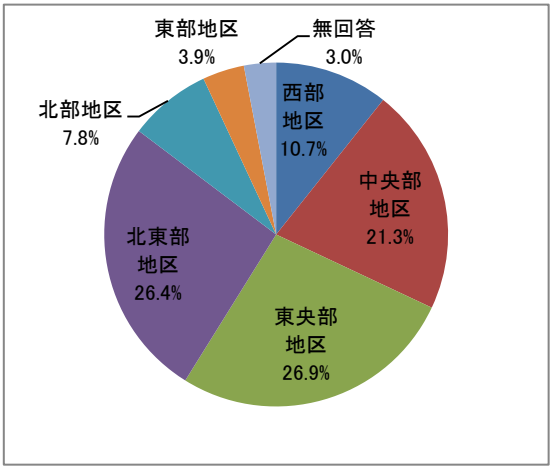
問４　居住年数

1	１年未満	39	3.6 ％
2	１～４年	114	10.4 ％
3	５～９年	104	9.5 ％
4	１０年以上	823	75.2 ％
5	無回答	14	1.3 ％



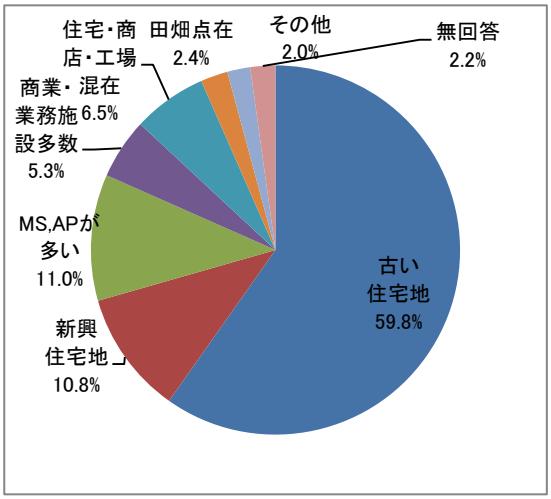
問５　居住地域

1	西部地区	117	10.7 ％
2	中央部地区	233	21.3 ％
3	東央部地区	294	26.9 ％
4	北東部地区	289	26.4 ％
5	北部地区	85	7.8 ％
6	東部地区	43	3.9 ％
7	無回答	33	3.0 ％



問６　居住環境

1	古くからの住宅地	654	59.8 ％
2	新興住宅地	118	10.8 ％
3	マンション・アパートが多い地域	121	11.0 ％
4	商業・業務施設が比較的多い地域	58	5.3 ％
5	住宅・商店・工場等のまざった地域	71	6.5 ％
6	田畑が多く住宅が点在している地域	26	2.4 ％
7	その他	22	2.0 ％
8	無回答	24	2.2 ％

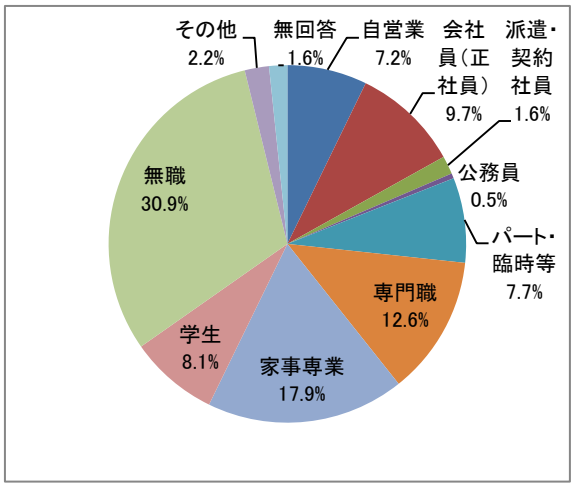


＜その他の主な回答＞

漁業地区，漁業住宅地	入舟町，根崎町，浜町，釜谷町，川汲町	6件
温泉･旅館･ホテルが多い	湯川町	3件
亀田市合併後，住宅増	川原町	2件
公営住宅が多い	西旭岡町	3件
住宅･商店･観光地	豊川町	1件

問７　職業

1	自営業	79	7.2 ％
2	会社員（正社員）	106	9.7 ％
3	派遣・契約社員	18	1.6 ％
4	公務員	5	0.5 ％
5	パート・臨時等	84	7.7 ％
6	専門職	138	12.6 ％
7	家事専業	196	17.9 ％
8	学生	88	8.1 ％
9	無職	338	30.9 ％
10	その他	24	2.2 ％
11	無回答	18	1.6 ％



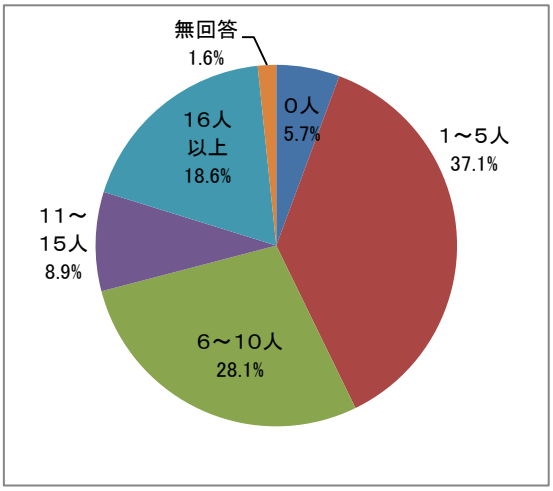
＜その他の主な回答＞

団体職員	6件
施設職員	2件
会社役員等	4件
（その他）　管理人，ボランティア団体代表，僧侶， 非常勤講師（高校，大学）　など	

問８　日頃交流のある人の人数

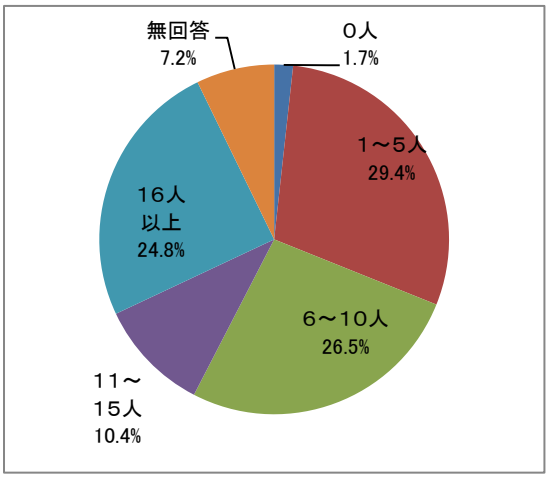
(1)　近所に住んでいる人

1	０人	62	5.7 ％
2	１～５人	406	37.1 ％
3	６～１０人	308	28.1 ％
4	１１～１５人	97	8.9 ％
5	１６人以上	203	18.6 ％
6	無回答	18	1.6 ％



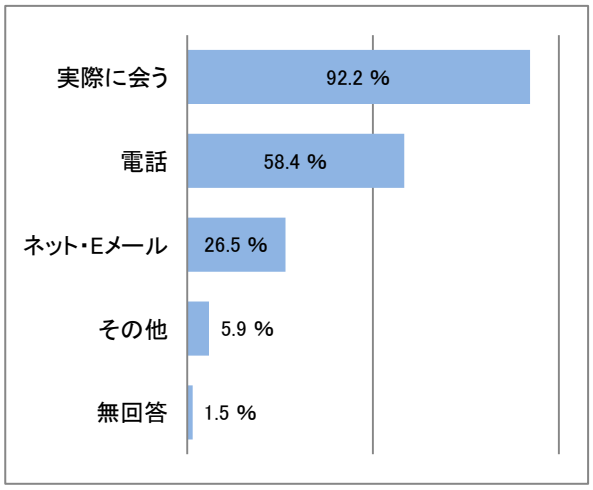
(2)　(1) 以外に住んでいる人

1	０人	19	1.7 ％
2	１～５人	321	29.4 ％
3	６～１０人	290	26.5 ％
4	１１～１５人	114	10.4 ％
5	１６人以上	271	24.8 ％
6	無回答	79	7.2 ％



問９　日頃交流のある人とは，どのようにして交流しているか。（複数回答）

1	実際に会う	1,009	92.2 ％
2	電話	639	58.4 ％
3	ネット・E メール	290	26.5 ％
4	その他	64	5.9 ％
5	無回答	16	1.5 ％



＜その他の主な回答＞

サークル・趣味の会・スポーツ交流等で会う	18件
ボランティア・地域活動等で会う	15件
手紙	10件
（その他）　フェイスブック，子どもの行事等を通じて　など	

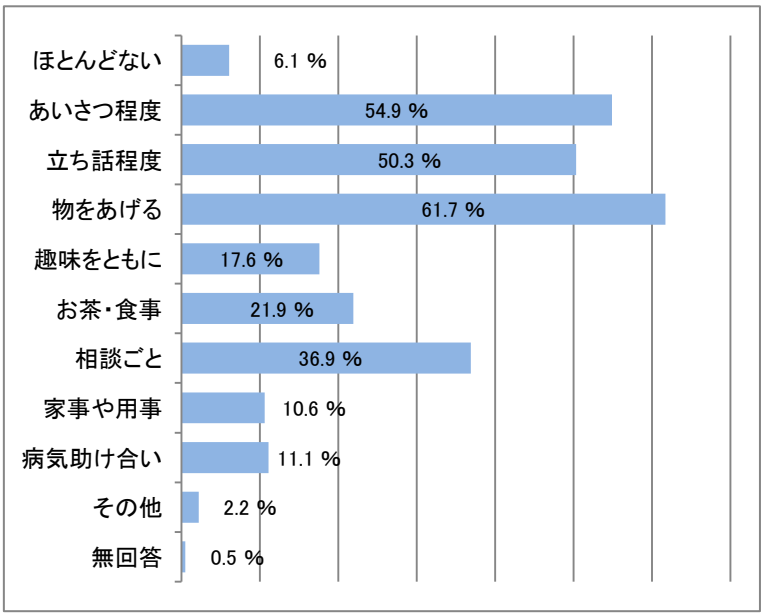
２　近所付き合いの状況

問 10　近所の人とは，どのような付き合いをしているか。（複数回答）

1	ほとんど付き合いはない	67	6.1 ％
2	あいさつをかわす程度	601	54.9 ％
3	立ち話をする程度	550	50.3 ％
4	物をあげたりもらったりする	675	61.7 ％
5	趣味をともにする	192	17.6 ％
6	お茶や食事を一緒にする	240	21.9 ％
7	相談ごとがあった時，相談したり，されたりする	404	36.9 ％
8	家事やちょっとした用事をしたり，してもらったりする	116	10.6 ％
9	病気の時に助け合う	121	11.1 ％
10	その他	24	2.2 ％
11	無回答	6	0.5 ％

＜その他の主な回答＞

旅行等 留守の時の見回り	3件
一緒に雪かきをする	5件
買い物に付き合う，買い物をしてあげる	3件
（その他）　町内会活動を通じ付き合い，犬の散歩での立ち話， 子どもを通じた付き合い　など	

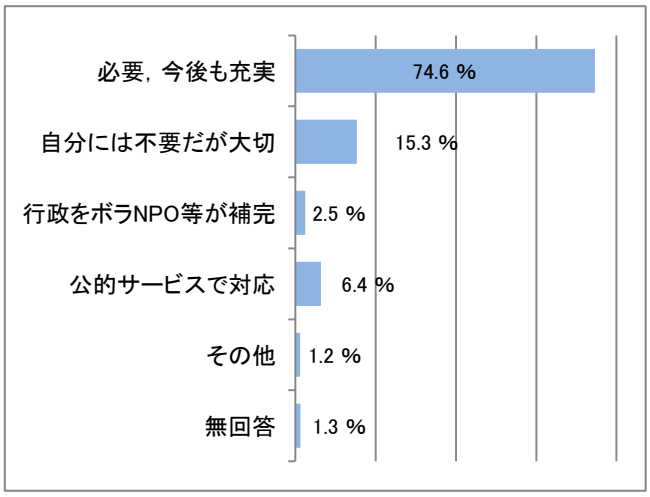


問 11　「共に支え合う社会」づくりについて，どのように考えるか。（複数回答）

1	地域における支え合いは必要であり，今後も充実させるべきだと思う	816	74.6 ％
2	現在の自分には必要ないが，大切なことだと思う	167	15.3 ％
3	行政が対応できない課題はボランティアやＮＰＯに任せた方がよいと思う	27	2.5 ％
4	地域の支え合いに頼らずに，公的な福祉サービスで対応すべきだと思う	70	6.4 ％
5	その他	13	1.2 ％
6	無回答	14	1.3 ％

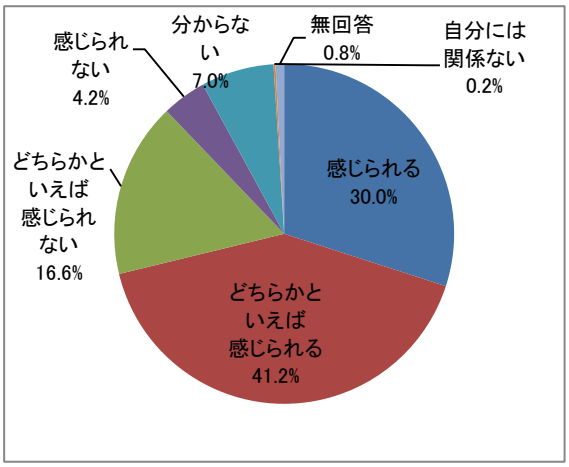
＜その他の主な回答＞

地域における支え合いも必要だが，好適な見守りやサービスも必要なことと思う。	30代前半	女性
時代背景にそぐわないことも考慮してシステム化する必要があると思う。地域支え合いの再構築は難しいと考える。	30代後半	男性
支え合いは重要。しかし今の現状に合わせた仕組みを作ることは必要。（作るのは行政・社協も共働）	40代前半	男性
近所は深入りせずに長く付き合うべきと思います。	70代前半	女性
（1と回答のうえ）地域の支え合いも必要と思いますが，限度があり，最終的には，公的な福祉サービスで対応すべきだと思います。	70代前半	女性
とても大切なことだと思うが現状は難しい	40代後半	女性



問 12　居住地域で，近所の人同士の「支え合い」を感じることができるか。

1	感じられる	328	30.0 ％
2	どちらかといえば感じられる	451	41.2 ％
3	どちらかといえば感じられない	182	16.6 ％
4	感じられない	46	4.2 ％
5	分からない	76	7.0 ％
6	自分には関係ない	2	0.2 ％
7	無回答	9	0.8 ％

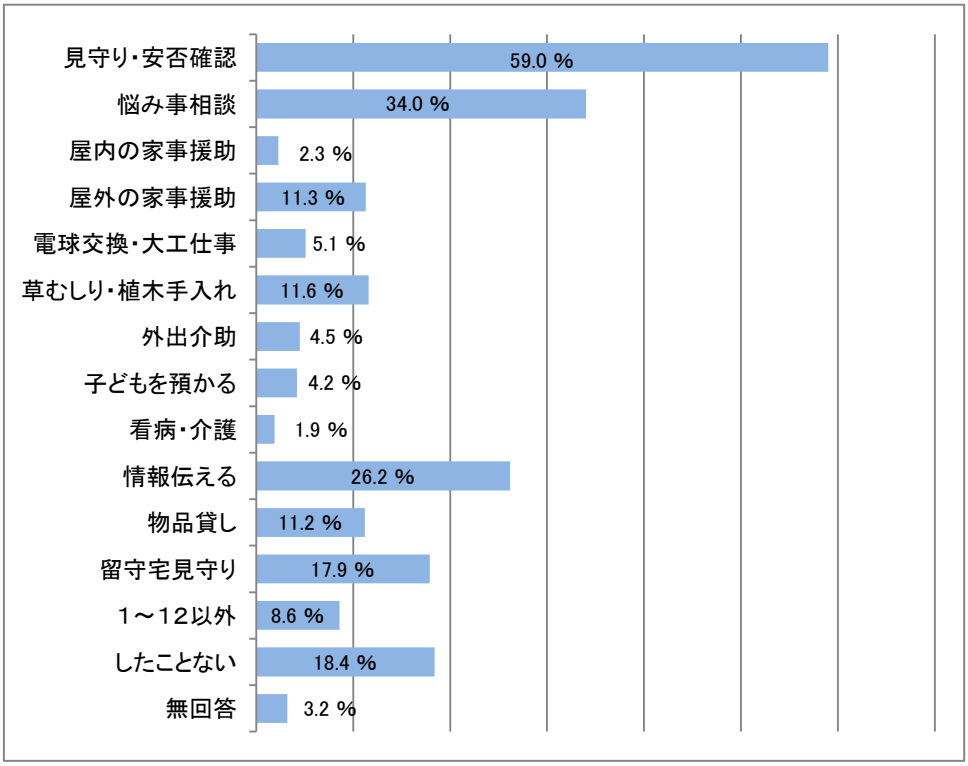


問 13　隣近所の人に，次のような手助けや手伝いをしたことがあるか。（複数回答）

1	高齢者・障がい者等の日常生活の見守り・安否確認	645	59.0 ％
2	悩みごとや心配ごとの相談	372	34.0 ％
3	炊事，洗濯，掃除など家屋内の家事援助	25	2.3 ％
4	ゴミ出し，買い物などの家屋外の家事援助	124	11.3 ％
5	電球の交換や住まいの小修繕などの大工仕事	56	5.1 ％
6	草むしりや植木の手入れ	127	11.6 ％
7	外出の介助	49	4.5 ％
8	子どもを預かる	46	4.2 ％
9	看病・介護	21	1.9 ％
10	情報（お買い物・病院・福祉・教育の情報）を伝える	287	26.2 ％
11	物品（道具・食品・日用品）を貸す	122	11.2 ％
12	近所の人が留守にする時の留守番・留守宅の見守り	195	17.8 ％
13	１～１２以外のもの	94	8.6 ％
14	手助けや手伝いをしたことがない	201	18.4 ％
15	無回答	35	3.2 ％

＜「1～12以外のもの」の主な回答＞

雪かき関係	66件
冬期間の車両救助関係	4件
救急車要請や病気等の緊急時の手助け	5件
おすそわけ等	3件
ペット預かり等の世話	3件
（その他）　鍵の預かり，コンブ干し，スズメバチ等の情報共有，ゴミ拾い，町会館での交流や手伝い，駐車スペースの提供	



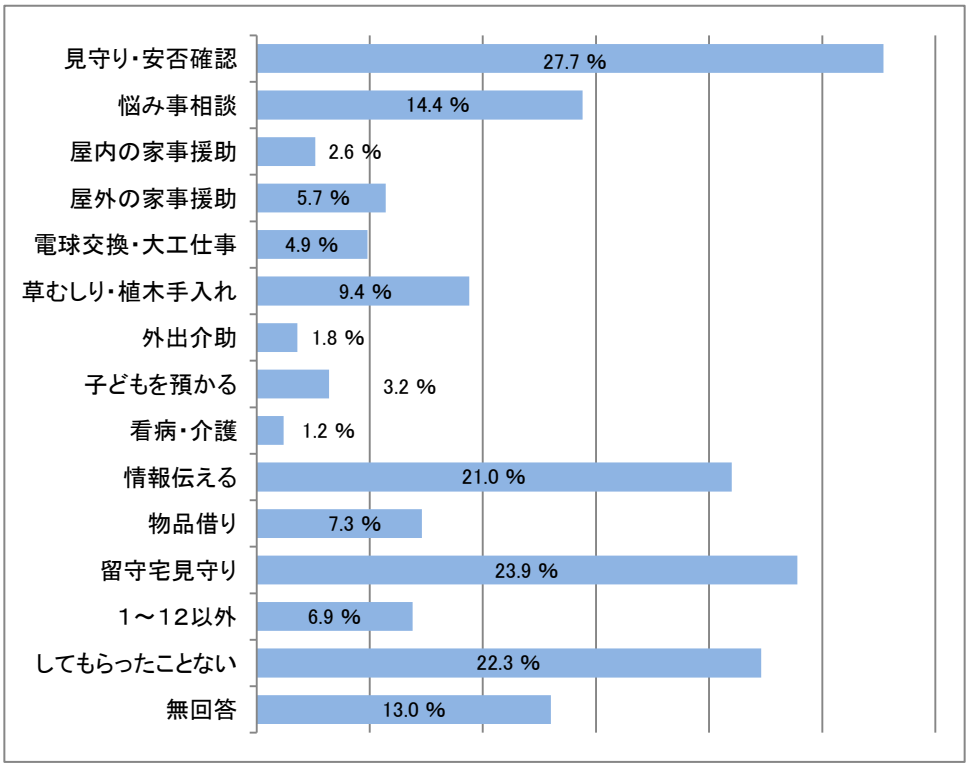
問 14　隣近所の人から，次のような手助けや手伝いをしてもらったことがある，あるいは，してもらいたいと思うか。（複数回答）

1	高齢者・障がい者等の日常生活の見守り・安否確認	303	27.7 ％
2	悩みごとや心配ごとの相談	158	14.4 ％
3	炊事，洗濯，掃除など家屋内の家事援助	28	2.6 ％
4	ゴミ出し，買い物などの家屋外の家事援助	62	5.7 ％
5	電球の交換や住まいの小修繕などの大工仕事	54	4.9 ％
6	草むしりや植木の手入れ	103	9.4 ％
7	外出の介助	20	1.8 ％
8	子どもを預かる	35	3.2 ％
9	看病・介護	13	1.2 ％
10	情報（お買い物・病院・福祉・教育の情報）を伝える	230	21.0 ％
11	物品（道具・食品・日用品）を借りる	80	7.3 ％
12	留守にする時の留守番・留守宅の見守り	261	23.9 ％
13	１～１２以外のもの	76	6.9 ％
14	手助けや手伝いをしたもらったことがない，あるいは，してもらいたくない	244	22.3 ％
15	無回答	142	13.0 ％

＜「1～12以外のもの」の他の主な回答＞

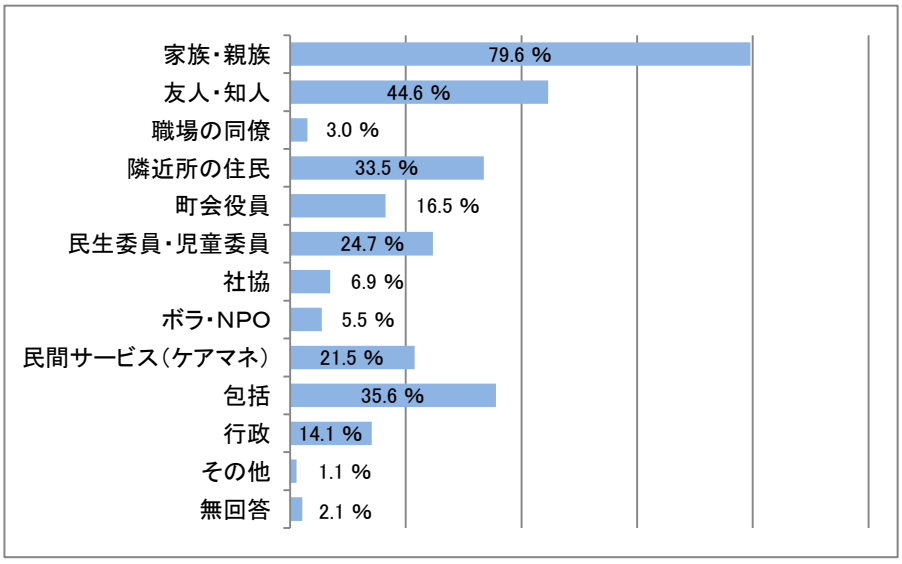
雪かき関係	27件
緊急時の手助け，声かけ	3件
子どもの世話など	4件
「してもらいたくない」わけではない	7件
今のところ必要ない，今はまだ元気，自分のことは自分で	12件

（その他）　家庭菜園等へのアドバイス（2件），病院への送迎
冬期間の車両救助関係，長期留守時の郵便物保管
ペットの世話，手紙の翻訳，浴衣の着付け　など


見守り・安否確認
27.7 %
悩み事相談
14.4 %
屋内の家事援助
2.6 %
屋外の家事援助
5.7 %
電球交換・大工仕事
4.9 %
草むしり・植木手入れ
9.4 %
外出介助
1.8 %
子どもを預かる
3.2 %
看病・介護
1.2 %
情報伝える
21.0 %
物品借り
7.3 %
留守宅見守り
23.9 %
1～12以外
6.9 %
してもらったことない
22.3 %
無回答
13.0 %

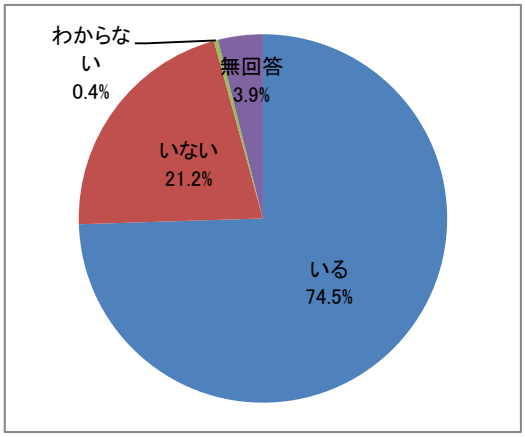
問 15　仮に，自分が何らかの見守りが必要な状態（一人暮らしなど）となった場合，どのような人に見守りをして欲しいと思うか。（複数回答）

1	家族・親族	871	79.6 ％
2	仲の良い友人・知人	488	44.6 ％
3	職場の同僚	33	3.0 ％
4	隣近所の住民	367	33.5 ％
5	町会などの役員	181	16.5 ％
6	民生委員・児童委員	270	24.7 ％
7	社会福祉協議会	76	6.9 ％
8	ボランティア・ＮＰＯ	60	5.5 ％
9	民間サービス事業者（ケアマネ等）	235	21.5 ％
10	地域包括支援センター	390	35.6 ％
11	行政（市役所）	154	14.1 ％
12	その他	12	1.1 ％
13	無回答	23	2.1 ％



問 16　自分が，疾病や加齢等による心身の障がい等により，日常生活に支障があり，災害時などに自力で避難することが困難になった場合，災害時などに安否確認や避難介助などの支援をしてくれる人がいるか。

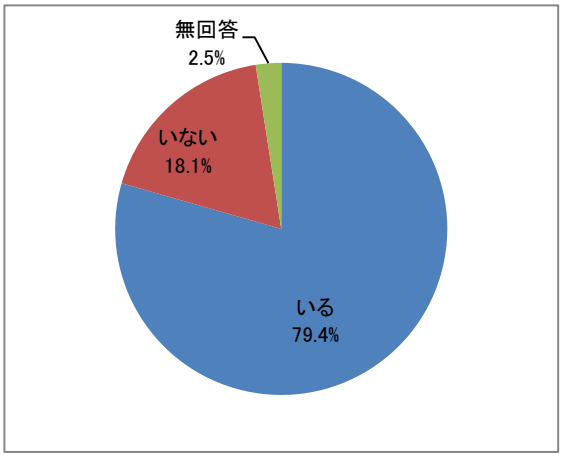
1	いる	815	74.5 ％
2	いない	232	21.2 ％
3	わからない	4	0.4 ％
4	無回答	43	3.9 ％



３　地域での相談先

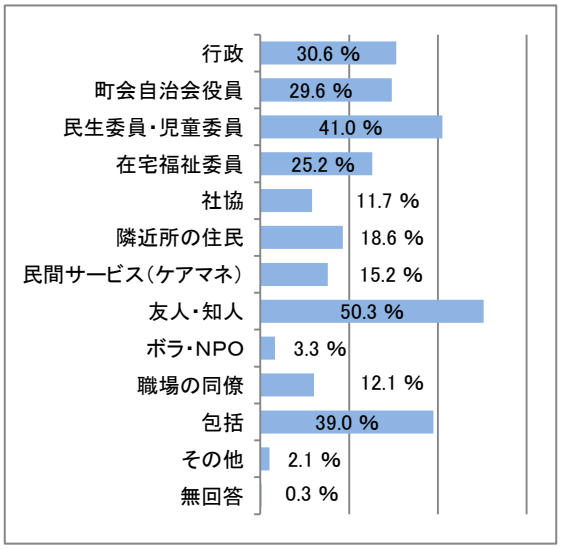
問 17　家族・親族以外で福祉のことについて相談できる人はいるか。

1	いる	869	79.4 ％
2	いない	198	18.1 ％
3	無回答	27	2.5 ％



問 17-1　そのうち誰に相談するか。【問 17 で　１と答えた人のみ】（複数回答）

1	行政（市役所）	266	30.6 ％
2	町会・自治会役員	257	29.6 ％
3	民生委員・児童委員	356	41.0 ％
4	在宅福祉委員	219	25.2 ％
5	社会福祉協議会	102	11.7 ％
6	隣近所の住民	162	18.6 ％
7	民間サービス事業者（ケアマネ等）	132	15.2 ％
8	仲の良い友人・知人	437	50.3 ％
9	ボランティア・ＮＰＯ	29	3.3 ％
10	職場の同僚	105	12.1 ％
11	地域包括支援センター	339	39.0 ％
12	その他	18	2.1 ％
13	無回答	3	0.3 ％

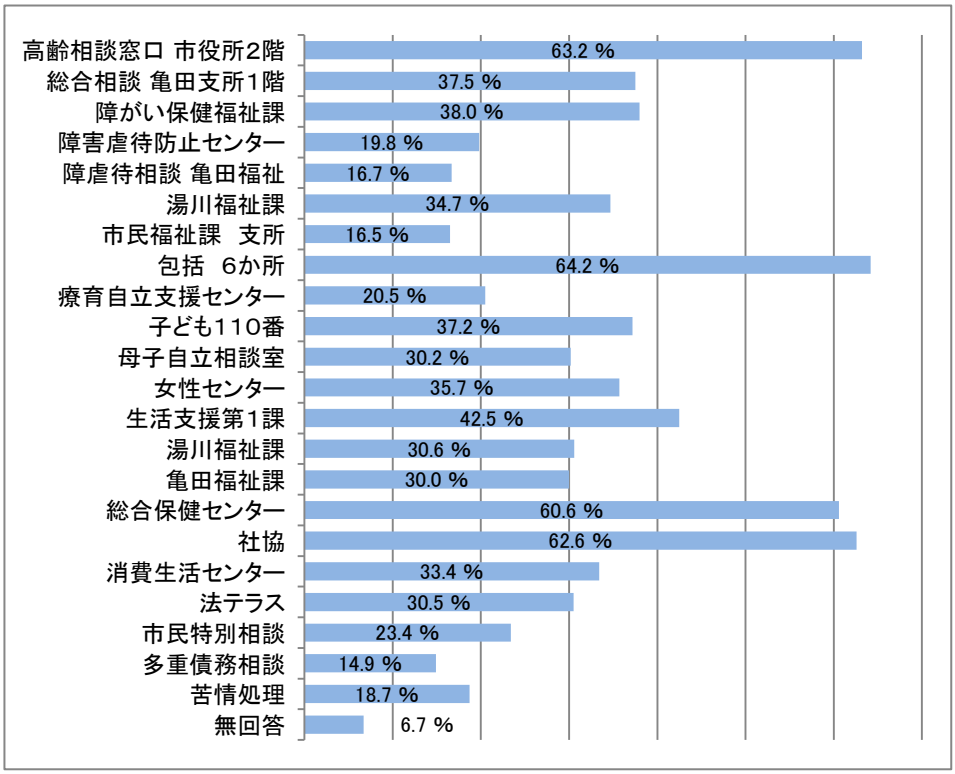


＜その他の主な回答＞

学校，学校の先生	10件
（その他）　上司，同僚（社会福祉士等），利用施設の職員　　など	

問 18　次の相談窓口や相談事業などの中で，知っているものはどれか。（複数回答）

1	高齢者・介護総合相談窓口　（市役所２階）	691	63.2 ％
2	介護・高齢・障がい相談窓口（亀田支所１階）	410	37.5 ％
3	障がい保健福祉課（市役所１階）	416	38.0 ％
4	市町村障害者虐待防止センター（市役所１階）	217	19.8 ％
5	障がい者虐待相談窓口（亀田福祉課）	183	16.7 ％
6	湯川福祉課（湯川支所１階）	380	34.7 ％
7	市民福祉課（戸井･恵山・椴法華・南茅部支所）	181	16.5 ％
8	地域包括支援センター（市内６か所）	702	64.2 ％
9	療育・自立支援センター	224	20.5 ％
10	子ども何でも相談１１０番（総合保健センター１階）	407	37.2 ％
11	母子自立支援・女性相談室（市役所２階，亀田支所１階）	330	30.2 ％
12	女性センター	391	35.7 ％
13	生活支援第１課（市役所２階）	465	42.5 ％
14	湯川福祉課（湯川支所１階）	335	30.6 ％
15	亀田福祉課（亀田支所１階）	328	30.0 ％
16	総合保健センター	663	60.6 ％
17	社会福祉協議会	685	62.6 ％
18	消費生活センター	365	33.4 ％
19	法テラス	334	30.5 ％
20	市民特別相談（市役所１階）	256	23.4 ％
21	多重債務相談（市役所１階）	163	14.9 ％
22	福祉サービス苦情処理委員事務局（市役所３階）	205	18.7 ％
23	無回答	73	6.7 ％

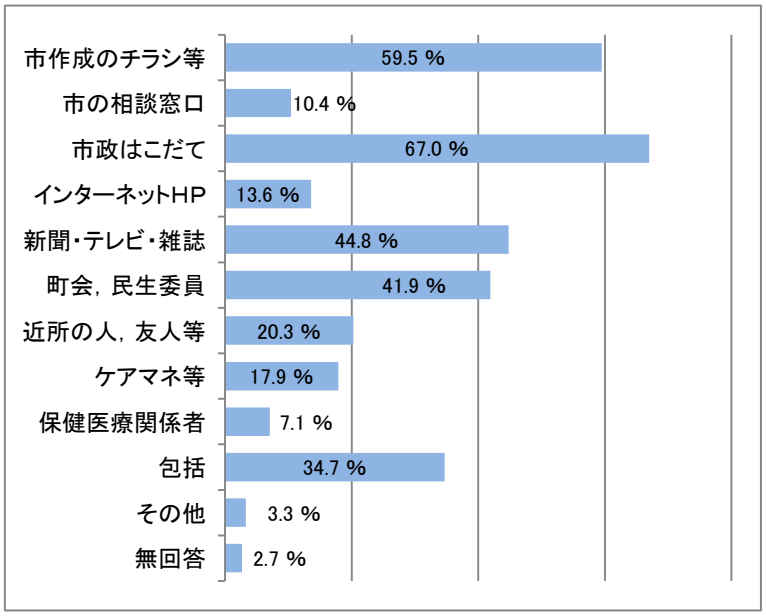


問 19　ふだん，福祉サービスに関する情報をどこから入手しているか。（複数回答）

1	市や関係団体が作成するチラシやパンフレットから	651	59.5 ％
2	市役所など各種相談窓口での相談から	114	10.4 ％
3	「市政はこだて」から	733	67.0 ％
4	インターネットのホームページから	149	13.6 ％
5	新聞・テレビ・雑誌などから	490	44.8 ％
6	町会や民生委員・児童委員などから	458	41.9 ％
7	近所の人や友人，同じ立場の人から	222	20.3 ％
8	ケアマネジャー，ヘルパー等の福祉関係者から	196	17.9 ％
9	保健師やかかりつけ医等の保健・医療関係者から	78	7.1 ％
10	地域包括支援センターから	380	34.7 ％
11	その他	36	3.3 ％
12	無回答	29	2.7 ％

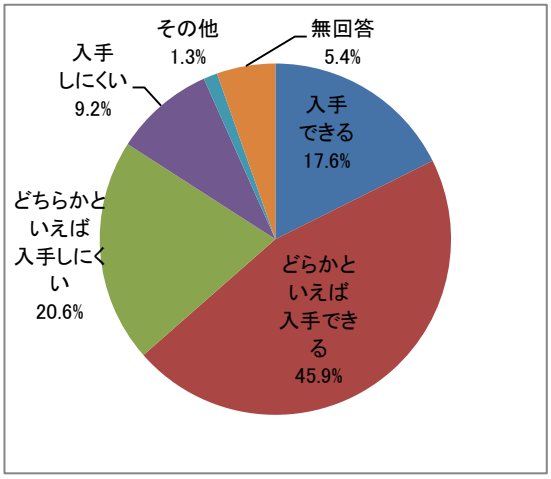
＜その他の主な回答＞

職場･同僚から（福祉関係）	12件
学校，学校の先生	9件
（その他）　家族，社協だより，入手したことがない　　など	



問 20　福祉サービスに関して，ほしい時にほしい情報がすぐ入手できると感じるか。

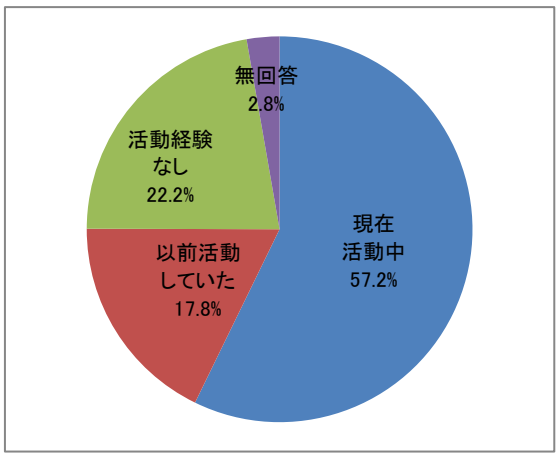
1	入手できる	193	17.6 ％
2	どちらかといえば入手できる	502	45.9 ％
3	どちらかといえば入手しにくい	225	20.6 ％
4	入手しにくい	101	9.2 ％
5	その他	14	1.3 ％
6	無回答	59	5.4 ％



４　ボランティア活動状況

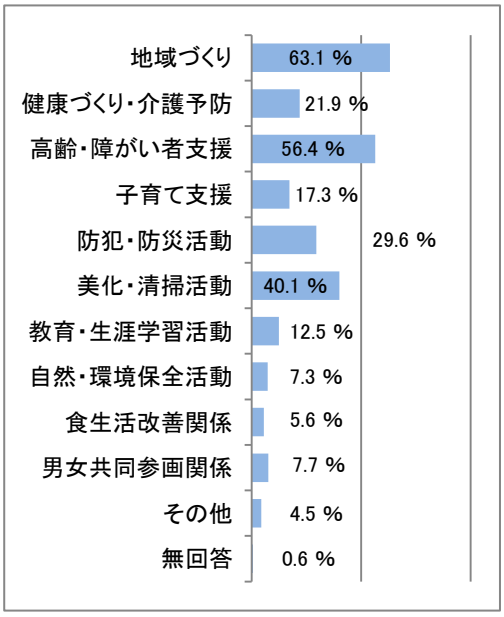
問 21　これまでにボランティア活動をしたことがあるか。

1	現在活動中	626	57.2 ％
2	以前活動していた	195	17.8 ％
3	活動経験なし	243	22.2 ％
4	無回答	30	2.8 ％



問 21-1　それはどのような活動か。【問 21 で　１と答えた人のみ】（複数回答）

1	地域づくりに関する活動	395	63.1 ％
2	健康づくり・介護予防に関する活動	137	21.9 ％
3	高齢者や障がいのある人の支援に関する活動	353	56.4 ％
4	子育て支援に関する活動	108	17.3 ％
5	防犯や防災に関する活動	185	29.6 ％
6	美化や清掃に関する活動	251	40.1 ％
7	教育や生涯学習に関する活動	78	12.5 ％
8	自然や環境の保全に関する活動	46	7.3 ％
9	食生活改善に関する活動	35	5.6 ％
10	男女共同参画に関する活動	48	7.7 ％
11	その他	28	4.5 ％
12	無回答	4	0.6 ％



＜その他の主な回答＞

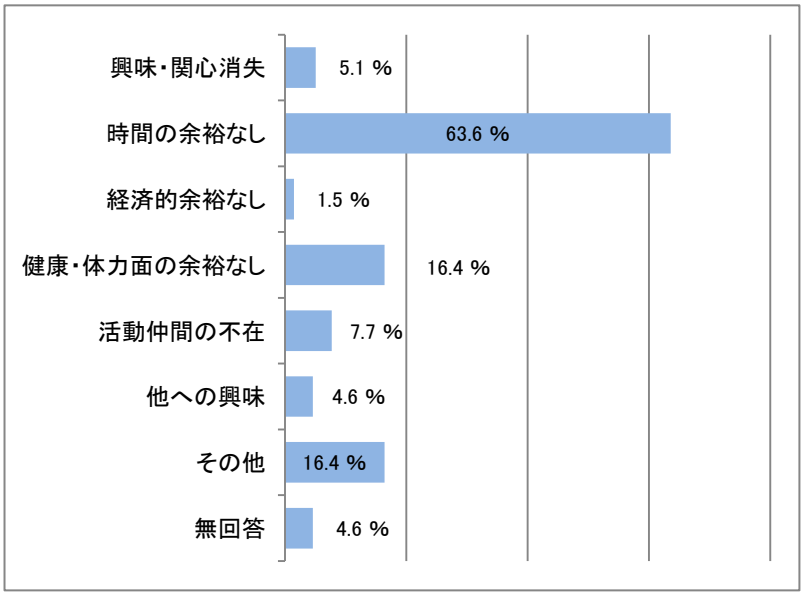
町会，在宅福祉委員	7件
民生委員	4件
＜その他＞　保護司，認知症サポーター，傾聴，DV 被害相談， 子どもの登下校見守り，障がい者家族の支援　　など	

問 21-2　ボランティア活動をやめた理由は何か。【問 21 で ２と答えた人のみ】（複数回答）

1	興味・関心がなくなった	10	5.1 ％
2	時間的な余裕がなくなった	124	63.6 ％
3	経済的な余裕がなくなった	3	1.5 ％
4	健康や体力面で余裕がなくなった	32	16.4 ％
5	一緒に活動する仲間がいなくなった	15	7.7 ％
6	他にやりたいことが見つかった	9	4.6 ％
7	その他	32	16.4 ％
8	無回答	9	4.6 ％

＜その他の主な回答＞

学校(授業, 部活)でのボランティアだったから	11件
一時的・短期的な物だったから	3件
活動内容が「職業」になったから	2件
転居により活動場所を離れたから	4件
（その他）　まだ機会を見つけていない, 情報がない, 仕事が多忙 活動内容が自分の考えと異なっていた　など	

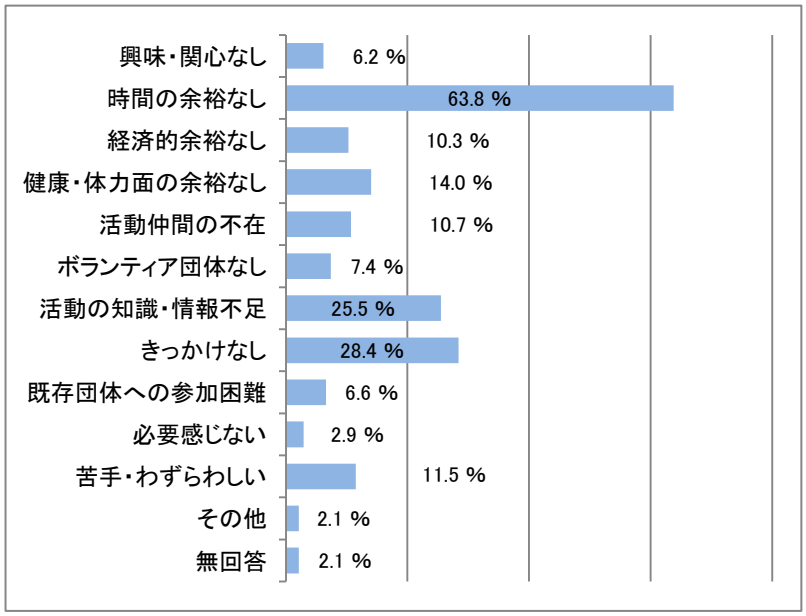


問 21-3　ボランティア活動をしたことがない理由は何か。【問 21 で ３と答えた人のみ】（複数回答）

1	興味・関心がない	15	6.2 %
2	時間的な余裕がない	155	63.8 %
3	経済的な余裕がない	25	10.3 %
4	健康や体力面で余裕がない	34	14.0 %
5	一緒に活動する仲間がいない	26	10.7 %
6	周りにボランティア団体がない	18	7.4 %
7	活動に関する知識や情報がない	62	25.5 %
8	始めるきっかけがない	69	28.4 %
9	既にボランティア活動をしている人の中に加わりづらい	16	6.6 %
10	必要を感じない	7	2.9 %
11	人づきあいが苦手，またはわずらわしい	28	11.5 %
12	その他	5	2.1 %
13	無回答	5	2.1 %

＜その他の主な回答＞

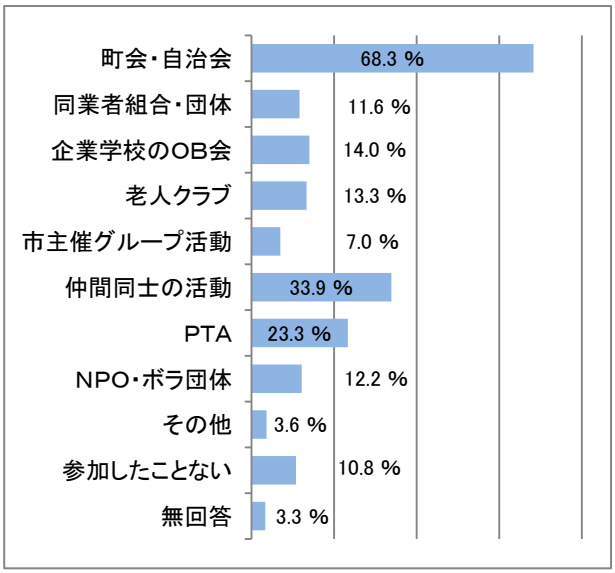
必要とされたことがない	50代前半	女性
関心あるが PTA で忙しい	40代後半	女性
町会の役員をやっていますが、それ自体がボランティアだと思っています。	70代前半	女性



５　地域活動の状況

問 22　現在参加しているか，また過去に参加した経験のある団体はあるか。（複数回答）

1	町会・自治会	747	68.3 ％
2	同業者組合・団体	127	11.6 ％
3	企業・学校のＯＢ会	153	14.0 ％
4	老人クラブ	145	13.3 ％
5	市主催グループ活動	77	7.0 ％
6	仲間同士のグループ活動	371	33.9 ％
7	ＰＴＡ	255	23.3 ％
8	ＮＰＯ・ボランティア団体	134	12.2 ％
9	その他	39	3.6 ％
10	参加したことがない	118	10.8 ％
11	無回答	36	3.3 ％

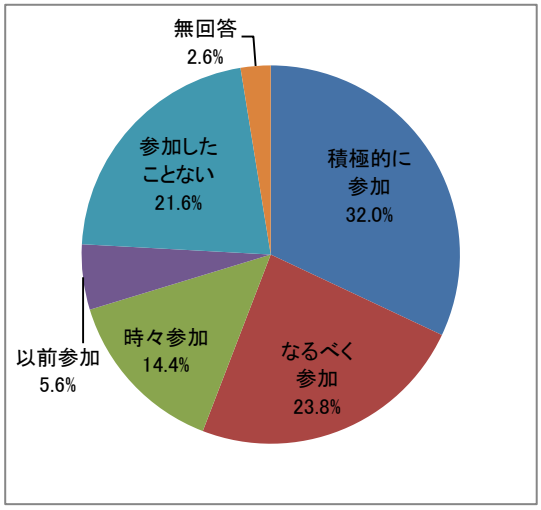


＜その他の主な回答＞

町会，在宅福祉委員	7件
民生委員	8件
（その他）　保護司，母親クラブ，少年野球の監督，野外劇裏方　　など	

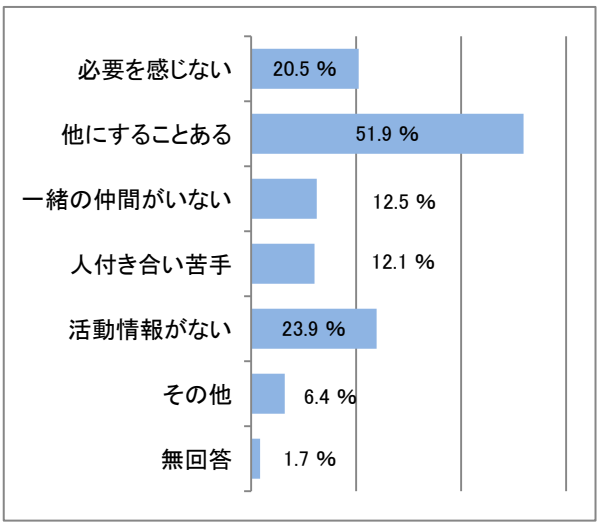
問 23　地域では，町会，社会福祉協議会，老人クラブなどの団体によって様々な活動が行われているが，自分はなんらかの地域活動に参加しているか。

1	積極的に参加している	350	32.0 ％
2	なるべく参加している	261	23.8 ％
3	時々参加している	158	14.4 ％
4	以前参加していたが，現在参加していない	61	5.6 ％
5	参加したことがない	236	21.6 ％
6	無回答	28	2.6 ％



問 23-1　地域活動に参加していない理由は何か。【問 23 で　４，５と答えた人のみ】（複数回答）

1	特に必要を感じないから	61	20.5 ％
2	他にすることがあり，時間がないから	154	51.9 ％
3	一緒に参加する仲間がいないから	37	12.5 ％
4	人づきあいが苦手，またはわずらわしいから	36	12.1 ％
5	地域活動に関する情報がないから	71	23.9 ％
6	その他	18	6.4 ％
7	無回答	5	1.7 ％

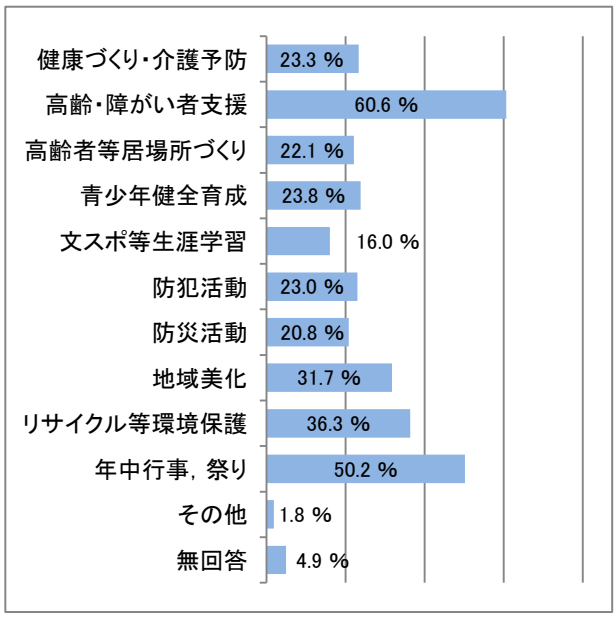


＜その他の主な回答＞

老人活動のみに力を入れて子供のための活動が少ない。	30代前半	女性
参加したいと感じる活動がないから	30代後半	女性

問 23-2　どのような地域活動に参加しているか。【問 23 で　１，２，３と答えた人のみ】
（複数回答）

1	健康づくりや介護予防	179	23.3 ％
2	高齢者や障がい者等何らかの支援が必要な人の見守り	466	60.6 ％
3	地域における高齢者等の居場所づくり	170	22.1 ％
4	青少年健全育成	183	23.8 ％
5	文化・スポーツ活動等の生涯学習	123	16.0 ％
6	防犯活動	177	23.0 ％
7	防災訓練等の防災活動	160	20.8 ％
8	地域美化	244	31.7 ％
9	リサイクル等環境保護	279	36.3 ％
10	年中行事，祭り	386	50.2 ％
11	その他	14	1.8 ％
12	無回答	38	4.9 ％



＜その他の主な回答＞

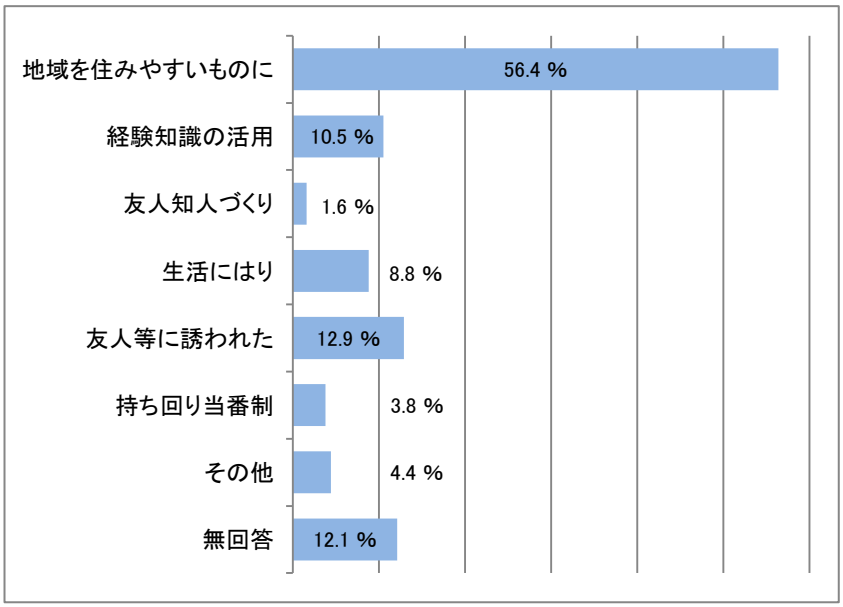
広域的な自立困難者に対する支援	70代前半	男性
新入学児童の交通事故防止のための交通整理	60代前半	女性

問 23-3　参加した一番の理由は何か。【問 23 で１，２，３と答えた人のみ】（複数回答）

1	身近な地域をより住みやすいものにしたかったから	434	56.4 ％
2	自分の経験や知識を活かしたかったから	81	10.5 ％
3	友人，知人を得たかったから	12	1.6 ％
4	生活にはりを持たせたかったから	68	8.8 ％
5	友人，知人に誘われたから	99	12.9 ％
6	持ち回りの当番制となっていたから	29	3.8 ％
7	その他	34	4.4 ％
8	無回答	93	12.1 ％

＜その他の主な回答＞

町会，民生委員の立場から	12件
子どもの PTA 等	2件
＜その他＞　退職後に勧められたから，興味があったから，楽しいから， 人のために何かしたかったから　など	

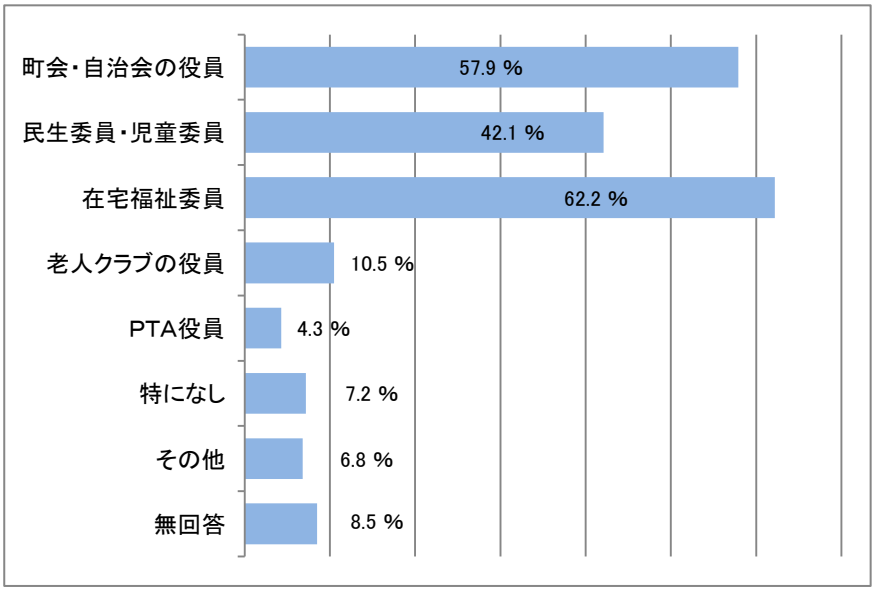


問 23-4　どのような立場で現在地域活動に携わっているか。
【問 23 で １，２，３と答えた人のみ】（複数回答）

1	町会・自治会の役員	445	57.9 ％
2	民生委員・児童委員	324	42.1 ％
3	在宅福祉委員	478	62.2 ％
4	老人クラブの役員	81	10.5 ％
5	ＰＴＡ役員	33	4.3 ％
7	特になし	55	7.2 ％
6	その他	52	6.8 ％
8	無回答	65	8.5 ％

＜その他の主な回答＞

学校評議員	8件
NPO 法人関係	4件
保護司	3件
（その他）　児童館運営関係（母親クラブ），障がい者団体等の役員， 包括支援センター　など	

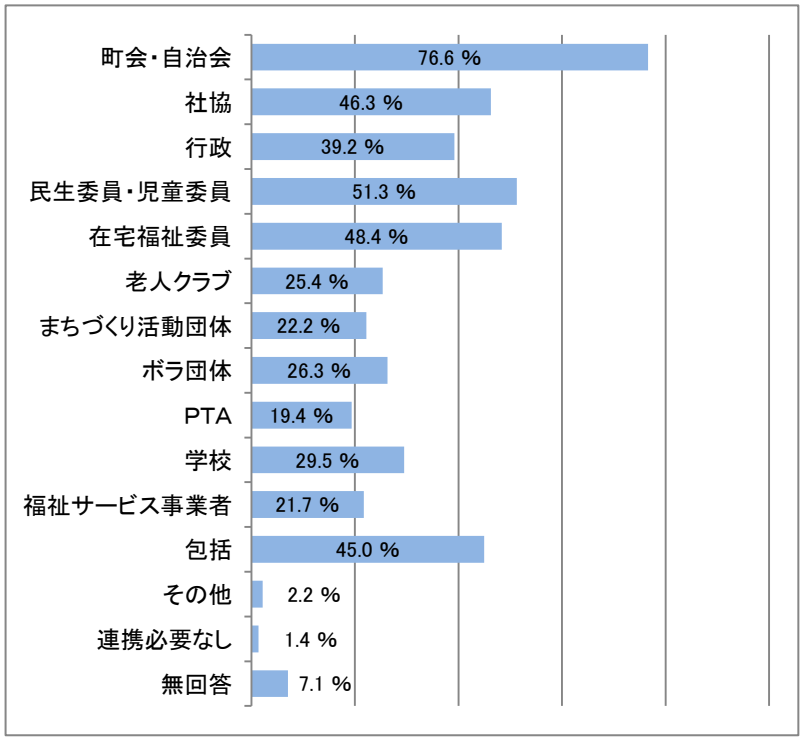


問 24　地域活動のために，どのような団体がネットワークに入ることが望ましいと思うか。
（複数回答）

1	町会・自治会	838	76.6 ％
2	社会福祉協議会	506	46.3 ％
3	行政	429	39.2 ％
4	民生委員・児童委員	561	51.3 ％
5	在宅福祉委員	530	48.4 ％
6	老人クラブ	278	25.4 ％
7	まちづくり活動団体	243	22.2 ％
8	ボランティア団体	288	26.3 ％
9	ＰＴＡ	212	19.4 ％
10	学校	323	29.5 ％
11	福祉サービス事業者	237	21.7 ％
12	地域包括支援センター	492	45.0 ％
13	その他	24	2.2 ％
14	連携必要なし	15	1.4 ％
15	無回答	78	7.1 ％

＜その他の主な回答＞

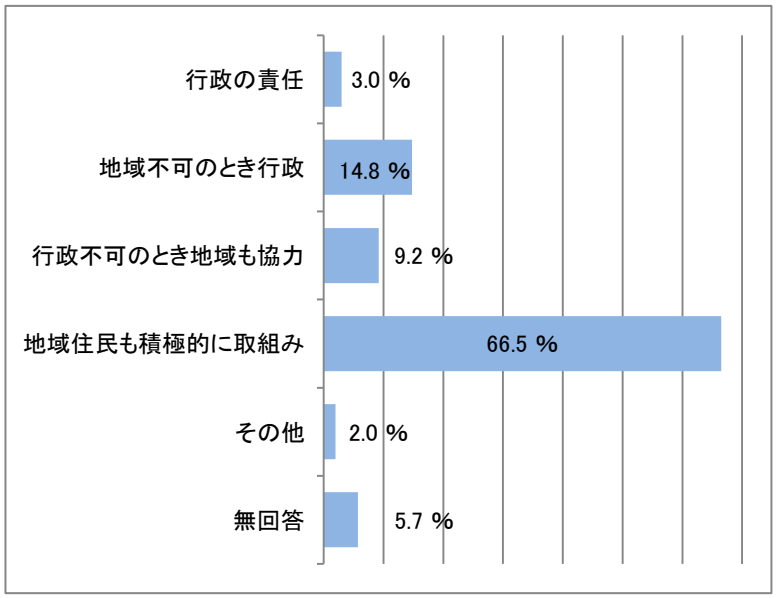
（1～12に加え） 商工会等	50代前半	女性
（1～12に加え） 商店組織(組合)や民間企業，交通関連業	40代後半	女性
（1～12に加え） 企業や警察，消防など	40代前半	女性



６　地域福祉に対する考え方

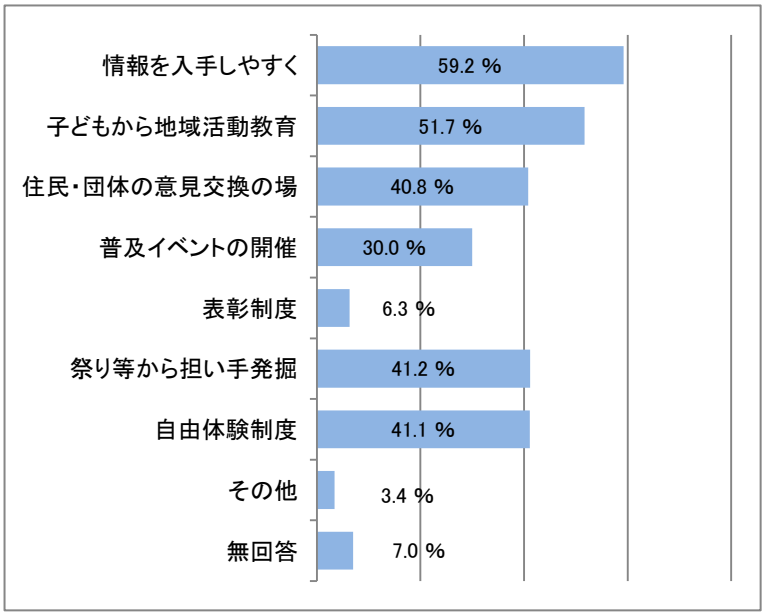
問 25　地域福祉を充実させていく上で，行政と地域住民の関係はどうあるべきだと思うか。
（複数回答）

1	行政の責任であり，地域住民が協力する必要はない	33	3.0 ％
2	地域等で助け合いが出来ない場合に限って，行政が支援すべきだと思う	162	14.8 ％
3	行政ができない場合に限って，地域住民も協力していくべきだと思う	101	9.2 ％
4	行政だけでなく地域住民も積極的に取り組むべきだと思う	727	66.5 ％
5	その他　【別記参照】	22	2.0 ％
6	無回答	62	5.7 ％



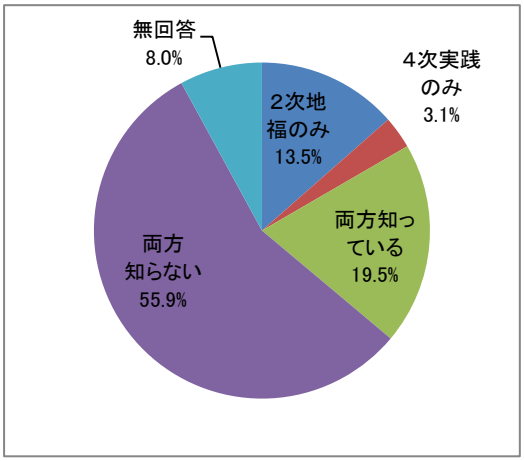
問 26　どうすれば地域活動が活性化すると思うか。（複数回答）

1	地域活動に関する情報が入手しやすい仕組みを充実する	648	59.2 ％
2	子どもの頃から地域活動を行う精神を育むための教育を充実する	566	51.7 ％
3	地域住民と関係団体等が地域福祉について意見交換できる機会を設ける	446	40.8 ％
4	地域活動の意義を普及するためのイベントなどを実施する	328	30.0 ％
5	地域活動の社会的評価を高めるための表彰制度などをつくる	69	6.3 ％
6	祭りやイベントへの参加者から地域活動の担い手の掘り起こしを図る	451	41.2 ％
7	興味・関心のある地域活動を自由に体験できる仕組みをつくる	450	41.1 ％
8	その他　【別記参照】	37	3.4 ％
9	無回答	77	7.0 ％



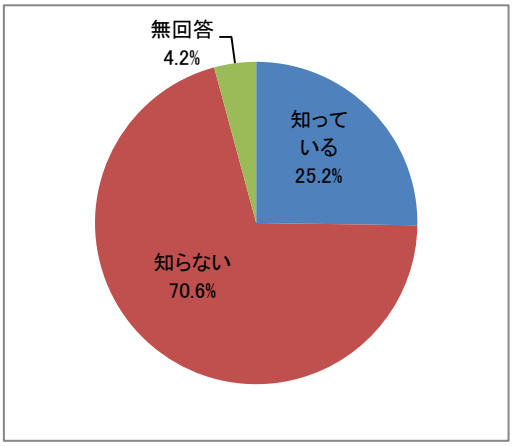
問 27　本市では，函館市が策定している「第２次函館市地域福祉計画」と，社会福祉協議会が策定している「第４期地域福祉実践計画」により，地域福祉活動を推進しているが，これらの計画を知っているか。

1	第２次函館市地域福祉計画だけ知っている	148	13.5 ％
2	第４期地域福祉実践計画だけ知っている	34	3.1 ％
3	両方知っている	213	19.5 ％
4	両方知らない	612	55.9 ％
5	無回答	87	8.0 ％



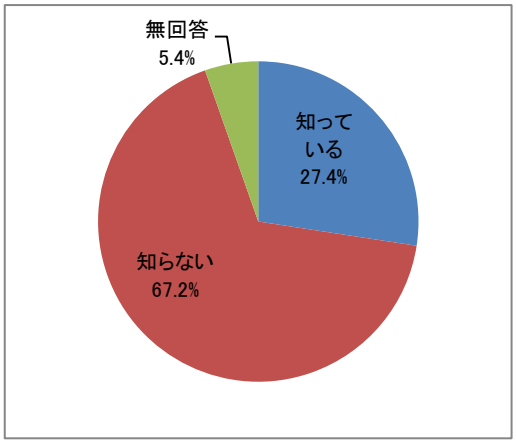
問 28　本市では，地域住民や関係団体等が地域福祉について意見交換することを目的に，２４年度から，万代町において定期的に地域福祉懇談会を開催しているが，知っているか。

1	知っている	276	25.2 ％
2	知らない	772	70.6 ％
3	無回答	46	4.2 ％



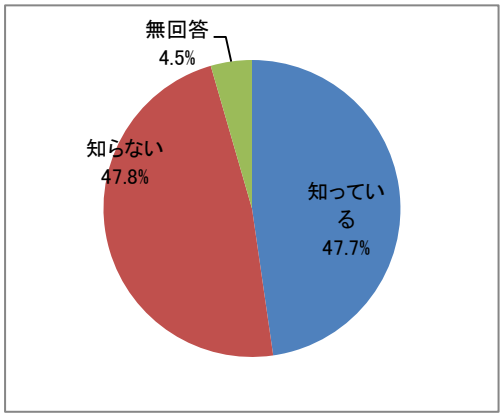
問 29　本市では，地域福祉活動を推進することを目的に，２４年度から社会福祉協議会において，地域福祉コーディネーターを配置しているが，知っているか。

1	知っている	300	27.4 ％
2	知らない	735	67.2 ％
3	無回答	59	5.4 ％



問 30　本市では，地域包括支援センターを中心に，地域の関係機関を招集し，地域の課題の発見や解決について話し合う「地域ケア会議」を２２年度から開催しているが，知っているか。

1	知っている	522	47.7 ％
2	知らない	523	47.8 ％
3	無回答	49	4.5 ％



７　函館市の福祉施策

問 31　本市の保健福祉施策について，充実してきたと実感するか。

(1)　健康づくり・介護予防

1	そう思う	155	14.2 ％
2	どちらかといえばそう思う	372	34.0 ％
3	どちらともいえない	201	18.4 ％
4	どちらかといえば思わない	51	4.6 ％
5	思わない	38	3.5 ％
6	わからない	172	15.7 ％
7	無回答	105	9.6 ％

(2)　高齢者や障がいのある人などのいきがいづくり

1	そう思う	79	7.2 ％
2	どちらかといえばそう思う	248	22.7 ％
3	どちらともいえない	297	27.1 ％
4	どちらかといえば思わない	93	8.5 ％
5	思わない	63	5.8 ％
6	わからない	197	18.0 ％
7	無回答	117	10.7 ％

(3)　障がいのある人への正しい理解の普及・啓発

1	そう思う	60	5.5 ％
2	どちらかといえばそう思う	205	18.7 ％
3	どちらともいえない	293	26.8 ％
4	どちらかといえば思わない	116	10.6 ％
5	思わない	81	7.4 ％
6	わからない	215	19.7 ％
7	無回答	124	11.3 ％

(4)　ボランティアやＮＰＯなど団体の活動支援

1	そう思う	55	5.0 ％
2	どちらかといえばそう思う	213	19.5 ％
3	どちらともいえない	291	26.6 ％
4	どちらかといえば思わない	93	8.5 ％
5	思わない	40	3.7 ％
6	わからない	275	25.1 ％
7	無回答	127	11.6 ％

(5)　地域における見守り・支え合いのネットワーク

1	そう思う	132	12.1 ％
2	どちらかといえばそう思う	311	28.4 ％
3	どちらともいえない	231	21.1 ％
4	どちらかといえば思わない	79	7.2 ％
5	思わない	44	4.0 ％
6	わからない	176	16.1 ％
7	無回答	121	11.1 ％

(6)　高齢者や障がいのある人，心の健康に不安がある人などの相談窓口

1	そう思う	103	9.4 ％
2	どちらかといえばそう思う	253	23.1 ％
3	どちらともいえない	260	23.8 ％
4	どちらかといえば思わない	82	7.5 ％
5	思わない	39	3.6 ％
6	わからない	235	21.5 ％
7	無回答	122	11.1 ％

(7)　高齢者施設の充実

1	そう思う	124	11.3 ％
2	どちらかといえばそう思う	284	26.0 ％
3	どちらともいえない	253	23.1 ％
4	どちらかといえば思わない	103	9.4 ％
5	思わない	88	8.1 ％
6	わからない	129	11.8 ％
7	無回答	113	10.3 ％

(8)　福祉サービスの情報提供

1	そう思う	96	8.8 ％
2	どちらかといえばそう思う	319	29.2 ％
3	どちらともいえない	273	25.0 ％
4	どちらかといえば思わない	89	8.1 ％
5	思わない	66	6.0 ％
6	わからない	135	12.3 ％
7	無回答	116	10.6 ％

(9)　介護サービスの充実

1	そう思う	115	10.5 ％
2	どちらかといえばそう思う	318	29.0 ％
3	どちらともいえない	248	22.7 ％
4	どちらかといえば思わない	85	7.8 ％
5	思わない	58	5.3 ％
6	わからない	151	13.8 ％
7	無回答	119	10.9 ％

(10)　生活保護受給者など低所得者に対する支援

1	そう思う	107	9.8 ％
2	どちらかといえばそう思う	232	21.2 ％
3	どちらともいえない	289	26.4 ％
4	どちらかといえば思わない	69	6.3 ％
5	思わない	60	5.5 ％
6	わからない	219	20.0 ％
7	無回答	118	10.8 ％

(11)　感染症対策などの健康危機管理

1	そう思う	66	6.0 ％
2	どちらかといえばそう思う	200	18.3 ％
3	どちらともいえない	278	25.4 ％
4	どちらかといえば思わない	73	6.7 ％
5	思わない	51	4.7 ％
6	わからない	298	27.2 ％
7	無回答	128	11.7 ％

(12)　救急医療体制の充実

1	そう思う	133	12.2 ％
2	どちらかといえばそう思う	274	25.0 ％
3	どちらともいえない	255	23.3 ％
4	どちらかといえば思わない	56	5.1 ％
5	思わない	51	4.7 ％
6	わからない	209	19.1 ％
7	無回答	116	10.6 ％

(13)　難病患者に対する在宅療養支援

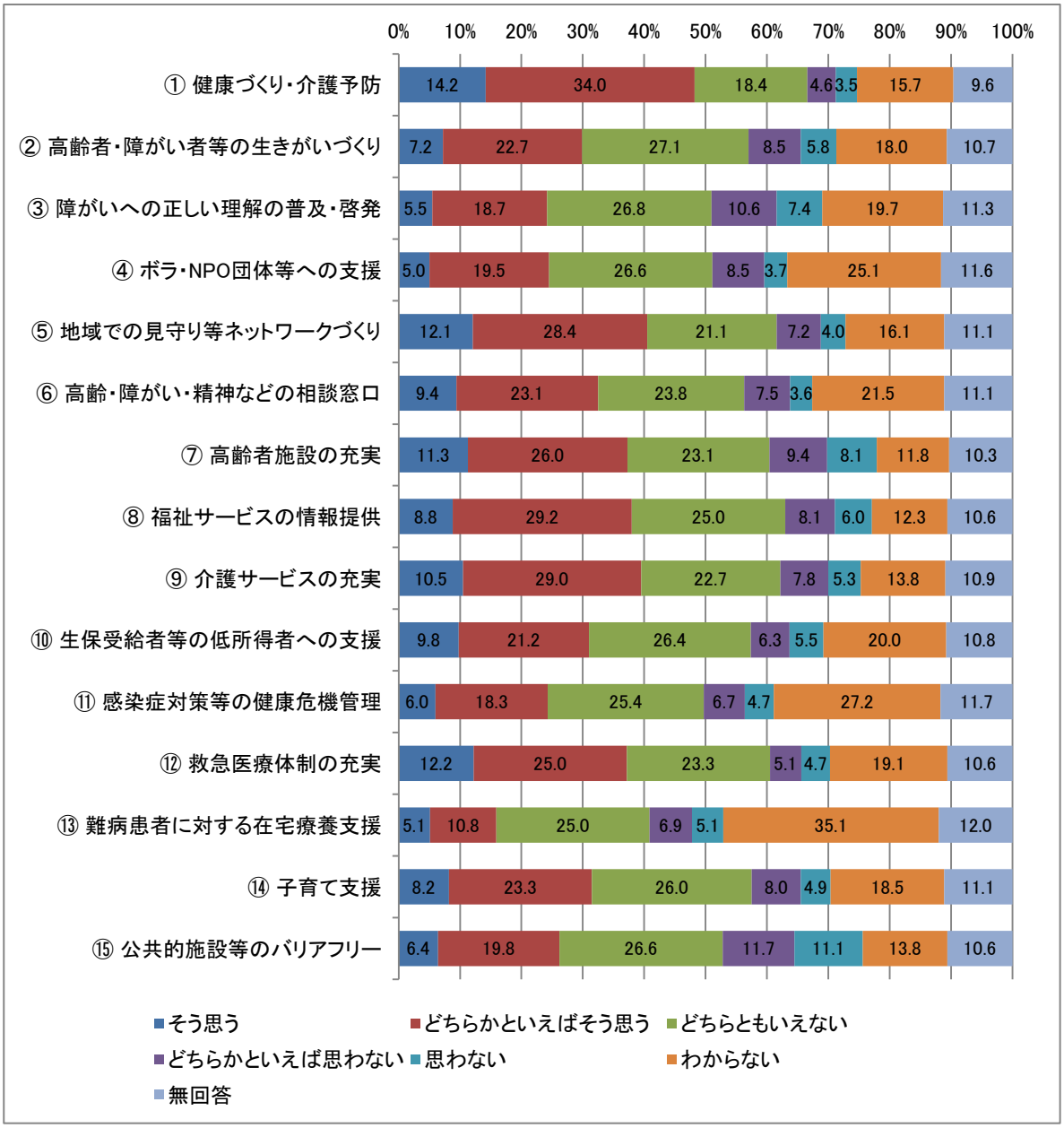
1	そう思う	56	5.1 ％
2	どちらかといえばそう思う	118	10.8 ％
3	どちらともいえない	273	25.0 ％
4	どちらかといえば思わない	76	6.9 ％
5	思わない	56	5.1 ％
6	わからない	384	35.1 ％
7	無回答	131	12.0 ％

(14)　子育て支援

1	そう思う	90	8.2 ％
2	どちらかといえばそう思う	255	23.3 ％
3	どちらともいえない	284	26.0 ％
4	どちらかといえば思わない	88	8.0 ％
5	思わない	54	4.9 ％
6	わからない	202	18.5 ％
7	無回答	121	11.1 ％

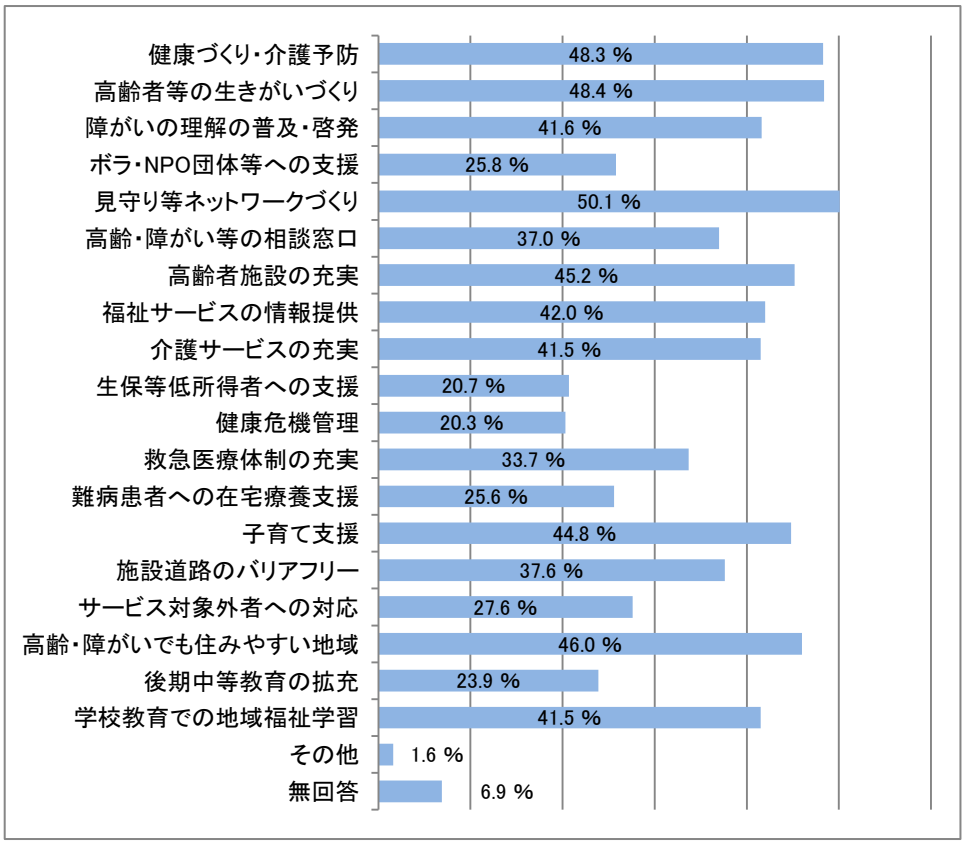
(15)　公共的施設や道路などのバリアフリー

1	そう思う	70	6.4 %
2	どちらかといえばそう思う	217	19.8 %
3	どちらともいえない	291	26.6 %
4	どちらかといえば思わない	128	11.7 %
5	思わない	121	11.1 %
6	わからない	151	13.8 %
7	無回答	116	10.6 %



問 32　今後，どのような施策にもっと力を入れなければならないと思うか。（複数回答）

1	健康づくり・介護予防	528	48.3 %
2	高齢者等の生きがいづくり	529	48.4 %
3	障がいの理解の普及・啓発	455	41.6 %
4	ボラ・NPO 団体等への支援	282	25.8 %
5	見守り等ネットワークづくり	548	50.1 %
6	高齢・障がい等の相談窓口	405	37.0 %
7	高齢者施設の充実	494	45.2 %
8	福祉サービスの情報提供	459	42.0 %
9	介護サービスの充実	454	41.5 %
10	生保等低所得者への支援	227	20.7 %
11	健康危機管理	222	20.3 %
12	救急医療体制の充実	369	33.7 %
13	難病患者への在宅療養支援	280	25.6 %
14	子育て支援	490	44.8 %
15	施設道路のバリアフリー	411	37.6 %
16	サービス対象外者への対応	302	27.6 %
17	高齢・障がいでも住みやすい地域	503	46.0 %
18	後期中等教育の拡充	261	23.9 %
19	学校教育での地域福祉学習	454	41.5 %
20	その他　【別記参照】	18	1.6 %
21	無回答	75	6.9 %



８　各設問の自由記載内容

問 25　地域福祉を充実させていく上で，行政と地域住民の関係はどうあるべきだと思うか。

回　　答	年代	性別
どちらが出来るなら片方はしなくてもよいという考え方では進まない。行政にも地域住民にも役割というものがあると思うので，それをしてゆくべきではないか。	50代前半	女性
行政としての責任はあると思う。そこは基本だと思うが。だが地域住民の意識も大切。	30代前半	女性
行政も限界があると思うが，もう少し市民の声を丁寧に聞くべきだと思う	30代前半	女性
基本は国や自治体が主導すべきと思う。地域での支え合いを意図的に回復させる方法は時代にそぐわない。ただ，特定の地域の活動参加者は必要と思う。	30代後半	男性
行政が地域住民が自立的に取り組むことがきるよう働きかけて環境を整備するべきだと思う。	30代後半	女性
行政の責任のもと地域も協力する	40代後半	女性
行政が責任を持ちリード（指導）する中，地域住民も積極的に取り組むべき	30代後半	女性
4ができるような仕組みを行政・社協等が関わって創造していくべき	40代前半	男性
（4と回答のうえ）　ただし行政に対する責任は大きいと思います。	30代後半	男性
将来に不安がないよう取組みを出したり，今後の展望を知りたい	20代後半	男性
行政・地域住民両者が積極的に協力し合い取組むとよいと思う。	30代前半	女性
どちらも	40代後半	女性
対等であればいいと思う。	30代前半	男性
わからない	10代	女性
行政と住民との橋渡し役は必要	60代前半	男性
国の予算が減少する中，地域のことはまずそれぞれの地域で協力し解決しようという姿勢が望まれると思う。	70代前半	男性
皆で支援し合う	50代前半	女性
地域住民も高齢化で大変だと思う	60代後半	女性

問 26　どうすれば地域活動が活性化すると思うか。（複数回答）

回　　答	年代	性別
核家族化をゆるめる	30代後半	女性
入手した情報を発信しやすい仕組みを作る。（3の「機会」に）参加しにくい	50代前半	女性
行政退職者が退職後3～5年でも地域活動に参加するシステムづくり	40代後半	男性
地域活動を活性化させるためには，まず住民の意識が変わる必要がある。上記設問の活動を行っても，効果は薄いと思う。	30代後半	男性
地域活動を行うと良いことがある，自分にプラスになることが実感できる仕組みをつくる。	30代後半	女性
活動への補助金の支出	30代後半	男性
行政の環境整備	30代後半	男性
個人の家計の安定	30代後半	男性
5の表彰者に市認定リーダーとし，リーダー育成	50代後半	女性
1～7は少しピンとこないです。参加を「自分のこと」と理解し主体性を持ってもらうような色々な機会を設けていく	40代前半	男性
子ども対象のイベントを増やし，若い人が集まる場で色々な情報を発信していく	30代後半	女性
各町会等で取り組んでいる地域活動で良くなってきている事例を聞かせてもらう。	60代後半	男性
何が必要で何をしたいのか，何なら出来るのかを知ること。それを実施に結びつけること	30代前半	男性
存在を知ってもらうことが重要	30代前半	男性
2は出来るならば	70代後半	無回答
各地域にリーダー的存在が必要と考えます。 ※自分で動くのが無理な方や誰かがやってくれるなら…という方が多いので	40代前半	女性
役員・委員が何年も交代しないのも良くない。上手なリーダーならいいけど！	70代前半	女性
町会の役員，在宅福祉委員のなりてがなく，皆 70 才以上ですので…。	70代前半	女性
若い人たちの地域活動への参加（30，40，50代）	60代後半	女性

（問 26）

回　　答	年代	性別
ある事がきっかけになり地域活動に参加するようになったが，それまではそういう活動で人を募集していることも知らなかった。手伝いたいと思っている 40～50 代は多いはずだが，町会にしてもどういう風に参加してよいか（お年寄りの場の感じ）わからなかった！町会という団体はとても大事だと思う。もっと開かれた『募集しています』を発信したほうがよいと思う。地域を自分達で作っている気持ちを持てるようになるといいと思う。町会の仕事は，役をやると次々にたのまれるとかマイナスイメージが強くある（定年後の仕事）みたいな。もっと子育て世代から入れる工夫があるといいのだが・・・	50代後半	女性
地域活動をして困ったことに行政が的確なアドバイスをしてくれるように	60代後半	男性
子どもにこそ何か参加したら動機付けの表彰を行う。大人については中身の伴う表彰は必要である。ほとんど何もしていないのにただ永く職にとどまった人間にはやる必要はない。	60代前半	男性
高齢者が進行する世の中なので高齢者と高齢者予備軍に対して機会を捕えて繰り返し自覚を高める活動が必要と思う	70代前半	男性
若年者が必ず地域活動に参加する仕組みを作ることが必要	80代前半	男性
共存共栄の人間愛の理念を高め合って活動する心が必要である。	60代後半	男性
若い人達の地域活動への参加（30，40，50代）	60代後半	女性
現在の若者は忙し過ぎる。自分の生活で精一杯の様に感じる。	70代前半	女性
町会役員等の意識の改革が必要かと思っています	70代前半	女性
特に担い手の掘り起こしは早急にした方が良いと思う	60代前半	女性
町会活動に誰でも参加出来るよう役員は声かけをする	70代前半	女性
障害者等への参加しやすい環境を整備	30代後半	男性

問 32　今後，どのような施策にもっと力を入れなければならないと思うか。（複数回答）

回　　答	年代	性別
企業の町会参加	50代前半	女性
生活保護受給は本当に本当に生活に困っている人だけにしてください。毎日汗だくでまじめに働き，それでもギリギリの生活をしている現実があるのに，生活保護をもらって優雅に暮らしている人が多すぎます。給食費滞納者，生活保護受給者（不正）に対して，きちんと対応してください。ムダなお金を使わず，子育てや高齢者への支援に使用してください。	30代前半	女性
地域福祉について必要性がないと，興味がある人，興味がない人さまざまだと思います。どのような立場の人にも分かりやすく，ひろめる事が必要だと感じます。	30代前半	女性
子どものころからの親子への教育	50代後半	女性
民生委員や町会活動の後継者不足は，今後さらに増えていく状況と考えます。地域力の向上は「きれい事」としては大切ですが，持続していくためには，福祉人材の活用をより広く進めていくことが大切と考えています。	40代後半	男性
地域福祉について，住民が関心を持つための工夫・施策	30代後半	男性
各世代が一緒に活動できる機会や場所	30代後半	女性
若年認知症の方への支援，早期発見など…	50代後半	女性
高齢者や障がい者の交通手段の充実	40代後半	女性
成年後見・権利擁護	40代前半	男性
障がい者施設の充実	20代前半	女性
高齢者施設のハード面ばかり充実しているが，担い手の育成に全く対応していないと思われるので，早急に取り組んでほしい。	50代後半	女性
地域包括支援センターは介護保険を使うような人でなければわからない。何のためにあるのかもよくわからない人が多いと思う。	50代後半	女性
各種相談に対する的確な対応	60代後半	男性
保護費を受給し，ケイリン，ケイバ，パチンコなどに明けくれている人を私は何人も知っている。保護ヒの使途をある程度チェックできるシステムを作り経費を節減し身体障害などの支援を充実すべきと思います。	80代前半	男性
市立函館病院の医師団において，弱い立場の患者に対する扱いに差異があり過ぎ信頼感が持てない医師が見受けられ誠に残念である。	60代後半	男性

問 33　地域福祉の推進に関しての，意見・要望等

回　　答	年代	性別
住民の減少によって町会の活動が少なくなっているような気がしますが，積極的に参加することもないので情報も回覧板だけです。町会の活動だけではなく，また行政だけでもなく，ボランティア，業者（行政委託など）の必要もありかなと思います。	50代前半	女性
地域福祉の認識や知識に関しては，今回アンケート調査に記入してみて，改めて知らないことや関わりのなさを知ることが出来ました。日々の生活を送る上で自分の身近な人が普通に安心して暮らせていると，不自由に感じている人の気持ちが分からないと思います。実際に生活の壁にぶつからなければ，人はそういったことに気づきにくいのかと感じました。いろんな役に立つ制度も知らなければ宝の持ち腐れになってしまうので，どのように周知していくか，周知する人は誰なのかを明確にしていく必要があると思います。他人任せと思われるでしょうが，そういった主導はやはり行政が中心となって行い，いろんな資源にタスキを回していく必要があるのではないでしょうか。	40代前半	男性
幼児期や小学校時代からの教育が必要と思います。子ども達の親世代または祖父母世代も福祉に関心を持てるように，子どもと孫と一緒に参加できるイベントなどもよいと思います。また，教員の教育の時から，社会福祉に関しての学習を取り入れ，先生になってから子供たちに伝えられるようになることが必要と思います。	50代後半	女性
福祉の街とうたっていますが，実情はまだまだであると感じます。子育て，子供を産める育てられる環境が整備されておらず，その子ども達が大きくなり市外に出ざるを得ない（就職先がない等）状況は，ますます増えると予想されます。安心して子どもを育てられる環境づくりを望みます。	30代前半	女性
高齢者の単独世帯や老老介護をしている家庭への訪問や面会の機会を増やし，ストレス軽減やネグレクト防止を強化する必要があるのではと思います。	20代後半	男性
PTAの役員をしていますが，学校のPTA活動にも協力してもらえない現状で地域福祉について協力してもらえたりというのは，なかなかむずかしいような気がします。ただ，上湯川町会は回覧板である程度の情報が得られていますし，学校に対する協力もあり，地域のまとまりはあるような気がします。若い人に協力してもらうのはかなりの努力が必要だと思いますが，沢山の情報を発信して理解と協力してもらえるよう頑張ってください。	40代前半	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
正直，計画は「絵に描いたもち」という印象。強制的に，又は誘導して「地域で支え合いましょう」と言っても，時代背景を考えるとナンセンス。もっと国や行政は「日本型福祉」の過去にとらわれずに，あるべき姿を実現可能な具体策をもって示してほしい。まず，国民ひとりひとりの意識を変えられる努力をすべき。少なくとも自分の意識に変化が起こるとは思えないのが現状。	30代後半	男性
少子高齢化社会が進んでいき，児童，障がい，高齢者という福祉に関しての施策は行政だけでは対応できない面があると思います。経済・社会の情勢が悪いこと，またそれらに関しての興味・関心がなくなってしまったこと（特に若年世代）は問題視しないといけないと思います。ネットなどで，人との交流が少ない時だからこそ，人と面と向かった対話が信頼につながり，それが地域福祉の成長となるのではと思うので，そういった機会ができる，与えられるような方策が重要だと思います。	30代前半	男性
地域住民同志のささえあいや自助努力ももちろん大切だと思いますが，行政機関も責任がある以上，地域にすべて押しつけることがあっては絶対ならないと思います。国は最近，介護など家や家族に押しつけようとする傾向がありますが，家族の在り方がかわり少子高齢化や晩婚化，結婚率がさがってきている現在，それに合った地域福祉の推進が必要だと思います。	40代前半	女性
高齢者に対する支援は少しずつ改善されてきたと感じますが，それ以外の世代に対する支援がもっと充実されることを願います。若者や子どもが住み続けたいと思える函館市でなければ，これから増える高齢者を支える人がいなくなり，いくら施策を考えても良い結果が出せるとは思えません。よろしくお願いします。	30代後半	女性
コミュニティの活動活性化とネットワーク構築。 基礎年金のみ月 6 万で借家の方への住宅費支援。 身体状況安定しても生きがいを探せない人は多いです。	50代前半	女性
わからない	40代後半	無回答
古くから住んでいる人々と新しく移り住む人々の意識に差がある。古い人々は頑なな部分があり溶け込むのが難しい。良い町にしたいのは，皆一緒なので，ちょっと近付けるだけで，ちょっと背中を押すだけで動き始めると思います。	60代前半	男性

（問 33）

回　　答	年代	性別
介護保険が導入されるまでは互助が大きな役割を占めていたが，導入後はその互助が少なくなり共助が大きくなっていると思われる。近隣とのお互い様，日常生活を通しての何気ない見守りが減少している。認知症高齢者が増えていくなかで南三陸町ではオレンジリングを持った人が沢山おり，避難所でも不穏者はいなかったとか。（高校生が高齢者を避難させた。） 自分のライフスタイルでの生活を継承する為に，地域福祉が重要であり，それを構築する為にも今後，点ではなく面で取り組む必要があり，地元住民が主体になり行政と一緒にやることで，やる気の矛先が出てくると思われる。教育の中でも取り上げ若いエネルギーをマチに活用していけたらと思う。	50代後半	女性
問 32№18 北海道立の支援学校のみで函館市としての主体性は全く見えてこない。進学さらに就職等についても，とても意欲的な施策とは言えない状態だと思う。 障がい者にとって行き場がなく地方にしか受け入れ施設がなく，泣く泣く地方で暮らさなければならない現実を改善する考えはあるのか？	60代前半	男性
高齢者の福祉に関しては在宅福祉は充実している。反面，増えすぎに感じる。特養待機者は 200 床分増床になるようだが，いぜん待機者が多く，市民のニーズとしては在宅より施設という考えが多いのではないのかと感じる。	30代後半	男性
・道路がベビーカーが通りにくい（斜めになっている）ので整備してほしい。 ・午前中に3本，午後から3本でいいいので，市内をまわるバス（無料）を運行してほしい。 ・草ぼうぼうになっている公園を見かけます。残念なので整備してほしい。 ・高松ふれあい広場のトイレの水洗化を望みます。	50代前半	女性
よく耳にする話として，函館における生活保護世帯の割合，給食費や保育費の未納等があります。社会的弱者の方々とはいえ，応益負担分はしっかりと納めてもらわなければ，不公平感が広まるでしょう。実際のところは分かりませんが，税金を含めた公的負担分の回収が困難な場合は，最終的には行政による強制徴収やしかるべき理由がある場合には行政による負担を希望します。法的問題，道徳的問題もありますが，回収不能債権があれば，事業等の運営等に多大な影響を及ぼし，積極的福祉活動は行われなくなる危険性を感じております。	40代後半	男性

（問 33）

回　　答	年代	性別
生活保護受給者の見直し	30代前半	男性
日吉町1丁目に住んでいますが，公園が近くにありません。偏りがあるので地域差をなくしてほしい。子育てサロンの活用がもっとできるような環境整備。　高齢者にやさしい環境が必要。年金支給年齢があがり，定年後，再雇用で働く方が増え，若い世代の働く場を奪っている。この悪循環を解決しなければいけない。子ども手当のような一時金ではなく，働く場を提供してください。結婚，子育てと繋げてほしい。また，生活保護受給者の徹底した精査を求めます。函館市から住みやすい地域の例として全国に発信してもらいたい。	30代後半	男性
少子化・高齢化による社会保障費の増大という問題は理解できますが，ボランティアや自助・互助努力に頼りすぎるのは問題だと思います。公的な制度やサービスを基本とする考えは継続してほしい。	30代後半	男性
障がいのある方への正しい理解が低いように思うことがあるので，地域全体の正しい理解と支援を充実していけばよいと思う。	30代前半	男性
地域住民が積極的に取り組むことができるように，行政の広報や協力，取組みが大切だと思います。	30代前半	女性
社会環境の変化に伴い各家族がこれからの社会に向けての男女という性別などに社会・家族等，お互いに支え合う必要性を伝え，男性だけではなく女性も働き，子育ても出来る制度を願います。	50代前半	女性
・第6期（H27～）の介護保険制度改正への対応と，地域福祉の施策がリンクできたらよいと思います。 ・若年労働者いなくなります　→　施設・在宅サービスの人材不足必至 ・軽度者の生活支援の担い手をどう確保するか ・健康作り・自立支援をさらに啓発し，場を増やす　→　統合後の学校活用 ・民間企業も地域福祉の担い手にどんどんなっていただく	40代後半	女性
地域社会全体が活性化するような取組みが行われることを期待しております。	30代後半	男性
多世代が関わりが持てる様，近郊にある教育大学生や小学生，中学生に協力を促す機会を増やした方がよいと思います。夏場なら祭り，冬場なら雪かき手伝いや雪像づくり等，一緒に行う物があると活発化できるのではないかと思います。	30代後半	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
市内だけを見ても地域格差，住民の年齢層には差が大きくなると思うので，しっかり行政が中心となり進めていってほしい。	30代前半	男性
介護保険制度について，この先「要支援」の人は今後どうなるか不安に思ってる人が多数いるので，函館市でも方針等が決まったら市民に早く不安なく過ごせるよう情報等をお願いしたい。	30代後半	男性
・高齢者支援も大切ですが，次世代をになう子どもへの福祉や地域を支える教育が全く欠けている気がします。やっているのであっても　その動きは全く感じられません。 ・高齢者や障がい者は福祉のみではなく医療との連携も必須です。市の動きを見る限りでは，福祉関係者には医療連携を要請するが，医療関係者（医師会等）へは弱い気がします。両者の関係を強固にするためにも，今以上に市が医療関係機関へ福祉との歩み寄りができる様積極的に音頭を取ってやってもらいたいものです。	40代前半	男性
独居高齢者や何らかの理由で他者との関係が薄い方が，情報を得られる様，わかりやすい情報提供方法を（目につきやすいデザインや興味を持ちやすい言葉）示していくことが必要だと思います。	40代前半	女性
もっと多くのポスターやネット情報を配信するべき。イベントや事業をする。	30代前半	男性
私も協力できるようにがんばります	20代前半	男性
地域福祉には住民の方々の参加が不可欠です。しかし，その参加が「できない」社会になっていると思います。それは個々のやる気等の問題ではなく，地域全体の問題だと考えます。地域の孤立や孤独死等…これらは現代社会の「病い」です。この問題に行政，社協，そして住民が「自分の問題」と捉え，向き合い，共働し地域を創造していく必要があると思います。	40代前半	男性
地域福祉の推進にあたっては，まずは１人でも多くの人に理解してもらい，さまざまな情報を市民が得られるような環境を作っていただきたいです。　また，もっと近所に住む方や同じ地域に住む方々とのネットワークづくりにも重点を置いた策があれば，と思いました。	10代	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
地域福祉に関して，私自身多くのことが理解不足だと感じました。近所づきあい等身近なことから意識し，地域福祉について関心，理解を深められる様心がけていきたいと思いました。	30代前半	女性
昔に比べて近所との交流は少なく，名前も分からない人が多い現状なので，もっと交流できるような環境・地域作りをしていく必要があると思います。	30代前半	女性
身近な地域での取組みを地域住民だけでなく，色々な機関の方達と参加できる機会をひとつでも多く行っていけたら，現状よりは地域福祉の理解が深まるのでは。	30代後半	男性
様々な決定事項に関する動きが遅すぎるのが，とても不満です。支援を必要とする方は待っていてくれません。	30代後半	男性
現在仕事をしている関係で，積極的に町会，地域の人々にかかわることは少ないと思います。 今後，自分自身が他の方にお世話になる機会も多くなると思っております。その時どの様な所に相談したら良いか不安があります。 少しでも自分のことが出来る様に今から体や物事への関心をなくしない日々の過ごし方をしてゆきたいと思っております。	70代前半	無回答
生活保護受給者の中でも色々な意味で不正をしている方がいて，時々そんな事を耳にします。”公平”は難しい事かもしれませんが，その点に配慮願います。	50代前半	女性
子どもや学生，若い世代の人に地域福祉に関しての情報提供や参加しやすいボランティア活動の参加など，関心の持てる内容のものがあるといいと思います。子どもの頃からの身近な活動となるとよいのではないでしょうか。	30代前半	女性
若い世代からすると近隣の市や町（北斗市や七飯町）などへの移住を考えてしまう。子どもが出来た時の待遇を考えるとおのずとだ。それらの事も含め町内会，特に中心部ほど高齢化が進み，独居でのさみしさと活気のなさ，地域というものの活気が私の知っている地区ではまったくない。今後，介護予防者の廃止により市は予算をあてなくてはいけない等，高齢者に向けての支援も大きくなると思うが，これからの若い世代に向けて，ここで生活したいという想いをもてるよう，工夫しないと手遅れになると思う。若い世代が動きやすい仕組みを作ってください。	20代後半	男性

（問 33）

回　　答	年代	性別
今回このようなアンケートを初めて経験しましたが，アンケートを生かして，ぜひ，よりよい活動が実施されることを切に願います。 函館市は住みやすいと言われていますが，高齢者が増えているので，高齢者にやさしい住みやすい自治体を望みます。全国から注目され参考となる事業を展開して下さるようお願いいたします。	50代前半	女性
高齢者の孤独死が増えている気がします。地域や近所付き合いの充実，高齢者施設の充実が必要になってくると感じました。	20代前半	女性
現場，現実，現状把握が足りない。 有効な政策であっても（プランがあっても），Do，See に問題ある。	70代前半	男性
学童保育に対しての援助	30代後半	男性
地域福祉の推進と一言で言われても，範囲が広くて具体的にこうすればいいのではないかとの考えを出しにくい。今3歳の子どもを育てているが，子どもが楽しめるイベントを探しても少なく，交流する機会はほとんどない。 市のお金の使い方を根本から見直し（生活保護のあり方など）から考えていった方が良いと思う。私の周囲で，地域福祉のあれこれの話はほとんど聞かないのが現状です。	30代後半	女性
函館市民になってまだ4か月ですので，アンケート解答内容は，そちらに参考にならないかと思います。申し訳ありません。	40代後半	女性
「市政はこだて」を私は必ず目を通していますが，市民がどのくらい把握しているのかなと思います。フリーペーパーのようなどの年代にも分かりやすい伝え方の方が良いと思います。	30代前半	女性
福祉に対する理解を深め，地域での活動，隣近所との交流等　一人一人が積極的に行動を起こし，足りない部分を行政に依頼出来る，また，解決して対応してもらえる体制を作って行くことが望ましいと思います。	50代前半	男性
北斗市や七飯町のように子ども達の医療費を無料高校生までにしてほしい。	30代後半	女性
生活保護受給者や低所得者だけを支援しすぎると，甘えが生じ働く意力がなくなり，一生懸命働いている人が高額な道・市民税を支払っている。お金を使って遊び歩いている人を何人も知っているので，しっかり調べてほしいと思います。働いている人がバカみたいです！！	40代後半	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
最近，最低賃金が決まりましたが，生活保護費よりも低い金額だとか。本当に必要な人への生活保護費なら良いのですが，仕事もせずギャンブルに通っている人を見かけます。生活保護受給者への密な面談に力を入れるべきではないでしょうか？	50代後半	女性
生活保護は本当に必要な人に。働ける人は働いて下さい。嘘にだまされないでほしい。	30代前半	女性
※（問 32－10 に対し）本当に必要なのかどうか？の確認をしっかりしてほしい！！	40代後半	女性
生活保護世帯のことをもっとやってほしい。 本当に困っている世帯は仕方ないが，若い世代でそれをもらってギャンブルなどに使っている世帯などもたくさんいるはずなのに，どうしていつも函館市の行政の対応はしっかりできないのか日々疑問に思う。サービスや高齢者の対応の前に，いかに困っている人を助けないといけないのか話し合うべき。もっとしっかりとした函館市の対応がほしい，情けない対応ですね。	30代前半	女性
生活保護受給者についての正しい審査や受給後の受給者の定期的な今の様子の審査がしっかりとなされているでしょうか？様々な理由で受給が本当に必要な方もいらっしゃると思いますが，現状が改善されるような行政の支援が必要だと思います。（働く場所を支援する。就職するための活動。） 行政の連携の充実にも期待します。しっかりとした連携の元に，私たちの大切な税金が本当に支援の必要な方に届くよう，切に願います。	30代前半	女性
なかなか地域福祉について考えることが，あまりなかったので，チラシ，パンフレットで情報をもらえると，日頃から地域福祉の理解を深められるように感じる。	20代前半	女性
もっと具体的な支援をやってほしい。 また，困っても，相談し会話はできるが，具体的な対応などを伝えることができてない。	50代後半	女性
上記の件について，地域住民が主となり，各町会が窓口となり，今，町会では何を第一番にしなければならない事の情報をまとめ，社会福祉法人，函館市，関連機関と情報交換をして，連携・協力体制をとる様にしてはどうでしょか？	60代後半	男性
残念ながら函館市の福祉は年々衰退しています。 不安と失望ではなく，安心と希望を市民ひとりひとりが実感出来る福祉の街づくりが急務です。	40代前半	男性

（問 33）

回　　答	年代	性別
①函視協と行政との福祉サービスについての懇談会を早く行ってほしい。 ②市電とバスのカードを以前と同じ利用証に戻してほしい	50代前半	女性
もっと福祉に力を入れて下さい。会社にも（様々な）障がい者の正しい理解の普及，啓発を。	40代前半	男性
職員の意識改革	40代後半	無回答
保護費を受けながらパチンコに言っている方，見るからに元気そうな方などたくさん見受けますけれど，もう少々精査出来ませんでしょうか。	60代前半	無回答
障がい者が利用できる日中活動の場が少ない。選べる施設の数がない。もっと障がい者のサービスの充実を望む。（事業者が少ないので，選ぶことができない）	20代前半	女性
町会事務所（町に１か所）を，今の時代にあった活用にできたらと思う。行事やイベント等だけでなく，足を運ぼうと出来ない人，地域に取り残されている人，子育て育児に悩みひとりで抱え込んでいる人，誰にも相談できず孤独な人，助けを求めたくとも求めれない人，地域で何ができるか？どうできるか？考えていくことが大切と思う。いろんな人とのつながり，ありそうでないのが社会問題なのかと思います。その様な人の声が聞こえて初めて福祉（地域）が充実する物と考えます。	40代前半	女性
北斗市は，高齢者福祉や子育て支援に関してはとても充実しているとよく聞きます。知人も実際に引っ越ししているので，函館ももっと充実してほしいです。	30代前半	男性
社会福祉協議会がリーダーシップを取って，行政との調整をとりながら，地域福祉の組織化をすすめていただけると，とても良いのではないかと思います。地域住民の意見とまとめ，実現できる技術を持っているのは，やはり社協のみなさんではないでしょうか。	50代後半	男性
年配の人ばかりでなく，若者にも色々参加しやすくするとよいのでは…	40代前半	女性
アンケート項目に，ひきこもり，DV，虐待等近年社会問題となっております課題への対応について何一つ書かれていないことに疑問を持ちました。 函館西部地区中心に空き家の再利用を考えてほしいです。	30代前半	男性
明確なる一歩を	50代後半	男性
障がいを持っているひとだけでは無く，そのような状態の人が家族にいる人達への支援や相談窓口が欲しい。	40代前半	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
私はボランティア活動などを通して，お年寄りや障がいを持った方々と接することが多く，その中で感じたことは，社会的弱者への偏見と誤解が多いことや，そのような方々へのおもいやりのなさや住みやすい地域作りがまだ充分ではないということです。函館市はお年寄りが多く施設や養護学校などはそろっていますが，そのことについての周りの人々の知識がたりないのではないかと思います。そのせいで，心ない言葉を聞いたこともたくさんあります。なので，市全体で地域福祉に関する学習をする場をもっともうけるべきだと思います。	10代	女性
わからない。 函館の年数が少ないのでわかりません。	10代	女性
よくわかりません。	10代	女性
市内の情報とか全く住民に流れてこないから，ぜんぜんわからない。みんな知らないと思う。	10代	女性
とりあえず意味がわかりません。	10代	女性
私も含め沢山の人が地域福祉について知らない人が多いと思います。なので，私達みんなが興味を持てるように，子どもならば学校の先生などが強く呼び掛けていく必要があると思います。	10代	女性
もう少し介護関係を充実させた方が良い， 生活保護受給者・低所得者に対する支援を徹底してほしい。	10代	女性
私の理解不足で，今まで地域福祉という言葉すら聞いたことがないように思います。 もっと以前から福祉に対する理解を深め，地域での活動に積極的に参加するなど協力していく姿勢が必要と思いました。	60代後半	女性
回答に対して「あてはまるものすべてに〇」は疑問。5つ程度にしぼるべきでは。	60代後半	男性
これまで身近に福祉サービスを必要とする人がいなかったので，制度・サービス等あまり分かりませんが，少子高齢化が進むなかで，地域の連携は重要になると思います。	60代前半	女性
高齢者の数が多いので充実するのはわかるのですが，少ない子どもたちこそ手厚い支援が必要と考えます。 各町会の方々も高齢化し大変なのはわかりますが，そのために今まであった子どもたちへの活動が減り残念です。ですので子どもたち，その親たちの社会性が失われてきていると感じます。これからもいろいろな方面からの施策，よろしくお願いいたします。	40代前半	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
少子高齢化によって，高齢者が地域において介護が必要となったりすることが増えていると思うし，その他にも地域福祉で必要とされているサービスや支援はたくさんあると思うので，私も函館の地域福祉の取組みを知って理解していきたいと思いました。	10代	女性
行政の動きを待つだけではなく，自分たちで行動に移していくことが重要だと思う。そして，行政と地域住民が互いに協力し合って，活動，支援を行っていけるような社会になれば良いのではないかと考える。	10代	女性
一般に福祉といっても住民の人は，はっきりしたイメージがつかないと思う。子どもの頃から高齢者や障がい者と関われるような情報や教育を，地域の中で福祉従事者と行政が連携して行っていく必要があると思う。	10代	女性
福祉に関する情報を得られる機会があまりない。	20代前半	女性
道路のバリアフリーをもっと進めてほしい。	20代前半	女性
施設や道路などのバリアフリーをもっと進めてもらいたいです。障害のある人にとっては，今のままの状況では暮らしにくいのではないかと思います。 また，学校教育の中での地域福祉に関する学習も，もっと積極的に進めてほしいです。	10代	女性
上記5番のようなネットワークづくりをしていくためには，近隣住民が同じ情報を共有することが必要になってくると思うので，現状を伝えるにしても何か計画や催しについて伝えるにしても，「市政はこだて」のような定期的に発行され，誰もが興味を持てるような工夫がなされた情報誌やチラシを配付することは，良いことだと思います。	10代	女性
近所に住んでいる人とあいさつもあまりしていません。あいさつがしにくくなったというよりも，外に人がいないと感じます。外で子どもが遊ぶ姿をほどんど見なくなったのは，悪質な事件の発生で地域に安全がないと感じているからだと思います。地域をより安全に，見守りネットワークをつくるには，その根底に安全があり，安全な地域づくりをしていく必要があるのだと思います。	20代前半	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
現在，介護職の人材不足が叫ばれている中で，特養等を増やしているのかが不思議です。当然，入所ニーズがあることはわかるが，その方を担う人材が不足している中，計画を実行しても人員が不足しているなかでのケアになるのではないでしょうか。市はどこまで人員について把握しているのか，現状を理解しているのか？このままではケアの質が低下して虐待につながるのでは。もっと関係職と連携を図るべきと考えます。	40代前半	男性
・生保者が多すぎる。実際働ける身体状況にありながら手続次第で受けやすい環境にある。 ・高齢者が多いが，冬道の除雪に片寄りがあり不満	40代前半	男性
市長，福祉課の職員がもっと外に出て実態を把握すべきだと思う。特に高齢者施設については，建物ばかり増えても実際働く人材が不足している。専門的知識を得て資格を取得しようとしても，経済的理由で学校に通えない若者も大勢いるので，支援して育てるべきだと思います。	50代後半	女性
財政が厳しい中で将来不安が増えているので，充実した福祉は必要であるが，その負担を誰がするのかという不安が一方であるため，何とも言えない。家庭崩壊，高齢社会，介護者不足など行政の力で強力な制度をつくる必要があるかもしれない。	50代前半	男性
分からないことがたくさんあるので，知っていきたいです	10代	女性
若い人が興味を持てる様な広告みたいのがあればいいのではと思う。	10代	女性
学童の代金が高い。入ることを定員数で断られる事があった。保育料が高い。北斗市のように医療費を子供は無料にしてほしい。 お年寄りと子どもが関わる事のできる場所を作り，子供のあそべる場所が少なくなっている。 公園ですらボールであそぶことができません。	30代前半	女性
町会は，高齢者の行事やたまり場提供ばかりで，子どものための行事・イベントは全くといっていいほど計画されない。幼い子どものいる世帯は，子ども会でのイベント（家ではできない多勢の子ども同士のかかわり）を期待しているので，町会費を高齢の方のためばかり使うのは，どうかと思う。場所提供も大事だが，次世代に目を向けてはどうか。家の前の街灯に何千円も払っているのではありません。	30代後半	女性
特になし	40代後半	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
生活保護受給者に対し，審査があまく，本当に必要とする人が受けられなかったりすると，色々と問題があるので，事前審査・定期調査を強化すべきだと思います。これ以上，不正受給者が増えると財政が圧迫し，赤字が増えると思います。 港まつりのような大きいイベントを企画し，収入を確保，更に市民をはじめ旅行者等をまき込めれば，地域活性等につながると思います。	20代前半	男性
地域の関わりが少なくなっているのはあきらかであると思います。それにともない情報を得るという事もいま現在なくなっていると思うので，それぞれに，さまざまな情報が届いていないと思います。	20代前半	女性
健康で能力の高い高齢者が有給でやとうことが（正規雇用）できたら福祉事業は発展する。 社協という団体も，経験豊かな高齢者が運営すれば良い（現実を知って考えていける）	50代前半	女性
私のような行政サービスをあまり利用しない人には，あまり情報が入ってこないと思います。サービスを受ける・受けないに関わらず，地域福祉の推進について理解することで，「私も何かできることはないか？」等の参加の意欲がわいてくると思います。個人的な意見ではありますが，「何で障がい者や老人ばかり色々なサービスがあって，私達には無いのか？」という不満を持っている人が多いから，なかなかそのような活動に参加したくないのだと思います。	20代前半	男性
問 33 の推進について，施策の内容が具体的に解る資料を作り，関係団体の役員のみならず，市民全般に情報を提供されたら良いと思います。	70代後半	男性
地域においてのボランティア等団体活動には若者も進んで参加する様に望ましい。	80代前半	女性
それぞれの関係機関の協力を得ながらそれなりに努力をされていると思いますが，まだまだ地域の無関心層が多く，どんなに私ども関心層が努力をしても実現出来ないものが多く挫折するものが多く実現に至りません。結局は行政の力に頼るしかないのが現実です。それと忙しすぎます。行政側も組織つくって魂入れずの感があります。 ◎地域包括支援センターなどはそのさいたる感があります。	80代前半	男性
函館市における地域福祉運営事業は他都市より大分進んでいると思うので感謝しています。	85歳以上	男性

（問 33）

回　　答	年代	性別
・地域的な職業柄年間通しての研修会・講演会・サークル活動等実施出来ない状況に有る事（茶話会含む）。 ・ボランティア活動に理解を持ってほしい事。	80代前半	女性
・市長が地域に来て福祉関係のことについて話し合い出来ればと思います。 ・テレビや印刷物では市長の顔は見たことあるが，生顔は見たことはありません。 ・今までにない市長の意気ごみはすごい。この函館の立て直しがすごい意気込みが感じられます。赤字財政を早く立て直して欲しい。頑張って・・・	80代前半	男性
1人暮らしのお年寄りが，年金で入居できる施設が，もう少し多く出来ることを望みます。	70代前半	女性
たくさんの質問のようなことを，町会や福祉センターで話し合うといいと思います。そこで各人からいろいろの意見が出たら，みんなが何を望んでいるか解るでしょう。問1～10 までを語り合いましょうとか・・。きっと良い意見がたくさん出るでしょう。	70代前半	女性
民生委員への待遇を高めた方が良いと思います。	70代前半	女性
役員等をしてみて，若い方の参加が少なく，共カセギ，子育等でいそがしいのだと思います。40 代 50 代の方々の支援がほしい所ですが，実際に作業をするのは 70 才以上です。役所は町会に只丸投げ状態だと思いますがいかがですか。	70代前半	女性
今後高齢化社会になっていくうえで，気軽に出かけられる施設（スポーツ関係）が西部方面にあれば良いと思っております。	60代前半	女性
行政は町会に活動の要請が多すぎると思う。責任のあることはむずかしい。町，役員も高齢者が多く大変です。	70代後半	男性
長いことお手伝いさせて貰いましたが80才も近くなりましたのでもっと若い人に活動していただきたく思い居ります。	70代後半	女性
地域福祉は範囲が広く，誰もがそれを実感するのは難しい。目的毎に層別化して取り組む必要があると思う。	70代前半	男性

（問 33）

回　　答	年代	性別
今の時代個人情報だからということで，その人の事を知る事が難しくなっています。その反面何かがあった時に何もわからず困ります。ほんの一握りの人間が悪い事に利用した為に出来た法律と思いますが，その為に大部分の人が本当に不便を感じています。その上，全然関係のない所からダイレクトメール等が次々と来ると，本当に個人情報は守られているのだろうか？（どこで住所を知ったのだろう）と疑いたくなります。	60代後半	女性
地域での高齢者の単身世帯，夫婦世帯が増加していく中で，見守りや支え合いが不可欠になってきております。行政サービス等を利用しながら安心して生活できる環境を整えていただけたらと願っております。	60代前半	女性
多くの人の協力があってこそ出来る地域活動だと思いますが，各々の生活で忙しい20，40，50代の若い人達が，少しでも地域活動に目を向けたり，気にとどめたりしてくれたらいいなと思います。	60代後半	女性
問い28にある「地域福祉についての意見交換の場」は，どのような経緯で万代町で始まったのですか？今後他地域でも広げていくお考えもあるのでしょうか。大事な場ではあると思いますので，広がりが見られることを願います。	50代前半	女性
高齢者施設の施設料が高すぎると思います。	70代前半	男性
年金受給者の少ない人への配慮，例えば介護保険料等の引き下げ等を考慮してほしい。国民保険料	60代後半	女性
内容のわからない点もありましたが，今後ともよろしくお願いします。	70代後半	女性
社会福祉は10年前にくらべるとたいへん前進したと思います。どの項目も必要なものであり，もっともっと充実をと願う気持ちは有りますが，身近なところ（個人，近所，地域）の意識改革も必要な気がします。国が市が社協が何でもやってくれる的発想はふくらみつつ有るような気がします。	60代後半	女性
アンケートの集約だけで終わらず，何をどう改善し，新しい構想として生まれたものは何らかの方法で市民に知らせてほしい。	70代前半	男性
福祉計画は予算面での裏付け必要であり，決して絵空事に終わるのではなく，やるべきことはしっかりやって下さい。	70代後半	男性

（問 33）

回　　答	年代	性別
上記「問32」で，不足あるいは充足していない事項の実行と充実。原発の対策に 2000 万以上も予算を計上し，「代筆代読」などの障害者や高齢者に対する福祉サービスに係る実施助成交付申計（年間 100 万以下）補助金を廃止するという函館市の考え方に疑問を感じます。	60代前半	男性
民生委員として社会福祉・地域福祉に接する事になり，日が浅いのですが，地域福祉に関して，町会としてもっと住人と多く係わり合うための努力が必要ではないかと思います。今までも努力をしてきた人たちがいるにですが，役員の高齢化により，携わる人の不足，関心のなさが今後心配です。地域福祉の必要性をもっとアピールして仲間を増やさないと発展しないと思っています。	50代前半	女性
一歩一歩前進して行くこと。	70代後半	男性
・まだ自立して健康な時期は，趣味やスポーツのサークルクラブに参加して仲間づくりや体力づくりして楽しめる福祉へ ・病気やケガは突然やって来て，障がいのある人になるが，自立をめざして生きがいを感じながら回復できる介護サービス福祉へ	70代前半	男性
意見や要望等を書きたいのですが，私自身知らない事が多すぎて，この年になって勉強しなければと思っております。高齢者の方々は健康に過ごせるようまた若い方々にはたくさん子どもを産み育ててほしいと願います。	60代後半	女性
1.情報提供によるサービスについて，各種団体・機関からのパンフ・ビラ等が多く，情報の取捨選択にとまどう「総花的で薄っぺら」な感じを受ける。 2.何を行い何に参加するかは教育に有り，「鉄は熱いうちに打て」，小学校でのゴミ拾い，学校周辺の美化等実際の行動で身に付ける。	80代前半	男性
・すべて，実施する行事，その他種々あるが，マンネリ化して新鮮味がない。 ・社協だよりにしてもあまり見る人がいない。 ・金のむだ使いしないよう願う（例ーチラシの印刷枚数，消耗品の節減，その他多くあり） ・無ダ，無理なことは除くことを常に頭において金のむだ使いをしないように，我々の税金を無だにしないでほしい。	70代後半	男性

（問 33）

回　　答	年代	性別
道路に関しては，車道の方はいつも工事しているようだが，歩道の段差はなぜ直さないのか（車道と歩道の段差である）。1cmも上げる必要はないのでは，ないか。電動車いすの人が動けなくなっているのを見たこともあるし，高齢者がつまずくし。区切りが必要なのか，そのままアスファルトの続きのままでよいと思うのですが。線引きが必要ならペイントするだけで良いのではないか・・・！！少しの段差もなくなることを望みます・	50代後半	女性
地域福祉の推進は地域全体では力を入れて進めておりますが，高齢化しております。若い人達が進んで地域福祉の担い手となるような対策を行政の力で考えてほしいと思います。	70代前半	女性
・生活保護受給者の見直しをして欲しいです。 ・自給最低賃金で働いている人より生活保護者の方が上なので働く意欲を失うので見直して欲しい。	60代後半	女性
地域住民が支え合って生活するには資格を持っている人がその分野で仕事をして頂き，いわゆる御近所さんはプライバシーの事もあり，安否確認等軽度の事しか出来ないと思います。民生委員でない人が，家の中の中まで入り御世話(?)する事は，逆に争いの元になるように思います。	70代前半	女性
生活保護受給者に対して，函館市は他の市よりも甘すぎるので，他の市からくる人が多いし，若い人で生活保護を受給しながら夜アルバイトをしている人がいると聞く。生活保護を受給している人は何時間かボランティアをして頂きたいと思う。受給している人はボランティアをする事でいきがいづくりになると思います。	60代前半	無回答
高齢者も外に出て講演や指導等で外出致したくも交通費が仲々大変なので，だんだん外出しなくなって来る。1往復すると大体 500 円は必要又バス等に乗り換えたりすると気になる。	85歳以上	女性
医療・介護予防・介護・生活支援・住環境サービス。5つを一体的に。	80代前半	男性
プライバシーと個人情報入手の関係が？（お世話しようにも・・・）	60代後半	男性
※NPO 団体等の内容を詳しく解りやすい様に何らかの説明して欲しい。 ※総合病院の増設。今現在診察時間が掛かり過ぎ。	70代前半	女性
1～19まではもっともだと思います。生活保護受給者より一般の高齢者が低い　生活している人をどう支援するか。	80代前半	男性

（問 33）

回　　答	年代	性別
情報提供は早めに検討できる時間を保証するようにしてもらいたい。	60代後半	男性
問31は愚問だと思う。絶対的に進んでいると思われるＡ市の水準に比べてというのなら分かるが，函館市の保健福祉政策を過去20～30年しっかりと見てきて今はどうかというがしっかりといえる人間でないと応えられないのではないか。自分自身の水準から言うとわからないというのが正直なところです。	60代前半	男性
最近，個人情報の問題がありますがそれだけ地域の人が活動している結果だと思います。	70代前半	男性
地域福祉課及び社会福祉協議課，特に市の管轄課にある地域福祉課は直接町会の役員の人達と1年に1回は話合いを持ち，生の声を聞く必要があり，それぞれの問題点を充分把握して地域福祉の推進に努めてほしい。特に予算が絡むので行政の方が民間の支援より大事な役割を果たすのではないかと思う。	70代前半	男性
福祉のやる方不足のため希望します	60代前半	無回答
福祉の不足のため協力者を希望したい	70代後半	無回答
在宅福祉委員の増員を望みたい。	70代後半	無回答
福祉部人材不足	60代後半	女性
一人暮らしの80歳の男性がケアハウスに入所決定した。それで包括支援センターの紹介で行政司法書士が来て，銀行のキャッシュカード作ってくださいと言う。本人が心配で〒と銀行に行って聞くと「すぐ作る必要ない」と言われて，断った。人間関係も全くない中，初対面の人に対して失礼な話だ。80歳でも頭がしっかりして何よりです。	60代後半	女性
若い人が活動しやすいような組織づくりを考えてほしい。	80代前半	男性
町会行事　サークル集会などの折には積極的に市の福祉策を発表，討論して町民の積極的意思を向上させていかなければと思いました。	80代前半	女性
今回の意識調査の項目の細かい部分でより一層考えなければならないことが出て来ました。日常生活を営む特に高齢者にとってお互いに連携協力し共に支え合う必要が大切と思います。よろしくお願い致します。	80代前半	男性

（問 33）

回　　答	年代	性別
若い人々が町会に参加協力していただきたい。	70代後半	男性
全市民が思いやりの精神と他人に対しての優しさを持ち合わせる心を持つことが必要と思います。共生とはそのようなことと思います。	70代前半	男性
高齢者の方々が住み慣れた所で安心して生活できるような福祉の充実した住み良い街になってほしいです。	70代後半	女性
全て	70代前半	男性
地域福祉という事をよく知らない。	70代後半	男性
冬期間の雪かきは町会だけの取り組みが困難なので，公的援助をもっと多く受けられるようにしてほしい。	60代後半	女性
・各町会に市の出先窓口的な施設（集会場的なもの）を設け市職員を1～2名配置してもらいたい。 ・市職員が町民への種々の広報活動を行ったらどうか。	60代前半	男性
地域福祉の事業運営は安心，安全で共に支えあい，希望の持てるまち作りは大変だと存じます。新計画は，該当者には満足の得たもので，現況を基に実態を把握し実施しなければと思う。立派な案であっても実行できなければ，「絵に描いた餅」で安心出来ない。アンケート調査が事業計画に良い方向に反映出来ることを望んでおります。　御苦労様，頑張って下さい。	85歳以上	男性
高齢者が多くなる一方なので，少しでも若い人が強力的に参加してくれることを望みたいと思っております。	60代後半	女性
道路や電停，バスの乗り場などの段差をバリアフリーにすることで，高齢者にとっても日常生活が無理なく楽になると思います。	85歳以上	女性
地域福祉の一端がボランティア活動によって支えられている現状を，もっと社会全体にアピールすることが望まれる。	70代前半	無回答
冬期の期間に除雪の回数を増やしてほしい。なぜならば次の2つの理由からである。1．デイサービス等の車両の通行と利用者の安全な乗降のため。2．救急車両が早く，安全に病人を搬送するため。	60代前半	男性
地域に子供達が少なくなり学校の教室が利用されずに空教室が多く，町民の高齢者に開放したらどうでしょうか。	70代前半	男性

（問 33）

回　　答	年代	性別
昔のように地域の人々に心配りをする人が少なくなっている事が現実です。これはプライバシーの壁が大きな原因のひとつと思います(保護法)。「おせっかい」も大事なこと。人との輪と和を大切に気を配りたいです。自分が心を開いたら人々も心を開いてくれると信じています。社協　部課長会議が実態把握をした高齢者の情報を包括支援センターを通してでも町会在宅福祉委員会へあってもよいのではと思います。	60代後半	女性
1.行政が福祉対策を実施する場合，事前に町会等に対し，意思疎通を図るなどの配慮が足りないため，その実施に対し，無関心となってしまう。 2.地域包括支援センターは多くの職員をかかえているが，何をやっているのか，地域に見えない。特に地域のネットワークづくりにも参加しないなど，人件費をとっても莫大であり，廃止すべきであり，これに代わる福祉にとって目に見える組織替えをすべきである。	70代前半	男性
色々な福祉計画，実践計画等福祉活動を推進していますが，高齢者の一人暮らしの人が認知症や要介護状態になった場合は連絡方法がないと思うので，個人訪問，地域支援が大きな支えになると思います。今の現状では高齢者老人の孤独死は少なくないですから	60代後半	女性
①行政の人達が現場に入ることが大事だと思う。現場第一主義で実行に移してもらいたい。②地域福祉の推進に若い力を導入してもらいたい。若い人に教育の場を市として作っていってほしい。 ③一番こまっている人，一番苦しんでる人を最優先してもらいたい。	60代後半	女性
生活保護受給者にたいしてもう一寸とたいぐうがよすぎるので考えてちょうだい。	60代後半	女性
生活保護受給者の方は年金額より多いのは変な気がします。少ない年金から色々と支払いをしなければならないので大変です。生活保護の方は，その他にも色々特典があり逆に働く意欲をなくすのではないでしょうか。	60代前半	女性
生活保護者に対する生活支援が多すぎると思う。	60代後半	女性
生活保護者に対してもっと厳しくするべきだと思う。	60代後半	女性
問 28 についての意見…特定地域ばかりでなくどこでもやってほしい	70代後半	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
親いての自分，地域福祉を利用して老人(両親)を自宅で生涯送らせる様，推進に務めてほしい。	70代前半	女性
自分が経験体験した事は解りますが，身近にない事は知らない事が多く，年齢と共に知っておかなければと思う事が多々あります。防災の事も弱者には身近な問題です。今後とも安心して暮らせる町であるように配慮よろしくお願い致します。	70代前半	女性
若い世代に発想を募ると共に，リーダー育成に力を入れる事を望みます。	70代後半	女性
当地域も高齢者化が進み，特に高齢者の単身世帯が増えています。民生委員のもとで在宅福祉活動に従事していますが，個人情報保護法を楯に福祉委員へは，適切な情報が知らされず，表面的な安否確認になりがちです。ある程度の情報開示により対応の仕方を模索し，福祉委員として地域ぐるみの取り組みが出来，住み続けたい地域での生活を援助出来るのではないでしょうか。また，年金支給年齢改正により，60歳代の民生委員，福祉委員，町会役員の引き受け手が皆無です。行政の職員・OBの方が多く居住して居りますが非協力的です。地域福祉を充実させるためにも，地域活動に積極的に参加して下さり，自らの経験を福祉政策へ生かして戴きたいと思うのは無理な願いでしょうか	70代前半	女性
行政がおんどをとって，地域の方向性を構築したらと考えます。体力増進の体操もあればよい。	70代後半	男性
道南二市（函館市，北斗市）での制度等の連携や担当部局のコミュニケーションを計って欲しい	70代前半	男性
地域住民の相互協力が大切だと思います。若い世代に対する協力をどのように求めるか。	40代後半	男性
生活保護費受給者の不正受給は許してはならない。	70代前半	無回答
行政に出す書類が難しいし面倒な手続きが多く高齢者にはわかりやすいことばで説明してほしい。あげくのはてに「それはだめ」「これはだめ」と結局は無にも受けられずでも人によってOKの人もいる。平等にしてほしいです。そうゆう意見が多々相談されます。とくに生活保護（受給者）に関する事です。	70代前半	女性
回りを見ますと高齢の人が多いのでお互い声をかけ合い在宅の茶話会などはとても良いと思います。	60代前半	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
地域包括支援センター，民生委員，町会，自治会などが協力し独居暮しの高齢者等の見守り，相談の充実	60代前半	女性
調査項目が多すぎる。	70代前半	男性
町会に対して。 町会の意義，在り方の認識が薄れている為に町会の脱会者が増えている。また，住民の絶対数，戸数が減少しているので町会としての運営が成り立たなくなっている様に思う近隣の町会と合併するとか？町会連合会で検討すべきである。	60代前半	男性
平成 26 年 4 月より 70 歳～74 歳までの医療費が1割より2割になるのは年金の低い高齢者は負担増になります，生活が困難になります。考え直してほしいです。又現在高齢者等が入居出来る各施設多く建設されていますが，いずれも国民年金やその他安い年金者は入居出来ない料金です。低年金者で入居出来る施設等を増やして欲しいです。	70代前半	男性
アンケートにお答えしたのが全てです	85歳以上	男性
社会福祉に対する若い方の感心が低下して来ているように感じます。どのようにしたら感心度を上げられるかが今後の課題かと思います。1 人でも多くの方がボランティア精神を持ってお手伝いしてくれる事を期待したいと思います。	70代前半	女性
子育て支援に関しては今の時代だからこそ一番大切な重大な問題ではないでしょうか。若者人口数が増えなければこの世の中成り立ってはいきません。今まで子育てに関して現金支給等がありましたが無駄だと…それよりも子供を育て易い支援 医療 保育施設 そして授産に対する取組みも必要ではないでしょうか。産みたくとも経済事情等で産めない等子供を安心して産み育て易い社会にと願っております。低所得者に対する支援は支給額減給出来ないならそれで良し，只し医療などすべて無料ではなく普通に支払うべき，一般の人も年金少なくとも頑張って支払ってます。	70代前半	女性
地域福祉に参加するボランティアの人がだんだん高齢になり活動が活発にできなくなっています。もう少し若い人の参加を希望します。	70代前半	女性
生活保護受給者の中で働ける様な人がいます。2～3時間のパートでもさせたらどうでしょう。	60代後半	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
問32の設問だが1～20まで，全てに力を入れねばならないと思う。“当てはまる”…は全てであり優先順位はつけられない。従って〇は全部でもあり，全部ではないものも考えられる。例えば10. などは真に保護を要する者もいるが，不要と思われる者もあり，他には子育てや教育でも教育する能力？資格？ありなしの親も散見され…やり場のない怒りを憶えることも…。	70代後半	男性
北部地区包括支援センターよろこびでの平成24年に参加してましたが，毎年あると良いなと思いました。又，町会の方ももう少し参加をしていただきたかったです。	60代後半	女性
（生きがい作りについて思うこと）生きがい作りと言うことばがよく出て来るが，人は生きがいがあるから生きているのではないでしょうか。生きがいを感じなければ死すべきだ。個々人の生きがいは与えるものでなく自分で見出して行くものだとおもいますが，いかに福祉政策が進んでも人の生きがいを作って与えることはできないと思う。生きがい作りという言葉は自分にはあまり理解できません。少々乱暴な言い方でしょうか。（私は80才の老人です。生きがい満々，毎日幸せな日々です。）	80代前半	男性
問32の〇は希望で，切望事項ではありません。近年暮らしの傾向として，燃料の高騰は止まるを知らず可処分所得目減りの時代，年金収入減額でそれが捻出できない高齢者の一員としては，高福祉高負担を念頭にした全国レベルの福祉施策の継続には，地域住民の負担が膨らむのでは？と危惧の念を持つ者です。福祉に格差が生じる等，一般市民の年収に逆行する市民負担の増額は理解できません。受益者負担はあって当然ですが手厚い福祉に重点を置きすぎ，その枠拡大や充実に関しては，行政の福祉施策が先行している現状がある以上，支出面の費用は公費を注入・充当する施策（住民に痛みを転嫁しない，市民の負担率を低くおさえる。）で推進できる計画の樹立を要望します。	70代前半	男性
地域福祉の推進は，行政に頼るばかりでなく，家庭では子供が小さい頃から助け合う精神が大事だと教えなければと思います。又，学校教育の中でも学習を通して，人間はお互いに助け合う事の必要性を教え，その事が年老いてからも地域の人達にとっても暮らしやすい地域になると思います。勿論，行政としても色々な形で地域福祉の発展を考え，住民が住み良い環境になったらと思います。	70代前半	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
私は民生委員をやっていますがプライバシーの事を言われる事が多い，だから行政の人と行く方が話を聞いてくれる。	60代後半	男性
少子，高齢化が進む中，保健センターや各団体は広報は拡充し市政「はこだて」ばかりでなく，もっと増やすことが必要ではないだろうか。また，小中学校でも福祉について教育をすること。今後，老人介護も要支援がなくなり，地方にまかされるとのことらしいが，保険料が上る恐れやサービスも落ちていくのではないか。市にも予算がないことはよくわかるが，市でもアンケート調査を採るのはよろしいが，それをよく練り広報すべきである。なお，介護職員の待遇が悪るすぎる。この件も道や国とに申し上げるべきである。介護会社にまかせきりはよくない。	60代後半	男性
福祉サービスに関する情報がバラバラに（各関係機関）発信されているので，周知されていないと感じる。市，社協，各団体が一括し，情報提供する事が望ましいと感じる。町会等が地域住民への情報の橋渡し役となることが理想と考える。	70代前半	女性
地域福祉の向上推進の目的は非常に同感で共鳴するものではありますが，同一人が多数のボランティア活動を行っている現況でこれから将来を見据えた時に本当にこれから次の世代が引き継ぎやって下さるか疑問に感じます。経済情勢も悪く，活動する人達も必死に生活を支えている，一生懸命生きている。もっと役所の担当の方達は市民の実体を知る必要があると思います。民生委員児童委員，在宅福祉委員等々，余りにも専門的な事項が多すぎ我々は一般の市民で協力，努力は致しますがもう少し簡素化が計れないものか？	60代後半	男性
地域包括支援センターの業務内容についての普及・啓発活動が充実すると良い。	60代前半	女性
これからもますます情報社会に変わって行くことと思いますが，昭和の時代のようにお互いが，自分のまわりの，となりの人に関心を向けるようになって行ければいいですね。	60代前半	女性
・人と人との信頼関係がなければ地域福祉の推進は難しい。 ・個人情報保護法の壁があるため，限界を感じる事がある。	60代前半	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
ご苦労，ご尽力をしりつつも…，まず　行政の担当者の「顔」「人」が見える福祉をめざし実践していただきたいと思います。地域の方からは，行政の皆さんの姿や人，心が箱の中にかくれて見えません。不安です。	60代前半	男性
地域の人々といかに密接につながるかが私自身の課題と考えます。	60代後半	女性
今は，地域住民の付き合いも，きうすになっていると思います。緊急時には，家族，隣人等の手助けが必要と思います。日頃より，住民一人一人が声を掛け合い，住民が孤立しない様な地域社会になることを望みます。	60代後半	女性
地域福祉の安全，安心は行なわれているが，市民，町民全員という点では，なかなかむずかしく，支援の輪は大きく広げています。	60代後半	女性
民児委員として，例えば安心ボトルの配付などに携わって来たが，その際　対象者からの疑問などについて，報告に付記した件などに対応がなく，市の取り組み方には「やればいい」「やりっぱなし」の感が多いと思う。（その他（証明書発行時）依頼文書の不添加など，一方通行の感あり。）	70代前半	女性
福祉政策は子どもからお年寄りまでを想定したものでなくてはなりません。そのために最低，小学校区単位毎の地域づくりをすべきだと思います。拠点は小学校の空教室を使わせてもらい，教育・福祉・医療介護などの関係者が集い，地域の各課題について考え合う場を設定すべきと思います。現在は，子育て支援にしても，様々な団体があり，それぞれが活動していますが，一度小学校区地域のまとまりとして，そこに居住する人々の英智を結集し方向性を考えることが大切ではないかと思います。	60代後半	男性
やはり，核になる人材の発見・育成が一番である。地域の人材を発見し，行政は応援する。そこに，やる気ある仲間が集まる。やはり，活動の原点は”人なり”である。やる気のある人は周りに結構いるようだ！	70代前半	男性
高齢者の比率が年々増え，福祉に関する要望も多岐に渡りますが，問 32 にある各項目により発展する様に各種企画・実行が必要と思います。	60代後半	男性

（問 33）

回　　答	年代	性別
民生委員・児童委員，そして在宅福祉委員が，各地域に所在していることを広く，住民に知ってもらいたい。どんな仕事をしているのか，解っていない人々は沢山います。それをわかってもらうためには，保健福祉部，社会福祉協議会の方々に，お忙しいところと思いますが，年に一度でもいいので，地域に出向き，説明の機会をもうけ，理解を深めさせていただく希望します。それによって参加してみたいと思う人も多くなるのではないでしょうか。理解も深まっていくと思います。	70代後半	女性
アンケートについてすばやい分せきをし，それに基づいてきめこまやかな施策をすばやく実行できるようお願いします。	60代後半	男性
各地域の回りや環境に見合った福祉　行政による生活状態やケアマネージャーの対談のしかた（頭は良いと思うが話ができない，あと3歩位ふみこんでほしい）　※話し方教室にでも入学させたくなる，行政はもっと歩もとを良くみてほしい。	60代後半	男性
地域福祉に対する詳細な説明と広報活動。福祉活動に関心を持ってもらうための情報提供。支援する側に対する応援団的役割をする行政機関。地域在宅福祉活動の状況確認と支援体制。地域の環境にあった福祉や子育て支援体制。福祉活動をする側が高齢化しているための対策。行政による高齢者の生活状況の実態調査と支援調査（方法）。	40代後半	男性
見守り・支援を必要とする人には，出来るだけ近い人が，関わる事が良いのでは。（身内，ご近所さん）	60代前半	女性
施設に入っても場所にそして介護の数字によって同じ所に居ることが出来ず　たらい回しみたいな感じで別な施設に移される　自分の希望する施設に入ることができない。	60代後半	男性
今後，ますます少子高齢化が進んでいきます。地域福祉の受け手の人々が増える一方，町内役員，民生委員，在宅福祉委員等各種ボランティアの担い手は，不足が加速していくと予想されます。今以上に地域包括センターや市の社会福祉分野等の公的な組織の拡充，人員の増加が必要と考えます。若い世代の職域を広げる事にもなり，高齢化するボランティアの負担の軽減になると思うのですが。	60代後半	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
高齢者の方々への見守りや地域での日々の活動を通して，中々，個人の力は小さくて，もの足りないものだと感じています。数年後には，高齢者があふれるこの日本で，どんな毎日が待っているのかと考えると，不安を覚えます。このようなアンケート等や地域ケア会議などを，こまめに行う事により個々の小さな声をひろいあげて下さることを心から願っています。	60代後半	女性
各福祉関係の連絡体制の強化と情報の共有化が必要だと考えています。	70代前半	男性
震災のような何か起った時に助け合いネットワークを作るのではなく，日頃から地域で支援体制を整えておく必要があると感じている。もっと地域の住民がそのような訓練に参加できるような方法を作るべきだと思う。町会に加入するのも任意ではどうかな？？義務化にできないものかと思います。冬場の歩道の除雪も，他の人のためにみんなでがんばってほしい！！	50代後半	女性
1人住まいの高齢者がふえていますが家族の方達，息子，嬢さん達にも背おってもらいたいと思います。自分達の親なのだから。高齢者の方も頭や体力がしっかりしているうちに自分の老後をきちんとしていただきたいと，何もわからなくなってから連絡先もわからず福祉ばかりに頼ってたらパンクしてしまいます。私も10年後には70才になります。人事ではないのです。	60代前半	女性
地域で活動する者が疲れております。 ただ，理想は高く持った方が良いかな，とは思います。 上手にバトンタッチできればいいのですが。	50代後半	女性
地域福祉は大切だと思いますが，ある程度以上は関われない問題も多く，包括支援センター等の役割の重要性を感じます。実際私も支援センターに相談するケースが多く，助かっています。 ”地域活動の団体同志での知識や情報の共有”も，多くの人の協力があってこそ出来る活動だと思いますが，個人情報の問題もあり難しい点も多いと感じています。	60代後半	女性
地域福祉は行政が積極的に動いて頂かなければ地域は何も出来ない。いつも かたち作りはしているが実際に行動が中々伴っていないように思う。行政がもっと地域に入り地域の実情を把握してほしい。	60代前半	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
行政・地域が協力して明るく住みやすい町造りに頑張りましょう。	70代前半	男性
生活保護を受けている方，毎日のようにギャンブル（パチンコ）に行っている人が多く見受けられます。（日乃出町地区にはパチンコ店が2店有り）	60代後半	女性
※生活保護世帯の受給をきびしく行政が行う事を希望する。	60代前半	男性
地域住民の方々が「共に支え合う」意志を如何にして強くするかが課題とも思います。	60代後半	女性
地域の団体（町会，民児協，在宅委員会）などが行政の依頼により協力・実施した場合，結果報告がなされない場合が多く見受けられるので，依頼する以上は結果を末端の委員にもきちんと書面にて報告していただきたいと思います。協力しっぱなしは納得出来ません。不満のもとになると思います。	50代後半	女性
私の子供の頃からみると大変充実してきたと思います。昔からみると良くなってきたと思いつつも，人間は際限なくそれ以上のことを高望みをします。行政が税金で何でも解決することは不可能です。これからは，行政として，　1　一人一人がもっと自己責任のもとで「生きること」を啓発する。　2　「向こう三軒両隣」と言われた時代の精神を生かすための地域づくりを積極的に行う。　3　税金の有効活用のためには，「出来ること」と「出来ないこと」を明確に示し，「やらなければならないこと」は市民の反対があっても強力に実行してほしい。　※例　生活保護の審査など	70代前半	男性
身近に，大人から子供，学生と老若男女が気楽に集える場所があればいいと思います。そしてそれを皆が利用する。行政から地域へそういうアドバイス　○　だれもが知っている様にして欲しい。	60代前半	女性
私自身もまだまだわからない事があります。学んで行きたいと思います。	70代前半	女性
各地域や町会によってちがいはあるが，古い体質のままでは前に進めない。（人の話を聞く耳をもたない　→　町会の役員など）　私もまだまだ勉強不足で自信はありません，頑張りたいと思っています。	60代後半	女性
行政の計画が地域におろされた時，どの程度理解されているのか疑問になることがあります。つまり考え方のギャップが大きいということが地域での広がりや浸透を弱くしているのではないでしょうか。	70代前半	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
町会の福祉部で活動し民生委員もやっているので地域福祉に対する関心はとても強くもあるのですが，私自身の勉強不足も痛感している所でもあります。少なくとも市の地域福祉計画，社協の地域福祉実践計画を読んでみる所から始めようかと思いました。 70歳以上の方の市よりの交通費補助，けずられましたが若い方への子育て支援も大事ですが高齢者への福祉予算も充実させてほしいと思っています。	70代前半	女性
アンケートに答えさせていただきました。アンケートは1番大事な事だと思います。 アンケートを参考に自分も勉強になり，これからも地域にかかわりたいと思います。広報誌に地域福祉の推進のせて下さい。	70代前半	女性
高齢者（後期高齢）になって認知症になってはじめて支援センターの役割が，民生委員によって分かって来ている，少しずつ。 支援センターもいろいろの事をやって来ていますが，独居の様な方には中々知れわたっていないので，これからの課題でしょうか。	70代前半	女性
高齢者が多く在宅委員のなり手がなく，対象者を中々見守れない状態です。町会に任せきりでなく包括支援センターや行政で，もっと協力して欲しい。 ※介護の認定を受けなくとも，65歳以上で介護保険料払っているので，サービス（手スリ取付け，バリアフリー等）を受けらせて欲しい。介護の認定が甘すぎる。日常生活に支障が無い人でも認定を受け，デイサービスに通ったりヘルパーが来ている。これでは介護保険うなぎ上りになる。 行政の高齢者健康教室を身近に作り，認定者を増やさない努力が必要と思う。	60代後半	女性
小・中・高等学校において「地域福祉」について活動内容や必要性，自分たちの将来とどう関わりがあるのか等指導すべきと思う。	70代前半	女性
もう少し一般の住民にも，情報がわかる様なシステム作りを 充実させるべきだと思います。 高齢者が 不安な生活を 思う街づくりではなく，安心できる街（函館）であってほしいと願います。	60代前半	女性
上記7番にある高齢者施設の充実を望みますが，低年金だと入居したくても入れない方々が多いと思います。年金内で入居できる高齢者入居施設を早急にお願いしたいと思います。	60代後半	無回答
地域福祉に関しては単位ボランティア団体でなく，諸団体のボランティアの意見交換等が必要と思う。	70代前半	男性

（問 33）

回　　答	年代	性別
民生児童委員，在宅福祉委員として，地域の主に高齢者との関わりで，包括センター，市役所等に相談などいたしますが，即，対応して下さり，よくやって下さっていると感じます。 高齢者，低所得者が多くなっていく中，地域福祉を充実させる事は大変な事と思います。自分も高齢者となりますので，より良くなる事，期待してます。	70代前半	女性
高齢者の集う場所（町内に何か所か）を作れたらと日ごろ思っています。 安否確認，情報交換また交流の場ともなり楽しめるのでは。（趣味の交流等）　デイサービス等の利用を楽しみにしている方々も多く見受けられますが，近所での交流も大切にと思っています。	70代前半	女性
在宅福祉に関して，会館などに1人でこれない人もいるので，皆んなと一緒に何かをするという事はむずかしい。その人達も含め引きこもりをなくするためにはどうしたら良いか，何か良案を望む。	60代後半	女性
もっと入りやすい きっかけをつくって欲しい	50代後半	女性
行政や地域などでいろいろなサービス及び活動をしていても広報で伝えても，見なければ読まなければ結局知らないことになる。受け取る側に必要になって初めてどうなっているか知ろうとする。関心を持つことが一番大事で，今，こんなことをこういう人へやっていますよとか，ここまでできているので今後こういうとこまで目ざすよ等わかりやすくこれでもかというほどあらゆる手段を使ってわからせてほしい。成功している他都市も参考にして，市民であることに安心や喜びを持てるように…	70代前半	女性
町会，自治会との連携を重視。 会館の使用方法への改善 （高齢者等へのコミュニティの場にも）	60代後半	女性
民生・児童委員を9年間活動してますが，高齢者世帯への見守り訪問拒否が年々増加しております。 個人情報保護の曲解から玄関すら開けない世帯です。「高齢者ゾーン（65歳以上）」と，「年をとっている・いない」の認識に個人差もあります。（「まだ若い」の自己認識） 70歳～75歳以上を高齢者ゾーンにしても良い時期ではないでしょうか。	70代前半	男性
たくさん，ありすぎて　少しずつでなくては前に進めない。	70代後半	男性
地域でボランティア活動にたずさわる人達はかぎられた人で活動している気がします。 若い人達にも参加してもらうといいと思います。	50代後半	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
益々の充実を期待し，協力できることがあれば できるだけ参加していきたい。	60代前半	男性
地域に社会福祉協議会の存続を希望致します。地元に無くなるとサービスの低下になると思いますので宜しくお願い申し上げます。	70代前半	女性
高齢者が生活して行く上で困った事や不自由な事等の相談等を受けた時地域包括センター（あさひ）に電話相談すると大変早く親切に対応して下さいます。大変助かると喜んで感謝しています。ありがとうございます。	70代前半	女性
誰もが自分の意思で社会活動に参加するならば素晴らしい社会になるのではと思う。（共に支え合う社会）をめざして行こう。	70代前半	女性
私が函館市の福祉に思うことは高齢者に対する対策は近年比較的充実してきていると思われますが障がい者に対する施策が全くと言って良いほど考えられていないように感じます。電車・バス・JRの乗り降り，道路状況等々・・・障がい者にとってはスムーズに利用できるのはまだまだではないでしょうか・・・施策が充実していないから利用数が少ない利用数が少ないから充実しない・・・???どんな人でも差別無くスムーズに生活できる街になるよう今後に注目していきたいと思う。	40代後半	女性
福祉タクシーとかを使っている人の話を聞くと全く福祉になっていないという事です。まるで人間を物のように扱っているという。今の福祉はどうなっているのか?福祉タクシーを使っても歩けないのに病院の外（門の外）で降ろされて歩けないのに長い道を歩くはめになったという人の話を聞きました。ありえない!!歩けない人なのに・・・福祉の人って何を持って福祉なのですか?自覚してほしい。	50代後半	女性
両親が働いている家庭が多いので子供の学校外の時間の過ごし方が心配。同じく高齢者も1人で家に閉じこもっている過ごし方も心配です。	70代前半	女性
地域福祉の推進については自身勉強していかなくてはとつくづく思いました。余りにも知識不足だったと反省しました。	60代後半	無回答
地域福祉コーディネーターを配置しているとありますがどこにどのような型で行われているのでしょうか？	70代前半	女性

（問 33）

回　　答	年代	性別
活動に関する情報が少ない。町会員有無に関わらず回覧板は回した方が良いのではないのか。なぜならば地域住民全体に（アパート等）活動内容などをお知らせ出来る。	60代後半	男性
地域福祉に関して具体的に考え行動を意識したことがあまりなく生活してきましたが自分の出来ることなどを学び行っていきたいと思います。	50代後半	女性
行政がもう少し地域に参加して見聞をすること。	60代後半	男性
かぎられた予算の中で色々と大変でしょうが，行政と住民が一体となって弱者が安心して暮らせる町函館をめざして頑張って下さる様お願い致します。	80代前半	女性
①町会活動と連携すべきである。②町会の〇〇活動を上手にリードすべきである。	70代前半	男性
最近は，個人主義というか楽しい事には参加するが，それにかかわる運営やボランティアに協力する人が少なくなっていると感じています。 今，自分達が楽しく活動できているのは，なぜか？今後も続けるには どうすれば良いかなど，受け身でなく積極的な人材を育てるのも必要なのではと思います。	50代前半	女性
障がいは色々あるが，当事者でさえ必要な情報の入手が困難。また，当事者以外は，なおさら情報がないので，支援して欲しい（理解してほしい）と思っても，説明が難しく，当事者のみががんばる結果となっている気がする。	30代後半	女性
個人個人が福祉に対して考えることなく対応できるのがベストだと思う	40代前半	女性
①はじまる前に人が集まってきた ②1階の屋台の人が，お客さんかよくわからなかった ③バザー前もって価格をつけたわりには，はじまったらネビキハンバイがかなりおおかった ※回収者 注　問33については，総合福祉センターまつりでのことについて書かれているようです。（社協のアンケートと聞いて勘違いしていたようです。～回答者は難聴者）	60代前半	女性

（問 33）

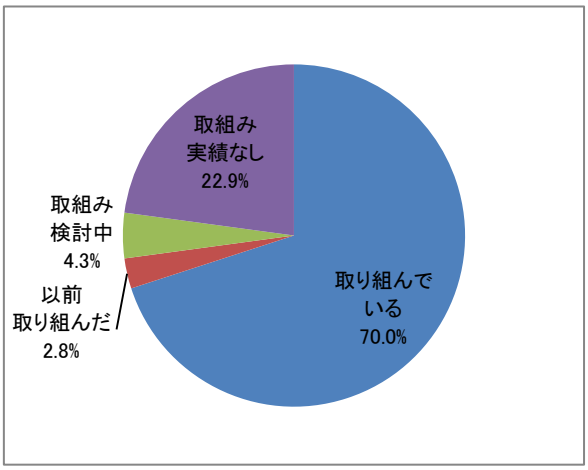
回　　答	年代	性別
・プライベートの時間を使い，地域福祉，障害福祉にかかる団体活動をしている人達は，行政の手の回らない部分をサポートしている面もあると考えます。活動に対する理解の深化と支援を望みます。意気に応じる行政を。 ・個人情報を悪用したトラブル等をさけるため，コミュニティへの積極的なかかわりを持たないようにする人も増えているのかもしれない。函館はまだ良いほうなのかも。（七夕での子ども達へのおかし配り等は良い風習と思う） ・やはり，小さい頃からの教育は大切。 （その他）市民の声をひろいやすくする　このような試みは大切と思います。	30代後半	男性

Ⅲ　企業等向けアンケートの調査結果

１　社会貢献活動への取組み

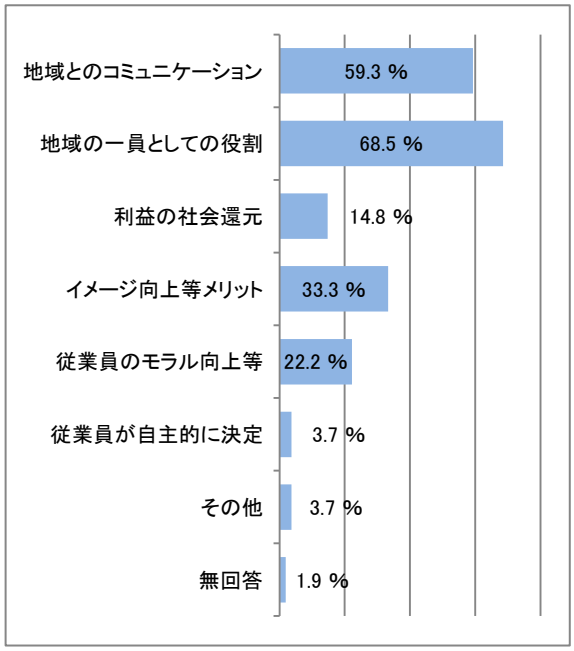
問１　現在，社会貢献活動に取り組んでいるか。

1	取り組んでいる	49	70.0 ％
2	以前取り組んだ	2	2.8 ％
3	取組み検討中	3	4.3 ％
4	取組み実績なし	16	22.9 ％
5	無回答	0	0.0 ％



問２　社会貢献活動に取り組むようになった，あるいは取り組もうとしている理由
【問１で　１，２，３の場合のみ】（複数回答）

1	地域との コミュニケーション	32	59.3 ％
2	地域の一員としての 役割	37	68.5 ％
3	利益の社会還元	8	14.8 ％
4	イメージ向上等 間接的メリット	18	33.3 ％
5	従業員の モラル向上等	12	22.2 ％
6	従業員が 自主的に決定	2	3.7 ％
7	その他	2	3.7 ％
8	無回答	1	2.0 ％



＜その他：２件＞

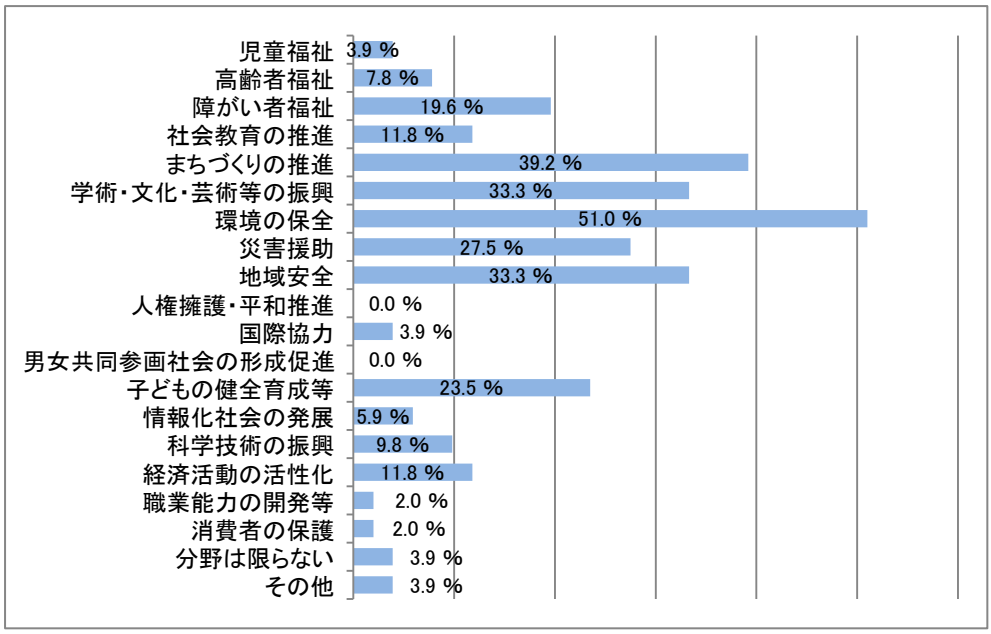
本社指示により実施
監督官庁からの指導

問３(1)　活動対象分野【問１で　１，２の場合のみ】（複数回答）

1	児童福祉	2	3.9 ％
2	高齢者福祉	4	7.8 ％
3	障がい者福祉	10	19.6 ％
4	社会教育の推進	6	11.8 ％
5	まちづくりの推進	20	39.2 ％
6	学術・文化・芸術等の振興	17	33.3 ％
7	環境の保全	26	51.0 ％
8	災害援助	14	27.5 ％
9	地域安全	17	33.3 ％
10	人権擁護・平和推進	0	0.0 ％
11	国際協力	2	3.9 ％
12	男女共同参画社会の形成促進	0	0.0 ％
13	子どもの健全育成等	12	23.5 ％
14	情報化社会の発展	3	5.9 ％
15	科学技術の振興	5	9.8 ％
16	経済活動の活性化	6	11.8 ％
17	職業能力の開発等	1	2.0 ％
18	消費者の保護	1	2.0 ％
19	分野は限らない	2	3.9 ％
20	その他	2	3.9 ％
21	無回答	0	0.0 ％

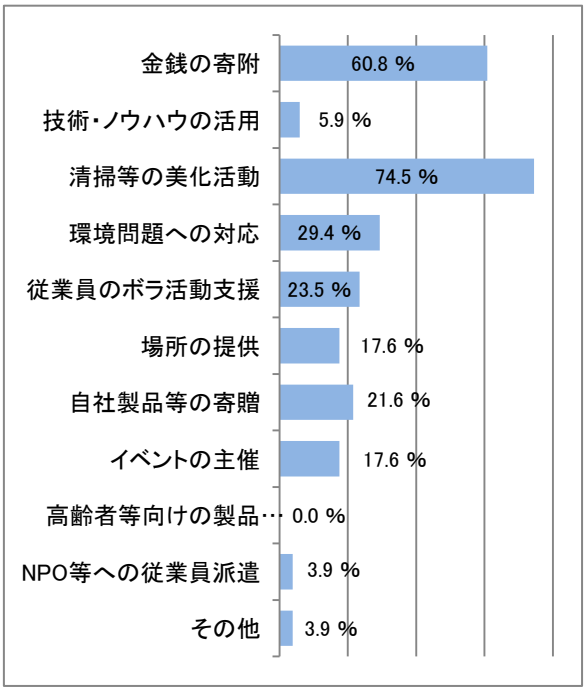
＜その他：２件＞

献血協力
地域の清掃



問３(2)　活動内容【問１で　１，２の場合のみ】（複数回答）

1	金銭の寄附	31	60.8 ％
2	技術・ノウハウの活用	3	5.9 ％
3	清掃等の美化活動	38	74.5 ％
4	環境問題への対応	15	29.4 ％
5	従業員のボランティア活動の支援	12	23.5 ％
6	場所の提供	9	17.6 ％
7	自社製品等の寄贈	11	21.6 ％
8	イベントの主催	9	17.6 ％
9	高齢者等向けの不採算製品開発等	0	0.0 ％
10	NPO 等への従業員派遣	2	3.9 ％
11	その他	2	3.9 ％
12	無回答	0	0.0 ％

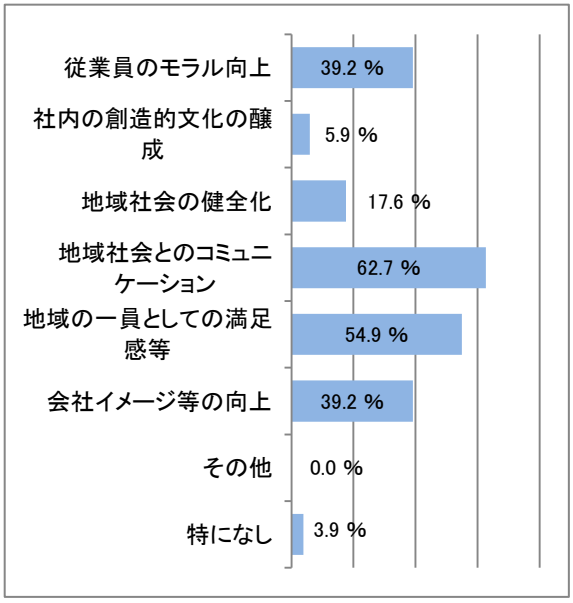


＜その他：２件＞

進水式の一般見学者受入
職業体験等の受け入れ　　文化・スポーツの振興に関する取組み

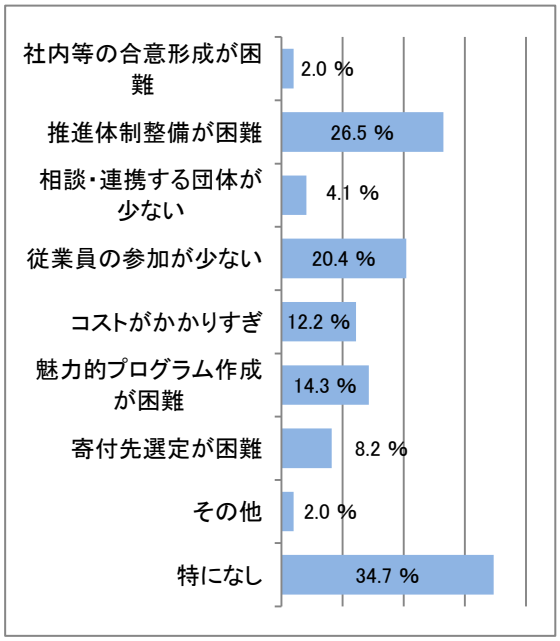
問３(3)　社会貢献活動実施の結果，得られた効果【問１で　１，２の場合のみ】（複数回答）

1	従業員のモラル向上	20	39.2 ％
2	社内の創造的文化の醸成	3	5.9 ％
3	地域社会の健全化	9	17.6 ％
4	地域社会とのコミュニケーション	32	62.7 ％
5	地域の一員としての満足感等	28	54.9 ％
6	会社イメージ等の向上	20	39.2 ％
7	その他	0	0.0 ％
8	特になし	2	3.9 ％
9	無回答	0	0.0 ％



問４(1)　活動を進めるうえでの課題【問１で　１の場合のみ】（複数回答）

1	社内等の合意形成が困難	1	2.0 ％
2	推進体制整備が困難	13	26.5 ％
3	相談・連携する団体が少ない	2	4.1 ％
4	従業員の参加が少ない	10	20.4 ％
5	コストがかかりすぎ	6	12.2 ％
6	魅力的プログラム作成が困難	7	14.3 ％
7	寄付先選定が困難	4	8.2 ％
8	その他	1	2.0 ％
9	特になし	17	34.7 ％
10	無回答	0	0.0 ％

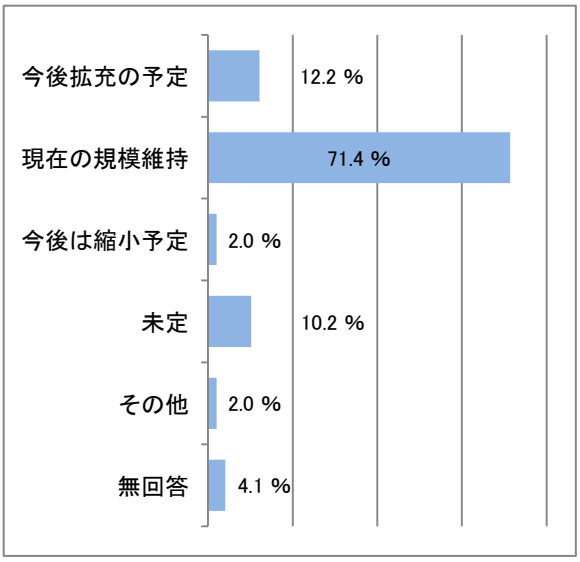


＜その他：１件＞

受け入れ体制の強化

問４(2)　今後の活動の方向性【問１で　１の場合のみ】（複数回答）

1	今後拡充の予定	6	12.2 ％
2	現在の規模維持	35	71.4 ％
3	今後は縮小予定	1	2.0 ％
4	未定	5	10.2 ％
5	その他	1	2.0 ％
6	無回答	2	4.1 ％

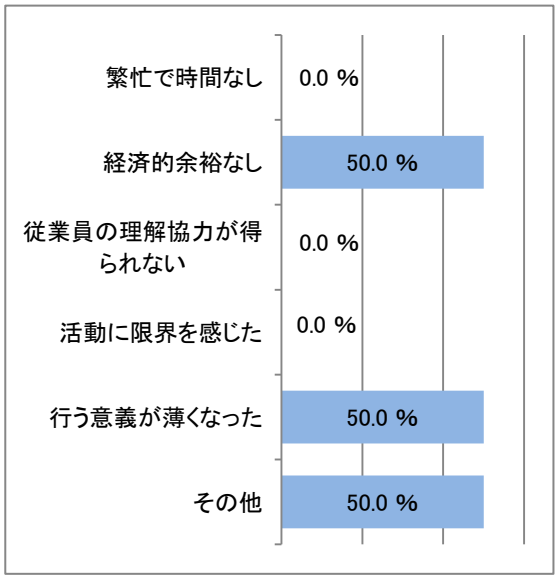


＜その他：１件＞

本社決定次第

問５　現在活動を行っていない理由【問１で ２の場合のみ】（複数回答）

1	繁忙で時間なし	0	0.0 ％
2	経済的余裕なし	1	50.0 ％
3	従業員の理解協力が得られない	0	0.0 ％
4	活動に限界を感じた	0	0.0 ％
5	行う意義が薄くなった	1	50.0 ％
6	その他	1	50.0 ％
7	無回答	0	0.0 ％

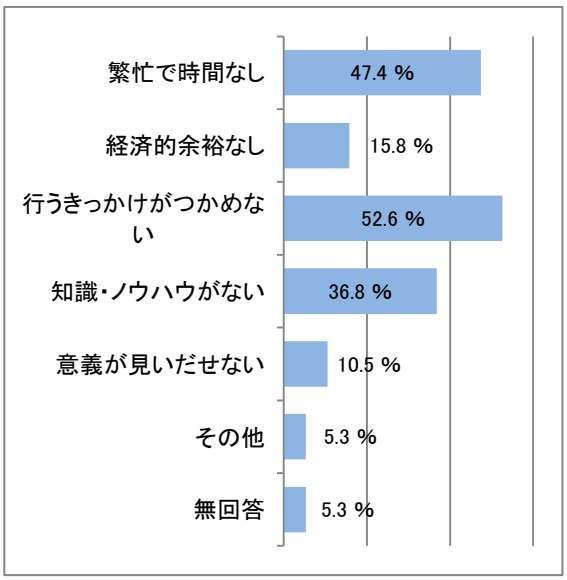


＜その他：１件＞

業態変更により，従業員が在籍していない。

問６　これまで活動してこなかった理由【問１で ３，４の場合のみ】（複数回答）

1	繁忙で時間なし	9	47.4 ％
2	経済的余裕なし	3	15.8 ％
3	行うきっかけがつかめない	10	52.6 ％
4	知識・ノウハウがない	7	36.8 ％
5	意義が見いだせない	2	10.5 ％
6	その他	1	5.3 ％
7	無回答	1	5.3 ％

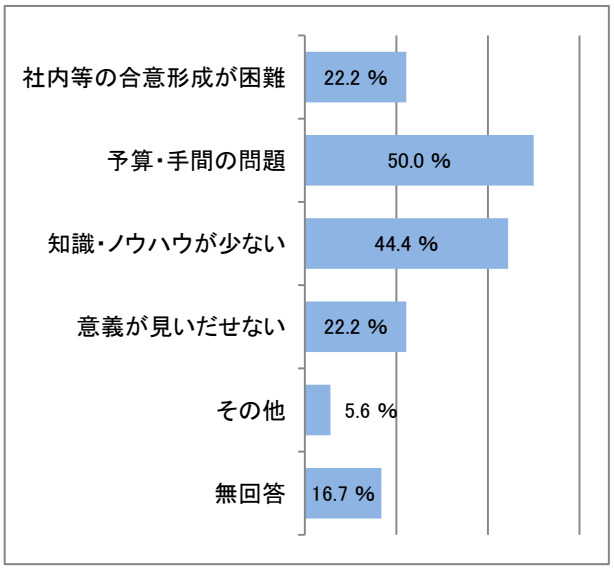


＜その他：１件＞

社会貢献活動を取り組んでいる企業・個人を新聞紙面で紹介している

問７　社会貢献活動に取り組むための問題点【問１で ２，４の場合のみ】（複数回答）

1	社内等の合意形成が困難	4	22.2 ％
2	予算・手間の問題	9	50.0 ％
3	知識・ノウハウが少ない	8	44.4 ％
4	意義が見いだせない	4	22.2 ％
5	その他	1	5.6 ％
6	無回答	3	16.7 ％

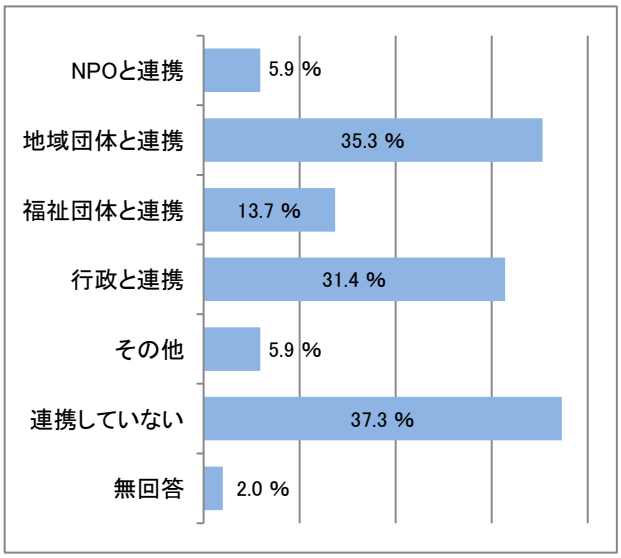


＜その他：１件＞

問６と同じ

問８　これまでの活動で他団体と連携したか。【問１で １，２の場合のみ】（複数回答）

1	NPO と連携	3	5.9 ％
2	地域団体と連携	18	35.3 ％
3	福祉団体と連携	7	13.7 ％
4	行政と連携	16	31.4 ％
5	その他	3	5.9 ％
6	連携していない	19	37.3 ％
7	無回答	1	2.0 ％



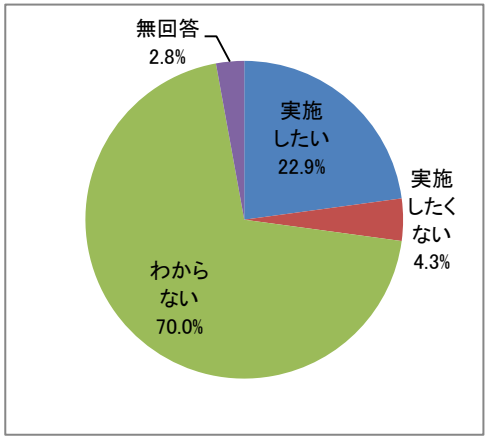
＜その他：３件＞

大学と連携
業者団体
民間福祉団体等

２　すべての企業に質問

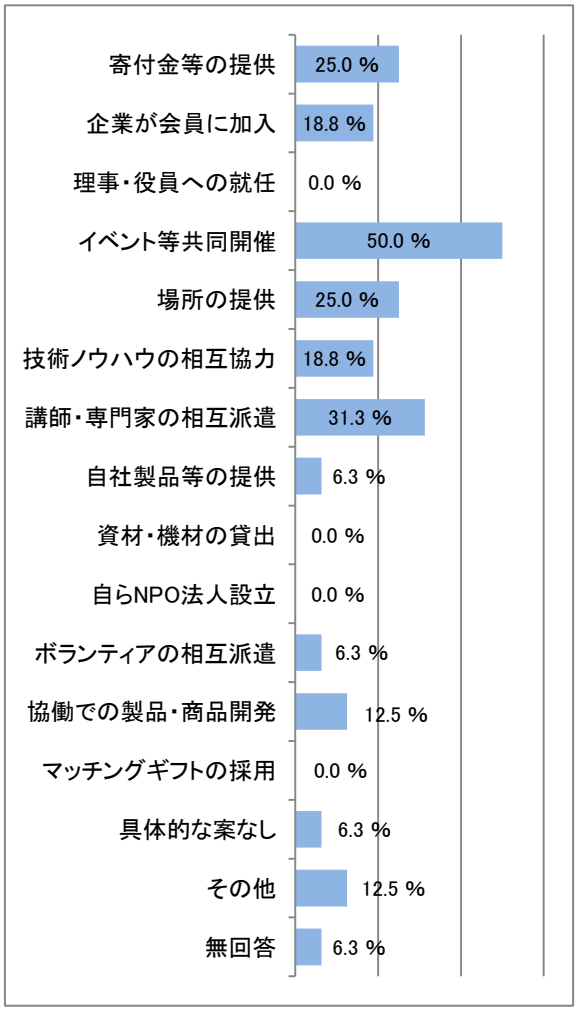
問９　今後，企業として行政やＮＰＯ法人等と連携して社会貢献活動を実施したいか。

1	実施したい	16	22.9 ％
2	実施したくない	3	4.3 ％
3	わからない	49	70.0 ％
4	無回答	2	2.8 ％



問 10　今後どのような取組みを実施したいか。【問９で　１の場合のみ】（複数回答）

1	寄付金等の提供	4	25.0 ％
2	企業が会員に加入	3	18.8 ％
3	理事・役員への就任	0	0.0 ％
4	イベント等共同開催	8	50.0 ％
5	場所の提供	4	25.0 ％
6	技術ノウハウの相互協力	3	18.8 ％
7	講師・専門家の相互派遣	5	31.3 ％
8	自社製品等の提供	1	6.3 ％
9	資材・機材の貸出	0	0.0 ％
10	自ら NPO 法人設立	0	0.0 ％
11	ボランティアの相互派遣	1	6.3 ％
12	協働での製品・商品開発	2	12.5 ％
13	マッチングギフトの採用	0	0.0 ％
14	具体的な案なし	1	6.3 ％
15	その他	2	12.5 ％
16	無回答	1	6.3 ％

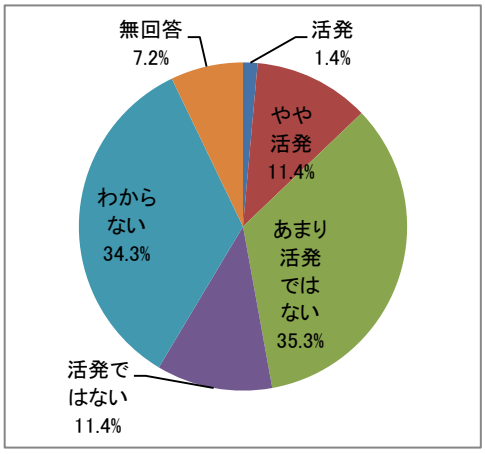


＜その他：２件＞

現在行っている活動の更なる拡充
専門性を活かしたい

問 11　現在，函館市における「企業による社会貢献活動」は活発だと思うか。

1	活発	1	1.4 ％
2	やや活発	8	11.4 ％
3	あまり活発ではない	24	34.3 ％
4	活発ではない	8	11.4 ％
5	わからない	24	34.3 ％
6	無回答	5	7.2 ％

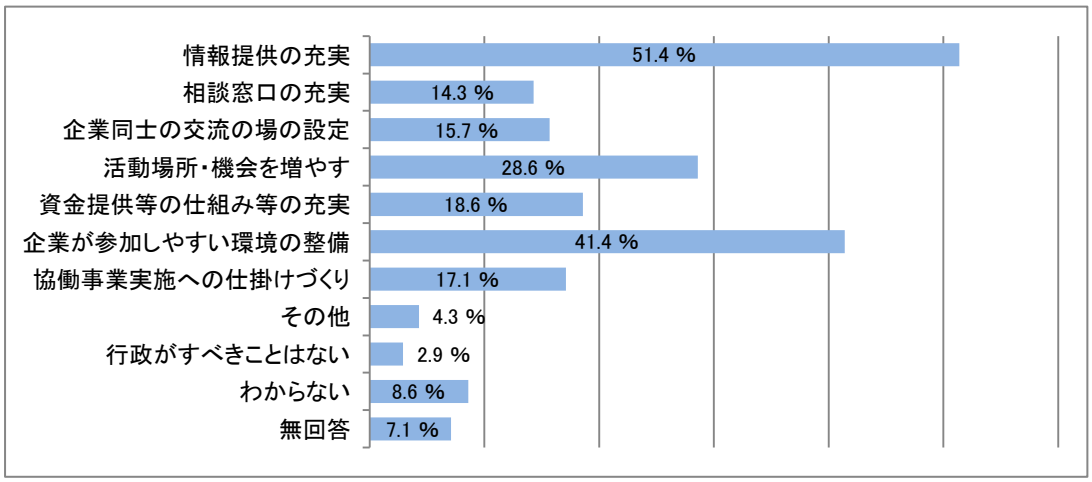


問 12　企業による「社会貢献活動」が活発になるために，行政がすべきことは何か。（複数回答）

1	情報提供の充実	36	51.4 ％
2	相談窓口の充実	10	14.3 ％
3	企業同士の交流の場の設定	11	15.7 ％
4	活動場所・機会を増やす	20	28.6 ％
5	資金提供等の仕組み等の充実	13	18.6 ％
6	企業が参加しやすい環境の整備	29	41.4 ％
7	協働事業実施への仕掛けづくり	12	17.1 ％
8	その他	3	4.3 ％
9	行政がすべきことはない	2	2.9 ％
10	わからない	6	8.6 ％
11	無回答	5	7.1 ％

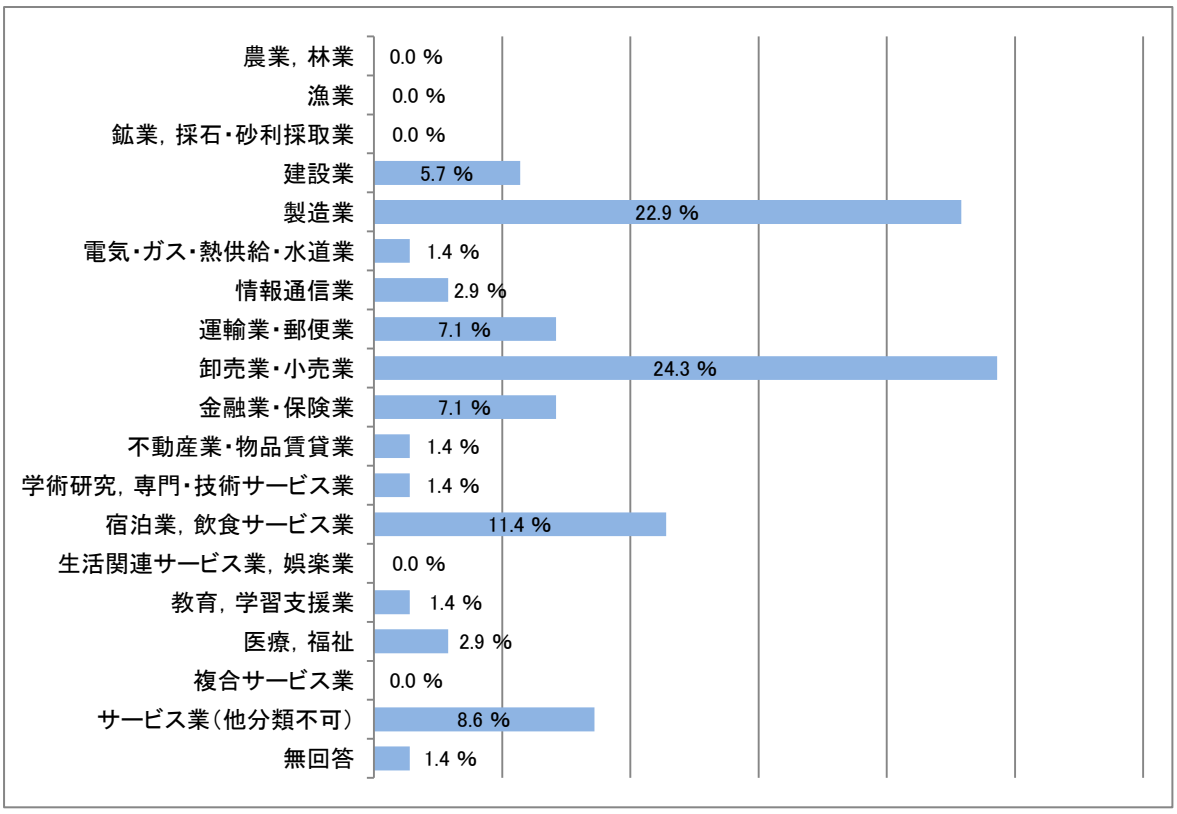
＜その他：３件＞

地域経済の活性化
個々あるいは各社の意識の問題であり。それぞれに事情があるので，はっきりとした，あるいは画一的な意見は述べられない。
（チェックのみで内容の記載なし）



問 13　業種

1	農業，林業	0	0.0 ％
2	漁業	0	0.0 ％
3	鉱業，採石・砂利採取業	0	0.0 ％
4	建設業	4	5.7 ％
5	製造業	16	22.9 ％
6	電気・ガス・熱供給・水道業	1	1.4 ％
7	情報通信業	2	2.9 ％
8	運輸業・郵便業	5	7.1 ％
9	卸売業・小売業	17	24.3 ％
10	金融業・保険業	5	7.1 ％
11	不動産業・物品賃貸業	1	1.4 ％
12	学術研究， 専門・技術サービス業	1	1.4 ％
13	宿泊業，飲食サービス業	8	11.4 ％
14	生活関連サービス業，娯楽業	0	0.0 ％
15	教育，学習支援業	1	1.4 ％
16	医療，福祉	2	2.9 ％
17	複合サービス業	0	0.0 ％
18	サービス業（他分類不可）	6	8.6 ％
19	無回答	1	1.4 ％



問 14　地域福祉の推進に関する意見・要望

回　答	業 種
零細企業は日々の経営に追われているところが多いと思われる。地域に貢献できる様な時間と金に余裕がない。町会活動への参加促進と企業への参加協力ＰＲが必要と思います。	運輸業，郵便業
経営者や従業員の意識改革が出来る取組の他，50 年，100 年後を目標に小学校から社会貢献活動の大切さを教育する。	無回答
特にございません。	製造業
地域福祉は企業の仕事ではない。　企業の仕事は ① 世の中の人々のために商品やサービスを提業して利益を上げる ② 雇用を増やす（順法的に労働者を守る） 福祉は行政の仕事です。あと退職した年寄りたちの生きがい・やりがり。	情報通信業
行政は情報の提供の充実に努め，あまり前面に出ない方が良いと思う。 民間の創意工夫の為の助力のみで。	卸売業，小売業
高齢者や障害者ばかりではなく，勤労者や子どもや青年に対する福祉にも，もっと予算をあてていただきたい。　納税者にやさしい福祉を希望します。	学術研究， 専門・技術サービス業

地域福祉に関する意識調査のお願い

日頃より本市の保健福祉行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて，函館市と函館市社会福祉協議会は，「函館市地域福祉計画」および「地域福祉実践計画」を策定し，市民が共に支え合い，誰もが住みやすい地域社会をめざし，地域福祉の推進に取り組んでいるところでありますが，平成２６年度からの新計画の策定にあたり，地域福祉に関する市民の方々の考え方などを把握し，それらを新計画と今後の福祉施策に反映させてまいりたいと考え，このたびアンケート調査を実施することといたしました。

つきましては，ご多忙のところ誠に恐縮ですが，本趣旨をご理解いただき，調査にご協力くださいますようお願いいたします。

平成２５年８月

函館市保健福祉部
社会福祉法人函館市社会福祉協議会

お問い合わせ先

函館市保健福祉部 地域福祉課
担　当　亀　田
電　話　２１－３２８９　　ＦＡＸ　２６－４０９０

函館市社会福祉協議会 事業課
担　当　阿知波
電　話　２３－２２２６　　ＦＡＸ　２３－２２２４

「地域福祉」とは・・・

地域福祉とは，地域住民や社会福祉法人，ボランティアなどが相互に協力して，福祉サービスを必要とする人も必要としない人も，同じ地域社会の一員として日常生活を営み，自分の意思でさまざまな社会活動に参加できるような「共に支え合う社会」を創り上げていくことをいいます。

そのためには，すべての市民が福祉に対する理解を深め，地域での活動に積極的に参加するなど，行政だけではなく，地域住民や地域で活動する団体，事業者がさまざまな情報を共有し，相互に連携・協力しながら取り組んでいくことが大切です。

■年齢，世帯構成など，基本的なことをお尋ねします。

問１　あなたの性別・年齢についてお答えください。
≪それぞれ一つだけ○≫

（性別）
1. 男　　2. 女

（年齢）
1. １９歳以下　2. ２０～２４歳　3. ２５～２９歳　4. ３０～３４歳
5. ３５～３９歳　6. ４０～４４歳　7. ４５～４９歳　8. ５０～５４歳
9. ５５～５９歳　10. ６０～６４歳　11. ６５～６９歳　12. ７０～７４歳
13. ７５～７９歳　14. ８０～８４歳　15. ８５歳以上

問２　あなたを含めて現在同居している家族構成についてお答えください。
≪一つだけ○≫
1. ひとり暮らし　2. 夫婦のみ　3. 親世代との二世代家族
4. 子世代との二世代家族　5. 親・子・孫の三世代家族
6. その他（　　）

問３　あなたの現在のお住まいについてお答えください。
≪一つだけ○≫
1. 一戸建て（借家）　2. 一戸建て（持ち家）
3. アパート，マンションなどの共同住宅（借家）
4. アパート，マンションなどの共同住宅（持ち家）
5. 勤め先の寮や職員住宅
6. その他（　　）

問４　現在のお住まいに住み続けている年数についてお答えください。
≪一つだけ○≫
1. １年未満　2. １～４年　3. ５～９年　4. １０年以上

問５　あなたがお住まいの地域をお答えください。
（　　）町

問６　あなたがお住まいの付近の様子は次のどれに近いですか。
≪一つだけ○≫
1. 古くからの住宅地　2. 新興住宅地　3. マンションやアパートが多い地域
4. 飲食店や遊戯施設などの商業・業務施設が比較的多い地域
5. 住宅，商店，工場等のまざった地域　6. 田畑等が多く住宅が点在している地域
7. その他（　　）

問７　あなたのご職業についてお答えください。
≪一つだけ○≫

1. 自営業　2. 会社員（正社員）　3. 派遣社員・契約社員　4. 公務員
5. パート・アルバイト・臨時雇用
6. 専門職（医師，弁護士，看護師など資格や免許が必要な専門的な仕事）
7. 家事専業　8. 学生　9. 無職
10. その他（　　）

問８　日頃交流のある人の人数を教えてください。
≪それぞれ一つだけ○≫

①近所に住んでいる人
1. ０人　2. １～５人　3. ６～１０人　4. １１～１５人　5. １６人以上

②それ以外のところに住んでいる人
1. ０人　2. １～５人　3. ６～１０人　4. １１～１５人　5. １６人以上

問９　日頃交流のある人とは，どのようにして交流を持っていますか。
≪あてはまるものすべてに○≫

1. 実際に会う　2. 電話　3. インターネットや電子メール
4. その他（　　）

■ご近所付き合いの状況についてお尋ねします。

問１０　近所の人とは，どのようなお付き合いをなさっていますか。
≪あてはまるものすべてに○≫

1. ほとんど付き合いはない　2. あいさつをかわす程度　3. 立ち話をする程度
4. 物をあげたりもらったりする　5. 趣味をともにする　6. お茶や食事を一緒にする
7. 相談ごとがあった時，相談したり，相談されたりする
8. 家事やちょっとした用事をしたり，してもらったりする
9. 病気の時に助け合う　10. その他（　　）

問１１　「共に支え合う社会」づくり（日頃の付き合いとともに，近隣の人々と協力，支援し合うこと）について，どのようにお考えですか。
≪一つだけ○≫

1. 地域における支え合いは必要であり，今後も充実させるべきだと思う
2. 現在の自分には必要ないが，大切なことだと思う
3. 行政が対応できない課題はボランティアやＮＰＯ（民間非営利活動団体）に任せた方がよいと思う
4. 地域の支え合いに頼らずに，公的な福祉サービスで対応すべきだと思う
5. その他（　　）

問１２　あなたがお住まいの地域では，近所の人同士の「支え合い」を感じることができますか。
≪一つだけ○≫

1. 感じられる　2. どちらかといえば感じられる　3. どちらかといえば感じられない
4. 感じられない　5. わからない　6. 自分には関係がない

問１３　あなたは隣近所の人に，次のような手助けや手伝いをしたことがありますか。
≪あてはまるものすべてに〇≫）

1. 高齢者や障がいのある人などの日常生活における見守り・安否確認
2. 悩みごとや心配ごとの相談　　3. 炊事，洗濯，掃除などの家屋内の家事援助
4. ゴミ出し，買い物などの家屋外の家事援助
5. 電球の交換や住まいの小修繕などの大工仕事　　6. 草むしりや植木の手入れ
7. 外出の介助　　8. 子どもを預かる　　9. 看病・介護
10. 情報（お買い物・病院・福祉・教育の情報）を伝える
11. 物品（道具・食品・日用品）を貸す
12. 近所の人が留守にする時の留守番・留守宅の見守り
13. 上記以外のもの（　　）
14. 手助けや手伝いをしたことがない

問１４　あなたは隣近所の人から，次のような手助けや手伝いをしてもらったことがある，あるいは，してもらいたいと思いますか。
≪あてはまるものすべてに〇≫

1. 高齢者や障がいのある人などの日常生活における見守り・安否確認
2. 悩みごとや心配ごとの相談　　3. 炊事，洗濯，掃除などの家屋内の家事援助
4. ゴミ出し，買い物などの家屋外の家事援助
5. 電球の交換や住まいの小修繕などの大工仕事　　6. 草むしりや植木の手入れ
7. 外出の介助　　8. 子どもを預かる　　9. 看病・介護
10. 情報（お買い物・病院・福祉・教育の情報）を伝える
11. 物品（道具・食品・日用品）を借りる
12. 留守にする時の留守番・留守宅の見守り
13. 上記以外のもの（　　）
14. 手助けや手伝いをしたもらったことがない，あるいは，してもらいたくない

問１５　仮に，あなたが何らかの見守りが必要な状態（一人暮らしなど）となった場合，どのような方に見守りをして欲しいと思いますか。
≪あてはまるものすべてに〇≫

1. 家族・親族　　2. 仲の良い友人・知人　　3. 職場の同僚　　4. 隣近所の住民
5. 町会などの役員　　6. 民生委員・児童委員　　7. 社会福祉協議会
8. ボランティア・ＮＰＯ　　9. 民間のサービス事業者（ケアマネジャー等）
10. 地域包括支援センター　　11. 行政（市役所）
12. その他（　　）

問１６　あなたは，疾病や加齢等による心身の障がい等により，日常生活に支障があり，災害時などに自力で避難することが困難になった場合，災害時などに安否確認や避難介助などの支援をしてくれる人がいますか。

1. いる　　2. いない

■地域での相談先についてお尋ねします。

問１７　あなたは，家族・親族以外で福祉のことについて相談できる人はいますか。

1. いる　　2. いない

［問１７　で　１と答えた人のみ］

問１７－１　そのうちどなたに相談しますか。

《あてはまるものすべてに○》

1. 行政（市役所）　　2. 町会・自治会の役員　　3. 民生委員・児童委員
4. 在宅福祉委員　　5. 社会福祉協議会　　6. 隣近所の住民
7. 民間のサービス事業者（ケアマネジャー等）　　8. 仲の良い友人・知人
9. ボランティア・ＮＰＯ　　10. 職場の同僚　　11. 地域包括支援センター
12. その他（　　）

問１８　次の相談窓口や相談事業などの中で，ご存知のものをお答えください。

≪あてはまるものすべてに○≫

〈高齢者，障がい児・者〉

1. 高齢者・介護総合相談窓口（市役所２階）
2. 介護・高齢・障がい相談窓口（亀田支所１階）
3. 障がい保健福祉課（市役所１階）
4. 市町村障害者虐待防止センター（市役所１階）
5. 障がい者虐待相談窓口（亀田福祉課）
6. 湯川福祉課（湯川支所１階）
7. 市民福祉課（戸井，恵山，椴法華，南茅部支所）
8. 地域包括支援センター（市内６か所）
9. 療育・自立支援センター

〈子育て支援〉

10. 子どもなんでも相談１１０番（総合保健センター１階）
11. 母子自立支援・女性相談室（市役所２階，亀田支所１階）
12. 女性センター

〈生活保護〉

13. 生活支援第１課（市役所２階）
14. 湯川福祉課（湯川支所１階）
15. 亀田福祉課（亀田支所１階）

〈その他〉

16. 総合保健センター
17. 社会福祉協議会
18. 消費生活センター
19. 法テラス
20. 市民特別相談（市役所１階）
21. 多重債務相談（市役所１階）
22. 福祉サービス苦情処理委員事務局（市役所３階）

問１９　ふだん，福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。
≪あてはまるものすべてに○≫

1. 市や関係団体が作成するチラシやパンフレットから
2. 市役所など各種相談窓口での相談から　　3.「市政はこだて」から
4. インターネットのホームページから　　5. 新聞・テレビ・雑誌などから
6. 町会や民生委員・児童委員などから　　7. 近所の人や友人，同じ立場の人から
8. ケアマネジャー，ヘルパー等の福祉関係者から
9. 保健師やかかりつけ医等の保健・医療関係者から
10. 地域包括支援センターから　　11. その他（　　）

問２０　福祉サービスに関して，ほしい時にほしい情報がすぐ入手できると感じますか。
《一つだけ○》

1. 入手できると感じる　　2. どちらかといえば入手できると感じる
3. どちらかといえば入手しにくいと感じる　　4. 入手しにくいと感じる
5. その他（　　）

■ボランティア活動についてお尋ねします。

問２１　これまでにボランティア活動をしたことがありますか。
《一つだけ○》

1. 現在活動している　　2. 以前活動していたが，現在はやめている
3. 今まで活動したことはない

【問２１　で　１と答えた人のみ】
問２１－１　それはどのような活動ですか。
≪あてはまるものすべてに○≫

1. 地域づくりに関する活動　　2. 健康づくり・介護予防に関する活動
3. 高齢者や障がいのある人の支援に関する活動　　4. 子育て支援に関する活動
5. 防犯や防災に関する活動　　6. 美化や清掃に関する活動
7. 教育や生涯学習に関する活動　　8. 自然や環境の保全に関する活動
9. 食生活改善に関する活動　　10. 男女共同参画に関する活動
11. その他（　　）

【問２１　で　２と答えた人のみ】
問２１－２　ボランティア活動をやめた理由はなんですか。
≪あてはまるものすべてに○≫

1. 興味・関心がなくなった　　2. 時間的な余裕がなくなった
3. 経済的な余裕がなくなった　　4. 健康や体力面で余裕がなくなった
5. 一緒に活動する仲間がいなくなった　　6. 他にやりたいことが見つかった
7. その他（　　）

【問２１　で ３と答えた人のみ】
問２１－３　ボランティア活動をしたことがない理由はなんですか。
≪あてはまるものすべてに○≫

1. 興味・関心がない　2. 時間的な余裕がない　3. 経済的な余裕がない
4. 健康や体力面で余裕がない　5. 一緒に活動する仲間がいない
6. 周りにボランティア団体がない　7. 活動に関する知識や情報がない
8. 始めるきっかけがない　9. 既にボランティア活動をしている人の中に加わりづらい
10. 必要を感じない　11. 人づきあいが苦手，またはわずらわしい
12. その他（　　）

■地域活動についてお尋ねします。

問２２　あなたは，現在参加しているか，また過去に参加した経験のある団体はありますか。
≪あてはまるものすべてに○≫

1. 町会・自治会（婦人会や子ども会などを含む）
2. 同業者組合や団体（労働組合，商工会・農協などを含む）
3. 企業，学校等のＯＢ会　4. 老人クラブ　5. 市主催のグループ活動
6. 仲間同士のグループ活動（スポーツや趣味・学習のサークル等）　7. ＰＴＡ
8. ＮＰＯやボランティア団体　9. その他（　　）
10. どれにも参加したことがない

問２３　地域では，町会，社会福祉協議会，老人クラブなどの団体によって様々な活動が行われています。あなたはなんらかの地域活動に参加していますか。
《一つだけ○》

1. 積極的に参加している　2. なるべく参加している　3. 時々参加している
4. 以前参加していたが，現在は参加していない　5. 参加したことがない

【問２３　で ４，５と答えた人のみ】
２３－１　地域活動に参加していない理由はなんですか。
《あてはまるものすべてに○》

1. 特に必要を感じないから　2. 他にすることがあり，時間がないから
3. 一緒に参加する仲間がいないから　4. 人づきあいが苦手，またはわずらわしいから
5. 地域活動に関する情報がないから　6. その他（　　）

［問２３　で １，２，３と答えた人のみ］
２３－２　どのような地域活動に参加していますか。
≪あてはまるものすべてに○≫

1. 健康づくりや介護予防
2. 高齢者や障がいのある人など，なんらかの支援が必要な人に対する見守り
3. 地域における高齢者などの居場所づくり
4. あいさつ運動や見守り活動などの青少年健全育成
5. 文化・スポーツ活動などの生涯学習
6. 生活安全パトロールや防犯講習会などの防犯活動　7. 防災訓練などの防災活動
8. 公園や河川等の美化・清掃活動など地域美化
9. 古紙回収，リサイクル活動など環境保護
10. 地域の伝統的な年中行事，祭り　11. その他（　　）

［問２３　で１，２，３と答えた人のみ］
問２３－３　参加した一番の理由は何ですか。
《一つだけ○》

1. 身近な地域をより住みやすいものにしたかったから
2. 自分の経験や知識を活かしたかったから　3. 友人，知人を得たかったから
4. 生活にはりを持たせたかったから　5. 友人，知人に誘われたから
6. 持ち回りの当番制となっていたから　7. その他（　　）

［問２３　で １，２，３と答えた人のみ］
問２３－４　あなたは，どのような立場で現在地域活動に携わっていますか。
≪あてはまるものすべてに○≫

1. 町会・自治会の役員　2. 民生委員・児童委員　3. 在宅福祉委員
4. 老人クラブの役員　5. ＰＴＡ（幼稚園・保育園の保護者会を含む）の役員
6. その他（　　）　7. 特になし

問２４　地域活動のためには，活動団体同士のネットワークをつくり，知識や情報を共有することが重要と考えますが，どのような団体がネットワークに入ることが望ましいと思いますか。
≪あてはまるものすべてに○≫

1. 町会・自治会（婦人会や子ども会などを含む）　2. 社会福祉協議会　3. 行政
4. 民生委員・児童委員　5. 在宅福祉委員　6. 老人クラブ　7. まちづくり活動団体
8. ボランティア団体　9. ＰＴＡ　10. 学校　11. 福祉サービス事業者
12. 地域包括支援センター　13. その他（　　）
14. 連携は必要ない

■地域福祉に対する考え方についてお尋ねします。

問２５　少子高齢社会がますます進んでいく中，地域福祉を充実させていく上で，行政と地域住民の関係はどうあるべきだと思いますか。

《一つだけ〇》

1. 行政の責任であり，地域住民が協力する必要はないと思う
2. 家庭や地域で助け合いができない場合に限って，行政が支援すべきだと思う
3. 行政ができない場合に限って，地域住民も協力していくべきだと思う
4. 行政だけでなく，地域住民も積極的に取り組むべきだと思う
5. その他（　　）

問２６　どうすれば地域活動が活性化すると思いますか。

≪あてはまるものすべてに〇≫

1. 地域活動に関する情報が入手しやすい仕組みを充実する
2. 子どもの頃から地域活動を行う精神を育むための教育を充実する
3. 地域住民と関係団体等が地域福祉について意見交換できる機会を設ける
4. 地域活動の意義を普及するためのイベントなどを実施する
5. 地域活動の社会的評価を高めるための表彰制度などをつくる
6. 祭りやイベントへの参加者から地域活動の担い手の掘り起こしを図る
7. 興味・関心のある地域活動を自由に体験できる仕組みをつくる
8. その他（　　）

問２７　本市では，函館市が策定している「第２次函館市地域福祉計画」と，社会福祉協議会が策定している「第４期地域福祉実践計画」により，地域福祉活動を推進しています。これらの計画をご存知ですか。

《一つだけ〇》

1. 第２次函館市地域福祉計画だけ知っている
2. 第４期地域福祉実践計画だけ知っている
3. 両方知っている　　4. どちらも知らない

問２８　本市では，地域住民や関係団体等が地域福祉について意見交換することを目的に，２４年度から，万代町において定期的に地域福祉懇談会を開催していますが，ご存知ですか。

1. 知っている　　2. 知らない

問２９　本市では，地域福祉活動を推進することを目的に，２４年度から社会福祉協議会において，地域福祉コーディネーターを配置していますが，ご存知ですか。

1. 知っている　　2. 知らない

問３０　本市では，地域包括支援センターを中心に，地域の関係機関を招集し，地域の課題の発見や解決について話し合う「地域ケア会議」を２２年度から開催していますが，ご存じですか。

1. 知っている　　2. 知らない

■函館市の福祉施策についてお尋ねします。

問３１　本市の保健福祉施策について，充実してきたと実感しますか。
≪それぞれ一つだけ○≫

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえば思わない	思わない	わからない
健康づくり・介護予防						
高齢者や障がいのある人などのいきがいづくり						
障がいのある人への正しい理解の普及・啓発						
ボランティアやＮＰＯなど団体の活動支援						
地域における見守り・支え合いのネットワークづくり						
高齢者や障がいのある人，心の健康に不安がある人などの相談窓口						
高齢者施設の充実						
福祉サービスの情報提供						
介護サービスの充実						
生活保護受給者など低所得者に対する支援						
感染症対策などの健康危機管理						
救急医療体制の充実						
難病患者に対する在宅療養支援						
子育て支援						
公共的施設や道路などのバリアフリー						

問３２　今後，どのような施策にもっと力を入れなければならないと思いますか。
≪あてはまるものすべてに〇≫

1. 健康づくり・介護予防
2. 高齢者や障がいのある人などのいきがいづくり
3. 障がいのある人への正しい理解の普及・啓発
4. ボランティアやＮＰＯなど団体の活動支援
5. 地域における見守り・支え合いのネットワークづくり
6. 高齢者や障がいのある人，心の健康に不安がある人などの相談窓口
7. 高齢者施設の充実
8. 福祉サービスの情報提供
9. 介護サービスの充実
10. 生活保護受給者など低所得者に対する支援
11. 感染症対策などの健康危機管理
12. 救急医療体制の充実
13. 難病患者に対する在宅療養支援
14. 子育て支援
15. 施設や道路などのバリアフリー
16. いずれの行政サービスにも対象とならない方への対応に関すること
17. 高齢者や障がいのある人も住みやすい地域づくり
18. 障がいのある人の高等学校教育（後期中等教育）の拡充
19. 学校教育の中での地域福祉に関する学習
20. その他（　　）

問３３　地域福祉の推進に関して，ご意見，ご要望をご自由にお書きください。

質問は以上です。

ご協力ありがとうございました。

地域福祉に関する意識調査のお願い

日頃より本市の保健福祉行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて，函館市と函館市社会福祉協議会は，「函館市地域福祉計画」および「地域福祉実践計画」を策定し，市民が共に支え合い，誰もが住みやすい地域社会をめざし，地域福祉の推進に取り組んでいるところであります。

地域福祉は，行政，住民，地域の福祉団体等が連携しながら取り組んでいくことが大切ですが，今後は，企業のご協力も重要になるものと考えているところであります。

つきましては，平成２６年度からの新計画を策定するにあたり，地域福祉に関する企業の取組み（「企業による社会貢献活動」＝ＣＳＲ）の状況を把握したいと考え，このたびアンケート調査を実施することといたしました。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが，本趣旨をご理解いただき，調査にご協力くださいますようお願いいたします。

平成２５年１１月

函館市保健福祉部
社会福祉法人函館市社会福祉協議会

お問い合わせ先

函館市保健福祉部 地域福祉課
担　当　亀　田
電　話　２１－３２８９　　ＦＡＸ　２６－４０９０

函館市社会福祉協議会 事業課
担　当　阿知波
電　話　２３－２２２６　　ＦＡＸ　２３－２２２４

「地域福祉」とは・・・

地域福祉とは，地域住民や社会福祉法人，ボランティアなどが相互に協力して，福祉サービスを必要とする人も必要としない人も，同じ地域社会の一員として日常生活を営み，自分の意思でさまざまな社会活動に参加できるような「共に支え合う社会」を創り上げていくことをいいます。

そのためには，すべての市民が福祉に対する理解を深め，地域での活動に積極的に参加するなど,行政だけではなく,地域住民や地域で活動する団体,事業者がさまざまな情報を共有し，相互に連携・協力しながら取り組んでいくことが大切です。

■社会貢献活動（清掃や植栽等の美化活動など，地域での身近な活動も含みます）への取組みについてお尋ねします。

問１　現在，社会貢献活動に取り組まれていますか。
≪一つだけ○≫

1. 取り組んでいる（→ 問２，問３，問４，問８，問９以降へ）
2. 以前取り組んでいたが，現在なし（→ 問２，問３，問５，問７，問８，問９以降へ）
3. 取組みについて検討中（→ 問２，問６，問９以降へ）
4. 今まで取り組んだことはない（→ 問６，問７，問９以降へ）

［問１　で １，２，３と答えた企業のみ］
問２　社会貢献活動に取り組まれるようになったのはなぜですか。あるいは取り組もうとしている理由は何ですか。
≪あてはまるものすべてに○≫

1. 地域社会とのコミュニケーション　2. 地域の一員としての役割を担いたいから
3. 利益の社会還元　4. 企業イメージ・知名度の向上など間接的なメリットがあるから
5. 従業員のモラルの向上，社内の活性化が期待できるから
6. 従業員が自主的に決めた　7. その他（　　）

［問１　で １，２と答えた企業のみ］
問３
（１）活動対象分野を教えてください。（過去に実施していたものも含みます）
≪あてはまるものすべてに○≫

1. 児童福祉　2. 高齢者福祉　3. 障がい者福祉　4. 社会教育の推進
5. まちづくりの推進　6. 学術・文化・芸術・スポーツの振興　7. 環境の保全
8. 災害援助　9. 地域安全　10. 人権の擁護・平和の推進　11. 国際協力
12. 男女共同参画社会の形成促進　13. 子どもの健全育成・学校支援
14. 情報化社会の発展　15. 科学技術の振興　16. 経済活動の活性化
17. 職業能力の開発または雇用機会の拡充支援　18. 消費者の保護
19. 分野は限らない　20. その他（　　）

（２）活動内容について教えてください。（過去に実施していたものも含みます）
≪あてはまるものすべてに○≫

1. 金銭の寄附（助成金や奨学金の給付を含む）　2. 技術，ノウハウの活用
3. 清掃，植栽等の美化活動の実施　4. 環境問題への積極的対応
5. 従業員の自主的なボランティア活動の支援
6. 場所の提供（会議室等，貴社所有施設の開放）
7. 物品の寄贈（貴社製品等）　8. イベント（チャリティー，講演会等）の主催
9. 高齢者，障がい者の生活に配慮した不採算製品開発等（割引制度も含む）
10. ＮＰＯ・ＮＧＯ活動への従業員の派遣等　11. その他（　　）

問３（前問からの続き）

（３）社会貢献活動に取り組まれた結果として得られたと思われる効果について教えてください。

≪あてはまるものすべてに〇≫

1. 従業員のモラルの向上　2. 社内の創造的な文化の醸成　3. 地域社会の健全化
4. 地域社会とのコミュニケーション　5. 地域の一員としての満足感・充足感
6. 会社イメージ・知名度の向上　7. その他（　　）　8. 特になし

［問１　で　１と答えた企業のみ］

問４

≪あてはまるものすべてに〇≫

（１）活動を進めるうえでの課題はどのようなことですか。

1. 社内および株主等の合意形成が難しい　2. 社内の推進体制の整備が難しい
3. 相談できる窓口や連携できる団体が少ない　4. 従業員の参加が少ない
5. コストがかかりすぎる　6. 魅力的なプログラムをつくることが難しい
7. 寄付先の選定が難しい　8. その他（　　）　9. 特になし

（２）今後の活動全体の方向性についてご回答ください。

≪あてはまるものすべてに〇≫

1. 今後拡充の予定　2. 現在の規模を維持　3. 今後は縮小の予定　4. 未定
5. その他（　　）

［問１　で　２と答えた企業のみ］

問５　過去に行っていたのに，現在は行っていない理由についてご回答ください。

≪あてはまるものすべてに〇≫

1. 忙しくなって時間がなくなった　2. 経済的な余裕がなくなった
3. 従業員の理解や協力が得られなくなった　4. 行ってきた活動に限界を感じた
5. 会社として行う意義が薄くなった　6. その他（　　）

［問１　で　３，４と答えた企業のみ］

問６　これまで行ってこなかった理由

≪あてはまるものすべてに〇≫

1. 忙しくて時間がない　2. 経済的な余裕がない
3. 社会貢献を行うきっかけがつかめない　4. 社会貢献に関する知識やノウハウがない
5. 社会貢献活動への意義が見出せない　6. その他（　　）

［問１　で　２，４と答えた企業のみ］

問７　社会貢献活動に取り組んで行くための問題点についてお答えください。

≪あてはまるものすべてに〇≫

1. 社内および株主等の合意形成が難しい　2. 予算や手間の問題
3. 情報やノウハウが少ない　4. 社会貢献活動への意義が見出せない
5. その他（　　）

［問１　で １，２と答えた企業のみ］

問８　活動を進めるうえで，ＮＰＯ，町会等の地域団体，社会福祉協議会等の福祉団体，行政等と連携されていますか。（過去に実施していたものも含みます）

≪あてはまるものすべてに○≫

1. ＮＰＯと連携　2. 町会等の地域団体と連携　3. 社会福祉協議会等の福祉団体と連携
4. 行政と連携　5. その他（　　）　6. 連携していない

■すべての企業にお尋ねします。

問９　今後，企業として，行政やＮＰＯ等と連携して社会貢献活動を実施したいと思いますか。

1. 実施したい　2. 実施したくない　3. わからない

［問９　で １と答えた企業のみ］

問１０　今後どのような取組みを実施したいとお考えですか。

≪あてはまるものすべてに○≫

1. 寄付金・助成金の提供　2. 企業として会員に加入　3. 理事や役員への就任
4. イベント等の共同開催　5. 場所の提供（会議室等，貴社所有施設の開放）
6. 技術のノウハウの相互協力　7. 講師や専門家の相互派遣
8. 物品（貴社製品等）の提供　9. 資材・機材の貸出（印刷機，自動車等）
10. 自らＮＰＯ法人を設立　11. ボランティアの相互派遣
12. 協働での製品・商品の開発
13. マッチングギフト（企業による寄付金の上乗せ）の採用
14. 実施したいとは思うが，具体的には考えていない
15. その他（　　）

問１１　現在，函館市における「企業による社会貢献活動」は活発だと思いますか。

≪一つだけ○≫

1. 活発　2. やや活発　3. あまり活発ではない　4. 活発ではない　5. わからない

問１２　企業による「社会貢献活動」が活発になっていくため，行政がすべきことは何だと思いますか。

≪あてはまるものすべてに○≫

1. 社会貢献活動に関する情報提供を充実する
2. 社会貢献活動に関する相談窓口を充実する
3. 社会貢献活動を行う企業同士の交流の場を用意する
4. 社会貢献活動が行える場所・機会を増やす
5. 企業が資金提供や寄附を行える仕組み・制度を充実する
6. 地域のまちづくりや市民活動に企業が参加しやすい環境をつくる
7. 企業と市民活動団体が協働して事業を行えるような仕掛けをつくる
8. その他（　　）
9. 行政がするべきことはない
10. わからない

問１３　貴社の業種を教えてください。

≪主たる業種一つだけに〇≫

1. 農業，林業　2. 漁業　3. 鉱業，採石業，砂利採取業　4. 建設業　5. 製造業
6. 電気・ガス・熱供給・水道業　7. 情報通信業　8. 運輸業，郵便業
9. 卸売業，小売業　10. 金融業，保険業　11. 不動産業，物品賃貸業
12. 学術研究，専門・技術サービス業　13. 宿泊業，飲食サービス業
14. 生活関連サービス業，娯楽業　15. 教育，学習支援業　16. 医療，福祉
17. 複合サービス業　18. サービス業（他に分類されないもの）

問１４　地域福祉の推進に関して，ご意見，ご要望をご自由にお書きください。

質問は以上です。

ご協力ありがとうございました。